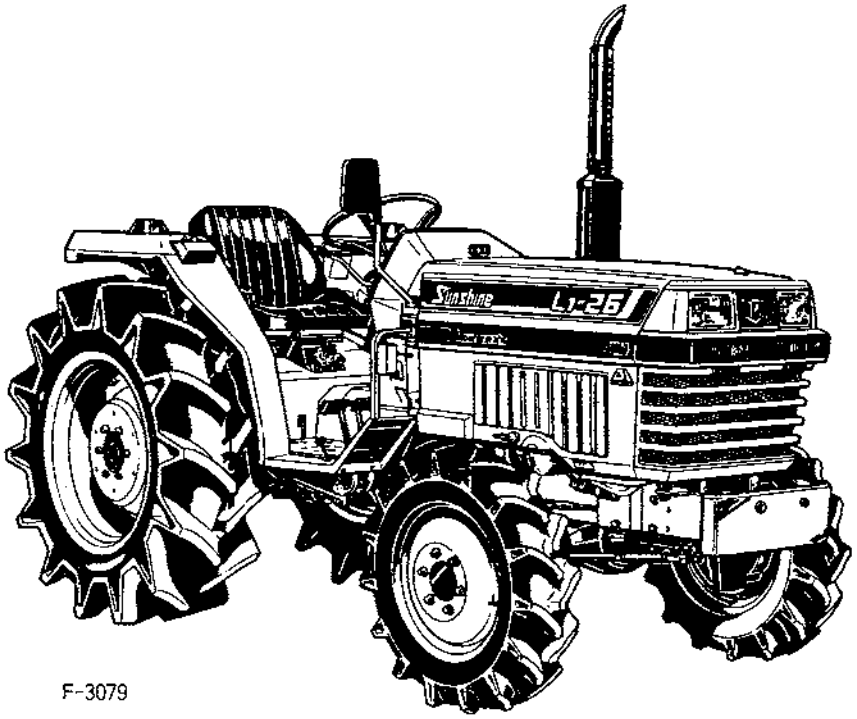
クボタトラクタ

取扱説明書

L1

18
20
22
24
26
28



F-3079

ご使用前に必ずお読みください

Kubota

トラクタ＋安全五憲章

1・道路を走行するときは，
ブレーキペダルを連結します。

2・農道を走行するときは，
スピードを落とし**路肩**に注意します。

3・ほ場へ出入りするときは，
スピードを落とし**あぜに直角**に走行します。

4・トラクタや作業機を点検調整するときは，
必ず**エンジンを止め，油圧ロック**をします。

5・補助者と共同作業を行なうときは，
合図をし**安全を確認**します。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

安全に作業していただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項を，これ以外にも本文の中で **安全ポイント** としてそのつどとり上げております。

更に，安全のポイントを抜粋した**安全注意ポスタ・納入品安全説明書**を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は，製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

よくお読みいただき，充分理解してから御使用くださるとともに，いつまでもすぐれた性能を発揮できるよう本書を充分にいかして，末長くご活用ください。又，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。

なお，本書では仕様の異なる製品を次のように表示しています。

- 大きさ別によって……「18仕様」「20仕様」「22仕様」「24仕様」「26仕様」「28仕様」
- 駆動方式によって……「二輪仕様」「４WD（四輪駆動）仕様」
- クラッチ方式によって……「シングルクラッチ仕様」「ダブルクラッチ仕様」
- ステアリングの方式によって……「標準ステアリング仕様」「パワーステアリング仕様」
- モンローマチック付き……「M仕様」

お手元の製品の仕様をお確かめの上，おまちがいのないようご活用ください。

又，本製品については不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取り入れておりますので，お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので，あらかじめ御了承くださいますようお願いいたします。

31351-1921-6

目次

サービスと保証について …… 1

小型特殊自動車について …… 2

装置の知識について …… 3

スイッチとメータの取扱い……3
運転装置の取扱い……6
作業機昇降装置の取扱い……12
モンローマチック【M仕様】の取扱い……13
三点リンク装置の取扱い……18

上手な運転のしかた …… 20

エンジンの始動……20
エンジンの停止……21
ならし運転……22
暖機運転……22
発進・走行……22
停車……23
旋回……23
坂道での運転……23
ほ場への出入り時の注意……24
トラックへの積込み積降ろし……24
公道走行中の注意……24
パワーステアリングの取扱い上の注意……25
輪距の調整……26

作業前の点検について(仕業点検) …… 29

点検箇所……29
点検のしかた……29

トラクタの簡単な手入れと処置 …… 32

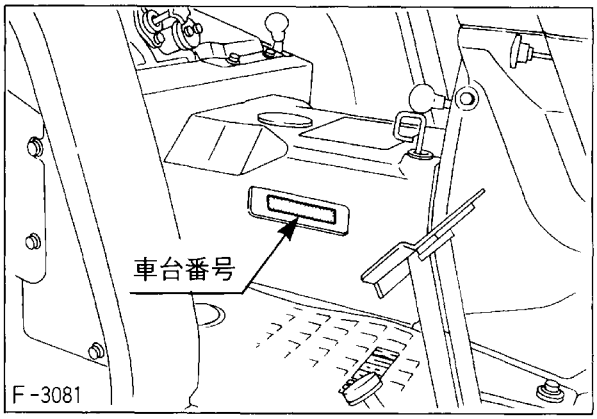
定期点検箇所一覧表……32
給油(水)一覧表……33
燃料……34
空気抜き……34
各部への給油と交換……35
各フィルタの交換及び洗浄……37
冷却水の交換……38
エアークリーナエレメントの交換……39
バッテリ液の点検と交換……40
パイプ類の点検……40
グリースの注入……41
ブレーキの調整……42
クラッチの調整……42
ファンベルトの調整……42
ステアリングハンドルの調整……42
トーインの点検調整……43
前車軸支持部ガタの点検調整……43
クラッチハウジングの水抜き……43
電気配線の点検,ヒューズ,ランプの交換……44
長期格納時の手入れ……45
エンジンの不調と処置……46

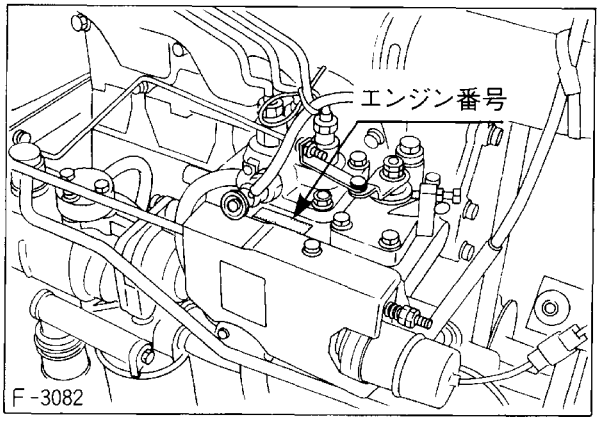
付　表 …… 47

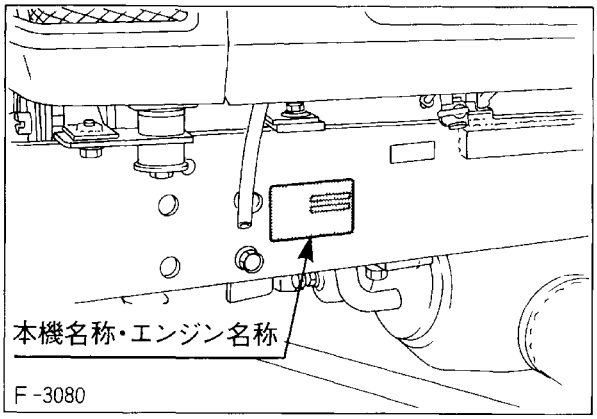
アタッチメント一覧表……47
インプルメント一覧表……49
主要諸元……56
標準付属品……58
推奨オイル・グリース一覧表……59
配線図……61
型式検査(国検)成績表……63

サービスと保証について

この製品には,サービスブックが添付してあります。
詳しくはサービスブックを御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただいた購入店・農協または当社内燃機器支店にそれぞれ**「御相談窓口」**を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
そのさい　(1)本機名称と車台番号
(2)エンジン名称とエンジン番号
(3)部品名称とコードNo.
（純正部品表参照）
を合せて御連絡ください。







農機型式名	安全鑑定適合番号	小型特殊自動車車両型式名	型式認定番号
クボタL₁-18	801001	クボタL₁A	農1539号
クボタL₁-18D	801002	クボタL₁AD	農1540号
クボタL₁-20	801004	クボタL₁B	農1541号
クボタL₁-20D	801005	クボタL₁BD	農1542号
クボタL₁-22	801007	クボタL₁C	農1543号,改造型
クボタL₁-22D	801008	クボタL₁CD	農1544号,改造型
クボタL₁-24	801010	クボタL₁C	農1543号
クボタL₁-24D	801011	クボタL₁CD	農1544号
クボタL₁-26	801013	クボタL₁D	農1545号
クボタL₁-26D	801014	クボタL₁DD	農1546号
クボタL₁-28	901001	クボタL₁E	農1577号
クボタL₁-28D	901002	クボタL₁ED	農1576号

農機型式名	型式検査(国検)合格番号
クボタL₁-26	83029
クボタL₁-26D	83030
クボタL₁-28	84052
クボタL₁-28D	84053
クボタSF-20（安全キャブ及び安全フレーム）	84014
クボタSF-24（安全キャブ及び安全フレーム）	84015
クボタSF-26M（安全キャブ及び安全フレーム）	84067
クボタSF-28M（安全キャブ及び安全フレーム）	84068

● 検査成績表は63～66ページを御覧ください。

小型特殊自動車について

この製品は，道路運送車両法の小型特殊自動車に該当します。

■小型特殊自動車取得の届出とナンバプレートの取付け

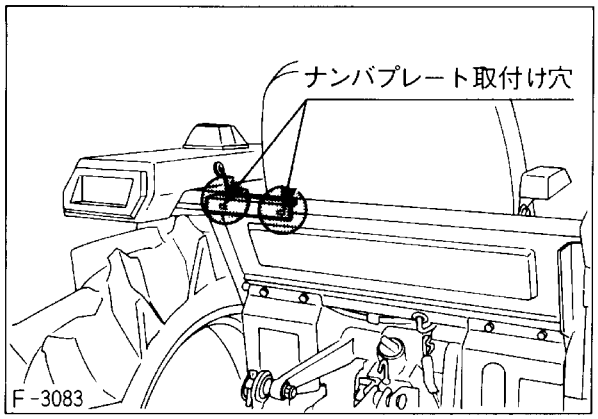
新たに小型特殊自動車の所有者となった者は，市町村条例により，その取得を市町村役所に届出，ナンバプレートの交付を受けなければなりません。

（手続きは市町村により多少異なりますので詳細は，購入店・農協に御相談ください。）

❶小型特殊自動車取得の証明書など（購入店・農協で発行）に，軽自動車税を添えて市町村役所に届出る。

❷届出が済むとナンバプレートが交付されます。

❸ナンバプレートを車体の取付け位置に取付けてください。



■運転免許

公道走行時は，小型特殊自動車の運転可能な運転免許証が必要です。必ず所持してください。

■自動車損害賠償責任保険のお勧め

万一の交通事故補償に備え，任意保険に加入されることをお勧めします。

■小型特殊自動車とは

車体の大きさ	全　長	４．７０ｍ以下
	全　幅	１．７０ｍ以下
	全　高	２．００ｍ以下
最　高　速　度		１５km/時以下
原動機の総排気量		１５００cc以下

上記の条件を満足する構造を有する自動車で，このうち一つでも条件が満足しないと大型特殊自動車扱いとなりますので，次のようなことには特に御留意ください。

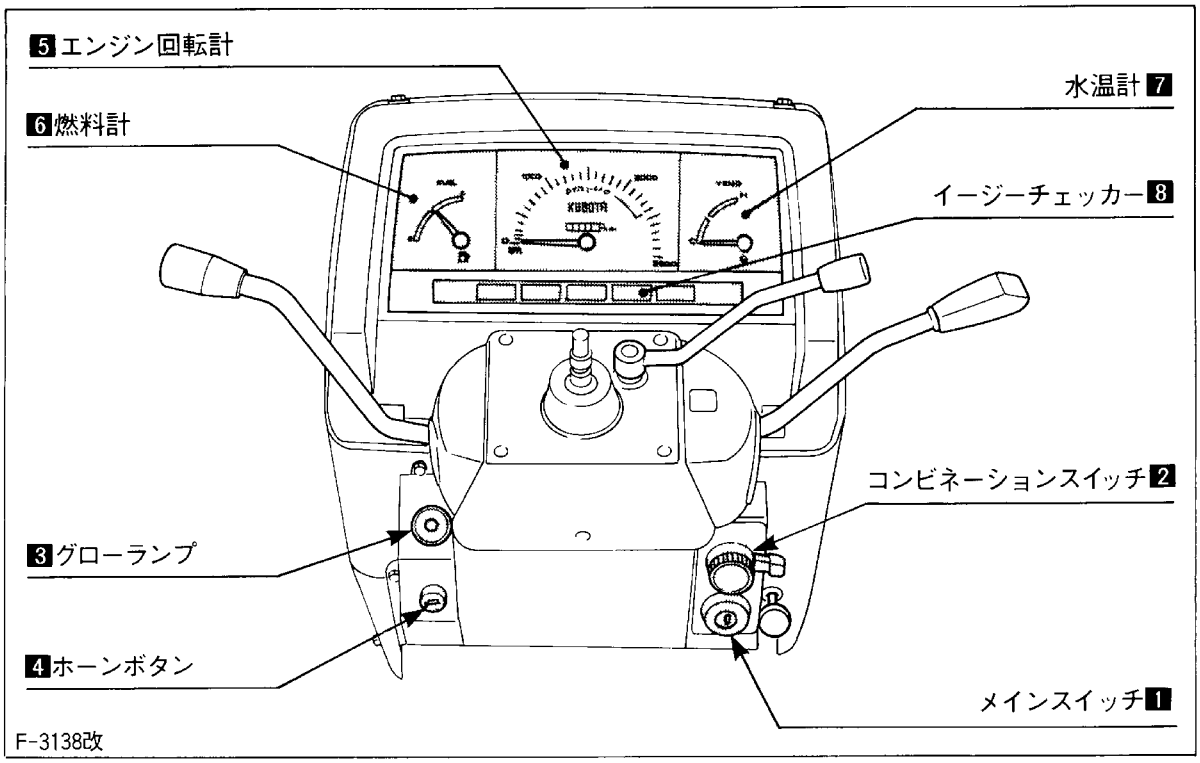
(1)認定を受けたエンジン以外は，搭載して運行することはできません。

(2)認定時の構造を変更（大径車輪やドッキングローダなどを装着）した状態では，運行することはできません。

(3)エンジン及び本機で封印されているところはさわらないでください。封印がはずされたと認められる場合は，一切の保証は致しません。

装置の知識について

スイッチとメータの取扱い



1 メインスイッチ

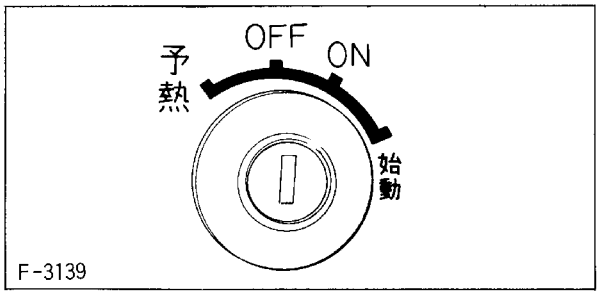
OFF……キーが抜き差しできる位置。

〔22・24・26・28仕様は，「OFF」の位置にすると，自動的にエンジンが停止します。(21ページ「エンジンの停止」の項を参照ください。)〕

ON……エンジン回転中の位置。

予熱……燃焼室内が予熱される位置。

始動……クラッチペダルをいっぱい踏込んで，エンジンを始動する位置。
手を離せば自動的に「ON」に戻ります。



2 コンビネーションスイッチ

◆ライティングスイッチ

……ヘッドランプ上向き照射位置。

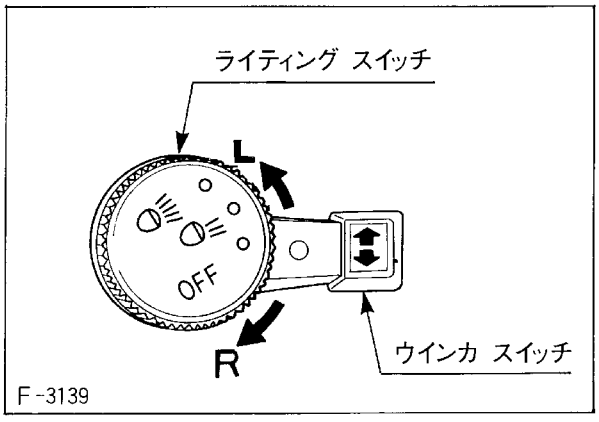
……ヘッドランプ下向き照射位置。

OFF……ヘッドランプ消灯位置。

◆ウインカスイッチ

L方向に操作すると左ウインカが点滅します。

R方向に操作すると右ウインカが点滅します。



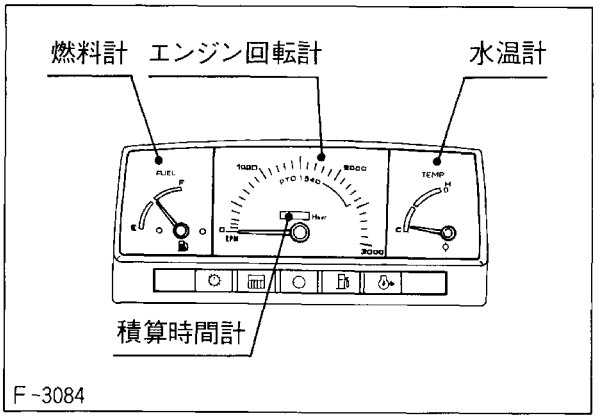
3 グローランプ

燃焼室内の予熱状況を示します。

4 ホーンボタン

メインスイッチを「ON」の位置にし，ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。

5 トラクタメータ



◆積算時間計

エンジンを定格回転で使用した場合の時間を示します。

白わく内の数字を6倍すると「分」単位の時間となります。〔例〕 0170(1)……170時間6分

◆エンジン回転計

1分間のエンジン回転数を示します。

6 燃料計

メインスイッチ「ON」「OFF」に関係なく，燃料タンク内の残量を示します。

注意

- Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。からにすると燃料系統に空気が入るので，空気抜きが必要です。

7 水温計

メインスイッチが「ON」のとき冷却水温を示します。メインスイッチが「ON」以外では，指針は「C」より下の位置にあります。

指針がレッドゾーンを示すときは，

(1)冷却水の有無・漏れ。

(2)ファンベルトのゆるみ。

(3)防虫網及びラジエータに，泥やゴミが付着していないか点検してください。

注意

- 必ずエンジンを停止して行なってください。

◆オーバヒートしたときの処置

オーバーヒートしたときは，

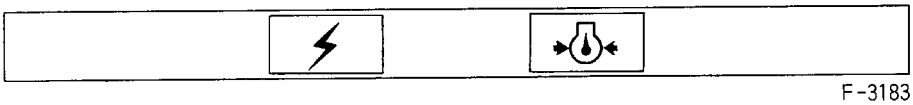
❶作業を中止し，

❷エンジン回転を一旦アイドリング(約5分間)にしてから，

❸エンジンを停止して，点検してください。

8 イージーチェッカー

18・20・22仕様



F-3183

24・26・28仕様

F-3183

油圧オイルフィルタ目づまり警告灯
油圧オイルフィルタの目づまりが多くなったとき。

バッテリ液量警告灯
バッテリ電解液がバッテリのLOW LEVEL以下になったとき。

ラジエータ冷却水量警告灯
冷却水の残量がリザーブタンクのLOW LEVEL以下になったとき。

燃料残量警告灯
燃料の残量が約1.0～1.5ℓ 以下になったとき。

オイルランプ
エンジン回転中，潤滑系統が異常のとき点灯するエンジンオイル油圧警告灯です。
メインスイッチを「ON」にすると点灯し，エンジンを始動すると消灯します。
点灯したままのときは，エンジンオイル量を点検してください。

チャージランプ【18·20·22仕様】
エンジン回転中，充電系統が異常のとき点灯する充電警告灯です。
メインスイッチを「ON」にすると点灯し，始動すると消灯します。

◆チャージランプについて【24·26·28仕様】
オイルランプを除くイージーチェッカー全体がチャージランプになっており，エンジン回転中，充電系統が異常のとき，オイルランプを除くイージーチェッカーすべてのランプが点灯し，警告します。
エンジン停止中にメインスイッチを「ＯＮ」にすると点灯し，始動すると消灯します。

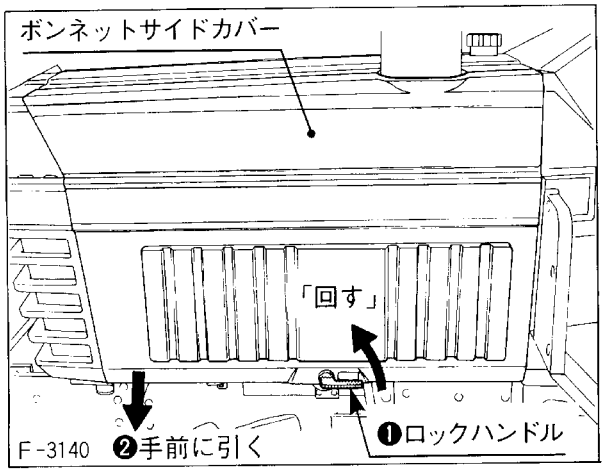
注意

- イージーチェッカーのみで日常点検は済ませず，点検は確実に行なってください。

(29ページ仕業点検参照)

■ボンネット及び安全カバーの開けかた

❶ボンネットサイドカバー左右ロックハンドルを回すと外れます。そして，❷ボンネットサイドカバーの下部を手前に引き，全体を上に持上げると外れます。

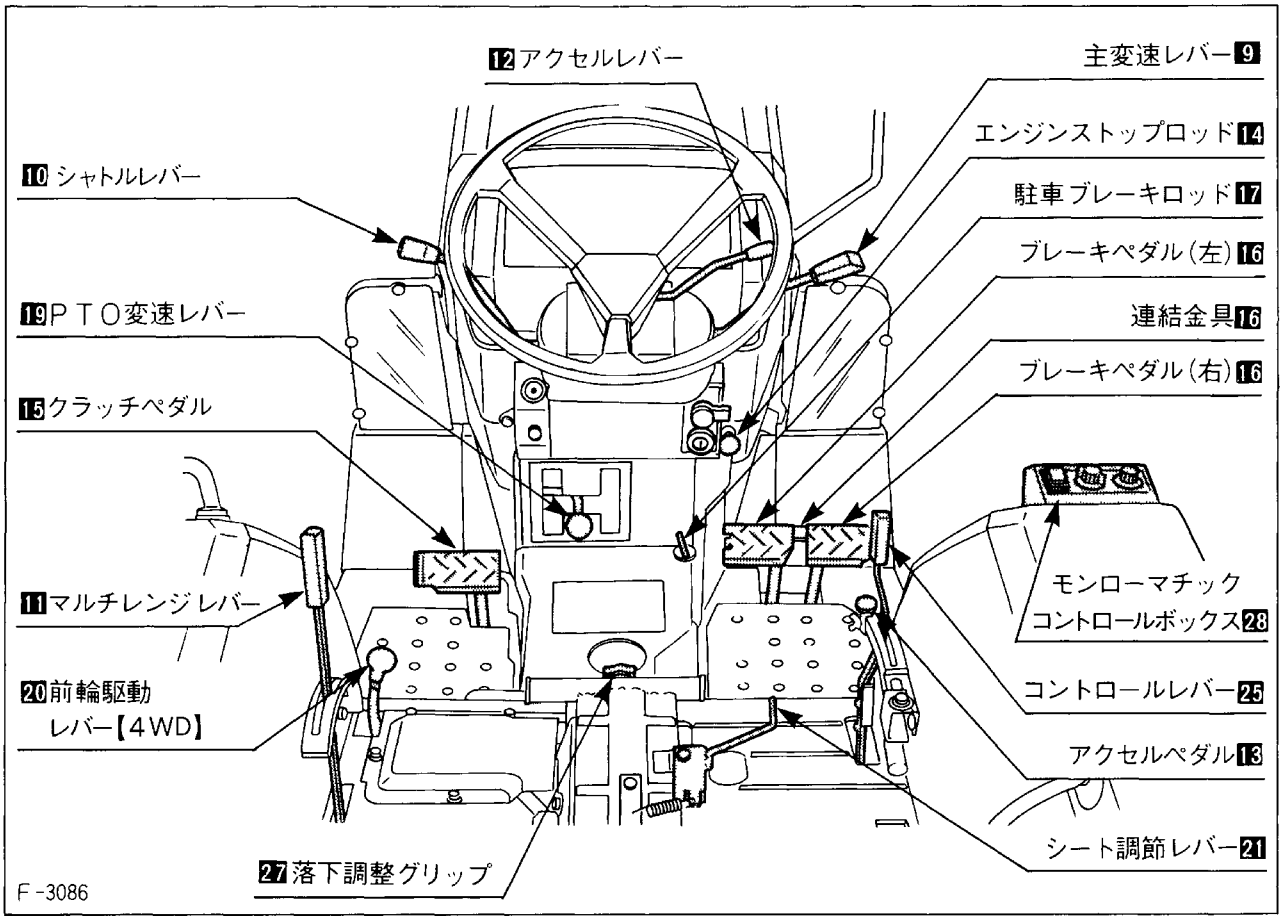


F-3140

注意

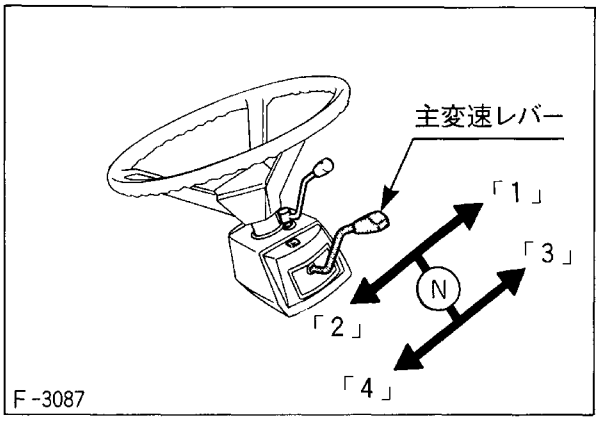
- ロックハンドルとカバーで手をはさまないように注意してください。

運転装置の取扱い



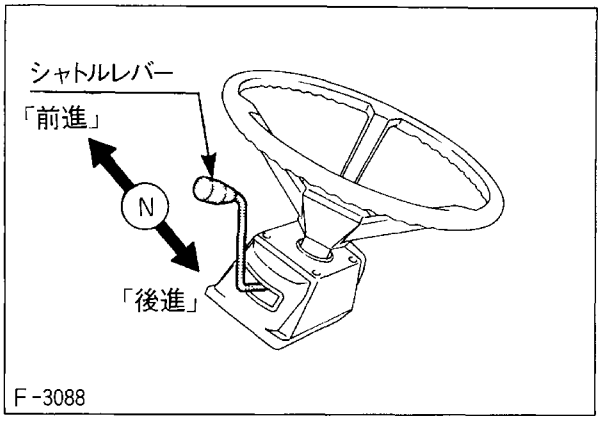
9 主変速レバー

レバーを引上げて「**1・2速**」，押下げて「**3・4速**」です。

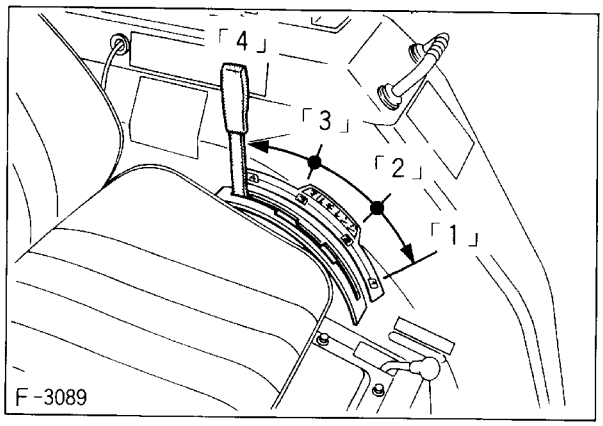


10 シャトルレバー

レバーを前に押して「**前進**」，手前(後)に引いて「**後進**」です。



11 マルチレンジ



注意

(1)マルチレンジの操作時，ギヤーがかみ合わない場合に，レバーが重くなるときがあります。そのときは，クラッチペダルを踏み直し，再度マルチレンジを操作してください。

(2)更にマルチレンジの操作が重い(ギヤーに負荷がかかっている)場合は，主変速レバー又はシャトルレバーを中立にして操作してください。

◆超低速度〔マルチレンジ1・2速(クリープ速度)〕の使い方

超低速度(クリープ速度)は，使用と取扱いを誤ると故障の原因になります。

次のことに注意の上御使用ください。

(1)使用できる作業

- ロータリでの深耕・細土耕うん作業。
- ロータリ耕うんで，ほ場がかたく標準速度で耕うんできない場合。
- プランタによる移植作業。
- 農業用トレンチャによる作業(農業用に限る)。
- 車への積込み，積降ろし。

(2)使用できない作業(故障の原因になります)

- 湿田での沈没状態からの脱出作業。
- けん引・トレーラ作業。
- フロントローダ作業。
- フロントブレード作業(除雪作業)。
- 土木作業。
- ほ場への出入り。

(3)超低速度(クリープ速度)を使用するときは，必ず次のことを守ってください。

- 変速は，クラッチペダルをいっぱい踏込んでから行なってください。
- 発進は，必ず駐車ブレーキをはずしてから行なってください。
- 停止は，必ずクラッチを切ってからブレーキをかけてください。

注意

- 超低速度(クリープ速度)では車軸の回転力が大変強くなるので，ブレーキペダルだけを強く踏んでもブレーキはききません。故障の原因になります。

12 13 アクセルレバーとアクセルペダル

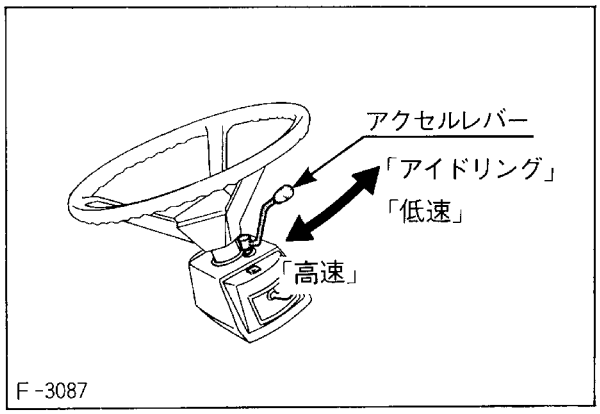
アクセルレバー……主に農作業時に使用する。

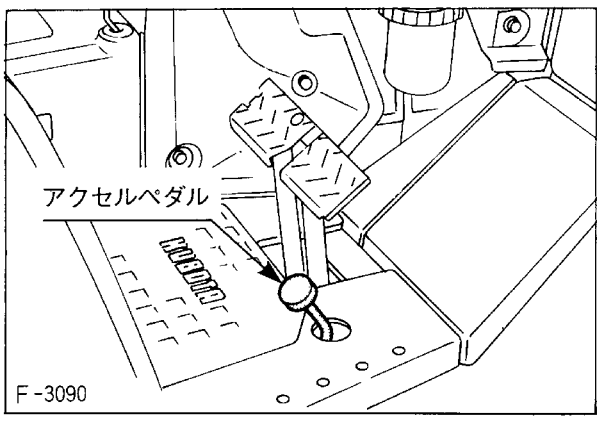
アクセルペダル……主に道路走行時に使用する。

アクセルペダルは，アクセルレバーと連動しており，

ペダルを踏込む……エンジン回転が上がる。

ペダルから足を離す……アイドリング状態。





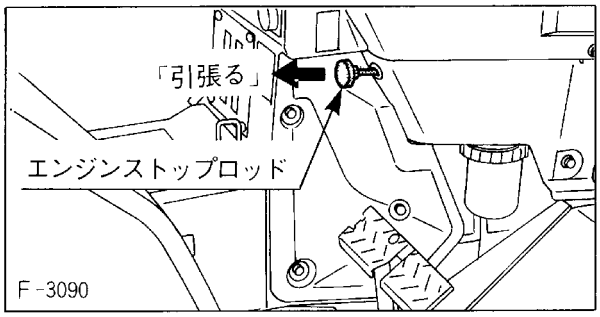
又，アクセルレバーは，支点のナットを締めると重くなり，ゆるめると軽く動くようになります。

14 エンジンストップ（エンジンストップロッド）

◆18・20仕様

エンジンストップロッドをいっぱい**引張る**と，エンジンが**停止**します。

このときエンジン停止装置が働いたままになりますので，停止したらストップロッドを押して元に戻してください。ストップロッドは自動的に戻りません。戻し忘れるとエンジンが始動しない構造になっています。



◆22・24・26・28仕様

メインスイッチを「**OFF**」にすると，エンジンが自動的に「**停止**」します。

万一停止しないときは，18・20仕様同様エンジンストップロッドをいっぱい「**引張る**」と，エンジンが停止します。

15 クラッチペダル

クラッチは，エンジン動力を各作動部に断続する装置です。

◆シングルクラッチ仕様

ペダルを**踏込む**……クラッチが**切れる**。

ペダルから足を**離す**……クラッチが**つながる**。

◆ダブルクラッチ仕様

ペダルを１段踏込む……**走行クラッチ**が切れる。

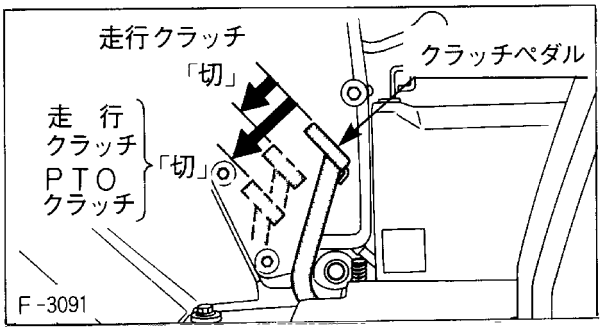
（ＰＴＯクラッチはつながったまま）

ペダルを２段踏込む

……**走行クラッチ・PTOクラッチ共**切れる。

ペダルから足を**離す**

……ＰＴＯクラッチ，走行クラッチの順につながる。

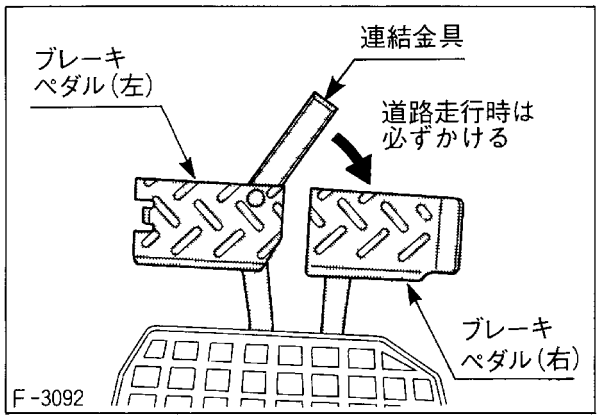


16 ブレーキペダル

ブレーキは，強制的に機体を停止させる装置で，一般車両と異なり，左右それぞれ独立しており，後輪の片輪だけにブレーキをかけることができます。

連結金具を**かけた状態**……**道路走行時**。

連結金具を**はずした状態**……**農作業時**。



安全ポイント

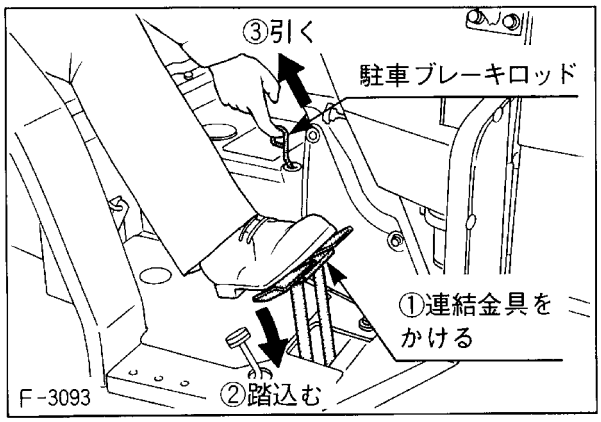
●道路走行中・登り坂・下り坂及びあぜ越え中は，ブレーキペダルの左右を連結金具で，必ず連結してください。

→ 納入品安全説明書14ページ参照

17 駐車ブレーキ

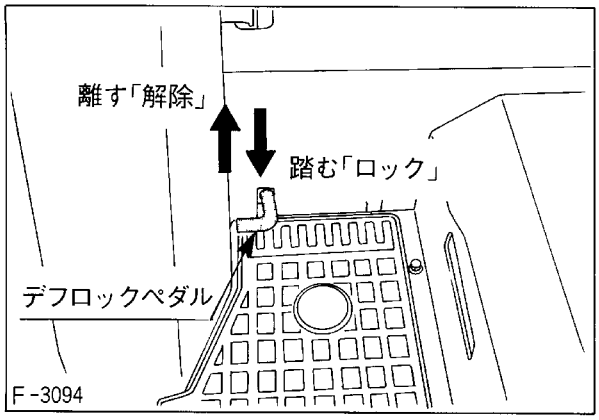
ブレーキペダルを左右連結して踏込み，ロッドを引くと爪がみぞにかみ合い，駐車ブレーキがかかります。

はずすときは，ペダルを踏込めばはずれます。



18 デフロックペダル

左右の後輪が同じ回転速度で駆動される装置で，スリップ防止に効果があります。
ペダルを踏込む……ロックされる。
ペダルから足を離す……自動的にはずれる。



◆デフロックの使い方

デフロックは，上手に使うと非常に役立ちますが，使用法を誤ると転倒などの危険や故障の原因にもなりますので，注意してください。

(1)農場への出入りやフロントローダ作業時など，片車輪がスリップして直進できないとき。
(2)農場の一部軟弱なところに片車輪が入り込み，スリップして走行がしにくくなったとき。
(3)プラウ作業などけん引力を必要とする作業で，車輪がスリップしたとき。

注意

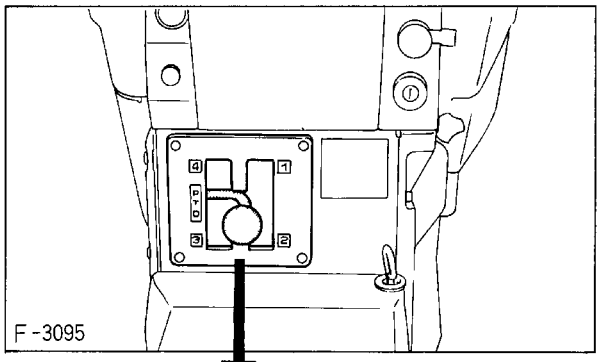
(1)デフロックを入れるときは，エンジン回転を下げてから行なってください。
(2)抜けにくいときは，ブレーキペダルを左右交互に軽く踏んでください。

安全ポイント

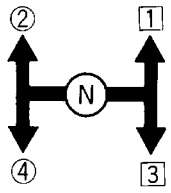
●デフロックを入れたままで旋回すると非常に危険です。旋回の前に必ず外してください。
→納入品安全説明書12ページ参照
▶もし怠ると……
傷害事故を引起こすことがあります。

19 ＰＴＯ変速レバー

ＰＴＯ軸(動力取出し軸)の回転速度を，４段階に変速できます。

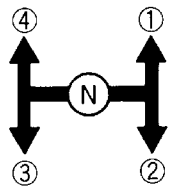


ダブルクラッチ仕様



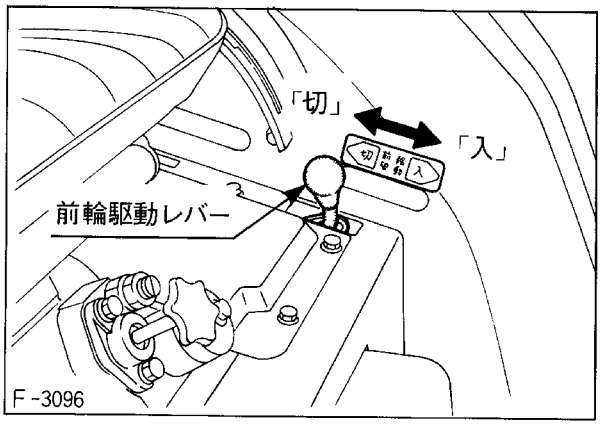
「1」「3」速のみダブルクラッチ用になっています。
充分クラッチを踏込んで変速してください。

シングルクラッチ仕様



20 前輪駆動レバー【４ＷＤ】

前輪駆動の断続に使用するレバーで，クラッチペダルを踏込み，
レバーを前に押す……前輪が駆動される。
レバーを後に引く……前輪駆動が切れる。



◆前輪駆動の使い方

前輪駆動は,次のような場合に使用してください。

(1)傾斜地，湿田，トレーラ運搬作業などけん引力を必要とする場合。

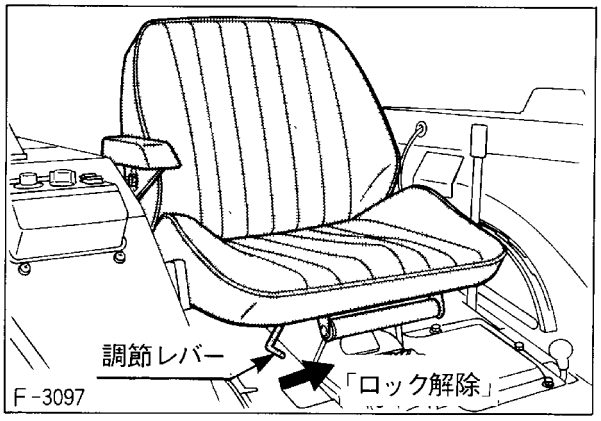
(2)砂地で作業をする場合。

(3)固い農場で，ロータリ耕うん時の飛出しを防止する場合。

21 シート

(1)シート下の調節レバーを左側に引くと，前後4段階に調節できます。

(2)雨のときはシートを前に倒しておくと，ぬれる心配がありません。

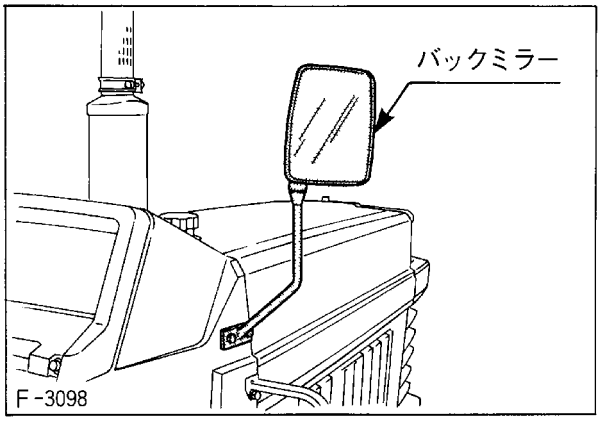


注意

●調整後は，シートがロックされていることを確認してください。

22 バックミラー

後方視野が充分に確認できる位置に調整してください。

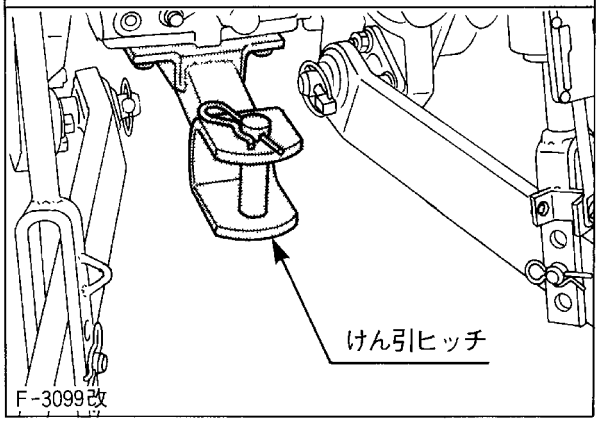


23 けん引ヒッチ

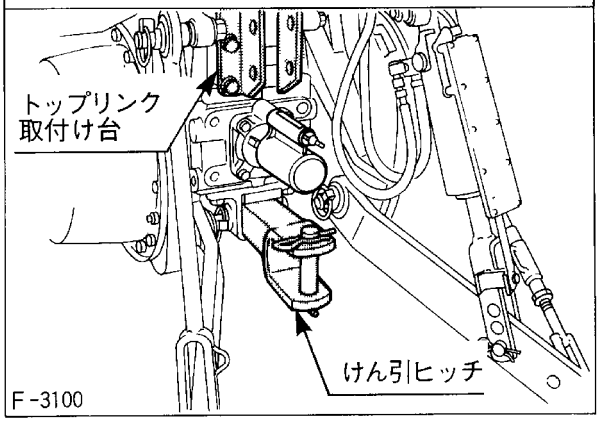
けん引は，このトラクタ用に採用しているインプルメントのみにしてください。

他の物をけん引する場合は，必ず購入店・農協に御相談ください。

18・20・22仕様



24・26・28仕様



注意

●けん引作業をする場合は，けん引ヒッチを引き出して御使用ください。

安全ポイント

(1)けん引作業をするときは，必ずけん引ヒッチを使用し，トップリンク取付け台で引張らないようにしてください。

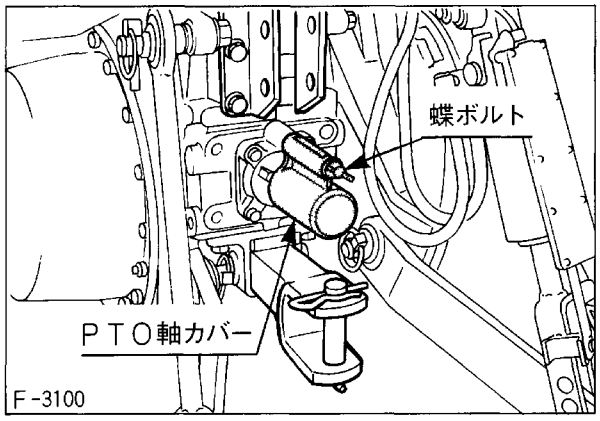
▶もし怠ると…

転倒による傷害事故を引起こす恐れがあります。

(2)3点リンクに取付け，ＰＴＯ軸からユニバーサルジョイントで動力を取出すインプルメント（ロータリ，ブロードキャスタなど）を使用するときは，けん引ヒッチを下向きにして前へ押込むか，外してください。

▶もし怠ると……
ユニバーサルジョイントがけん引ヒッチに当って破損し，災害を起す危険があります。

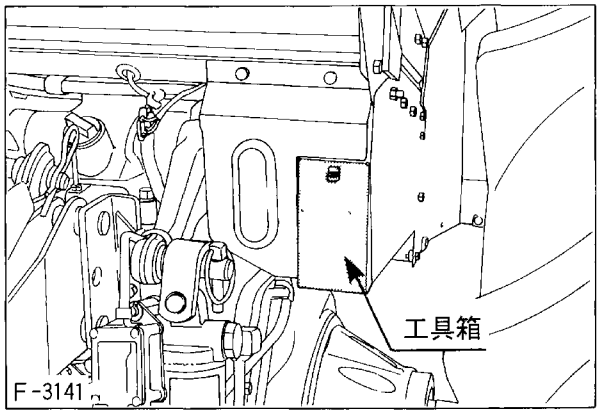
24 PTO軸カバー



安全ポイント

●ＰＴＯ軸を使わないときは，ＰＴＯ軸にグリースを塗布した後，カバーを取付けておいてください。
▶もし怠ると……
巻込まれによる傷害事故を引起こす恐れがあります。

■工具箱



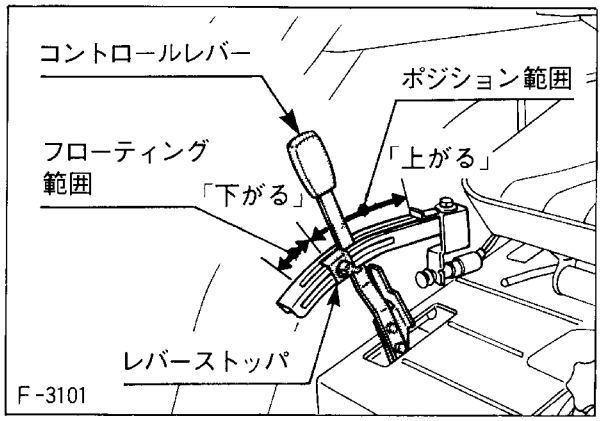
作業機昇降装置の取扱い

油圧装置は，エンジン回転中は常に作動し，またクラッチの断続に関係なく作動します。

25 コントロールレバー

コントロールレバーで作業機を自由に上下させる装置で，
レバーを後方に引く……作業機が上昇する。
レバーを前方に倒す……作業機が下降する。

	レバー位置	作業機	作業機の位置
ポジション範囲	下げ方向に移動させる	下がる	この範囲では，作業機を任意の位置にセット・保持できます。
	上げ方向に移動させる	上がる	
フローティング範囲	下げ位置	下がる	この範囲では，作業機は止らずいっぱいまで下がります。

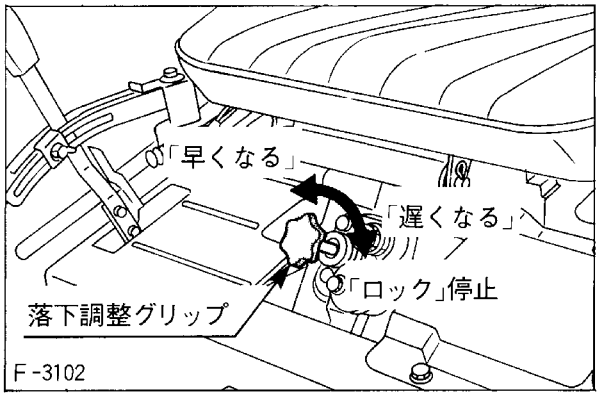


26 レバーストッパの使い方

❶コントロールレバーで，希望する作業位置を決めます。
❷その位置にレバーストッパを固定します。
❸その後は，コントロールレバーをレバーストッパに当るまで動かすことにより，同一の作業位置が得られます。
（レバーストッパは，上げの規制にも使用できます。）

27 作業機落下速度の調整

落下調整グリップを回すことにより調整できます。



落下調整グリップ	落下速度
右に回す	遅くなる
左に回す	早くなる
右に軽く締込む	ロックされる

注意

●油圧をロックするときは，ネジをいっぱいに締込まないで軽く締込むだけにしてください。

安全ポイント

●ロータリなど作業機を点検する場合は，必ず落下調整グリップを締込んで，作業機の落下を防止してください。

→納入品安全説明書12ページ参照

モンローマチック【M仕様】の取扱い

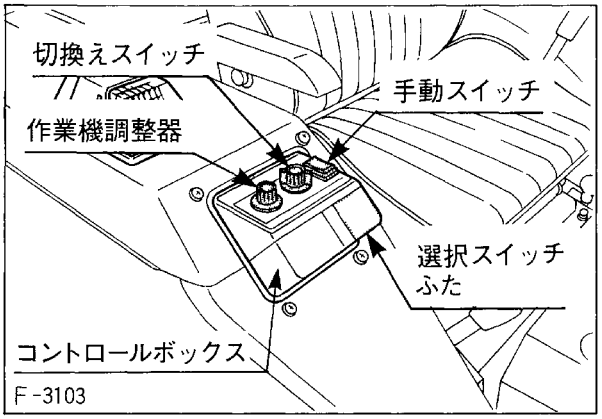
■L_1ーモンローマチックの特長

(1)L_1ーモンローマチックは，トラクタ本体側にセンサが付いていますので，どのような作業機でもコントロールできます。

(2)従来のサンシャインモンローと比較しますと，シリンダスピードが約1.5倍になっていますので，高速作業においても均平な作業ができます。

(3)作業機の姿勢を水平だけでなく任意の角度に保つことができます。

28 スイッチの取扱い



F-3103

注意

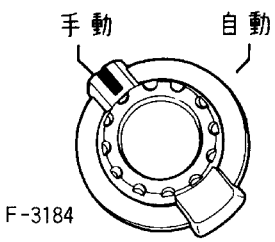
(1)モンロー用リフトシリンダは，メインスイッチが「ON」で「エンジン回転中」でないと動きません。

(2)３点リンクの取付け状態を変更されるときは，16ページの『３点リンクと選択スイッチ』の項を御覧ください。

(3)コントロールボックス及びスイッチには無理な力を加えないでください。

◆切換えスイッチ

「自動」と「手動」の切換えを行ないます。



F-3184

「**自動**」……自動制御を行ないます。

「**手動**」……自動制御が解除されます。

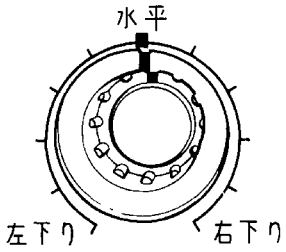
◆作業機調整器

切換えスイッチが「自動」の場合，作業機の姿勢を調整するときに使用します。

(1)ツマミを 水平 位置にしますと，作業機は**水平**に保持されます。

(2)ツマミを 左下り 方向に回すと，作業機が**左下り**に保持されます。

(3)ツマミを 右下り 方向に回すと，作業機が**右下り**に保持されます。



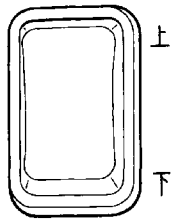
F-3185

◆手動スイッチ

作業機を左右に傾斜させるときに使用します。

(1)「上」側を押している間，作業機の右側が上がります。

(2)「下」側を押している間，作業機の右側が下がります。



F-3184

注意

- スイッチですので軽い操作力で作動します。無理な力を加えないでください。

◆「自動」では次のような作業に効果があります。

（トラクタ本体の傾きにかかわらず，作業機の傾斜が一定になります。）

(1)作業機調整器のツマミが 水平 位置の場合

- 水田でのあぜ際耕うん，枕地，凸凹地での均平耕うん。
- 整地板・ドライブハローなどによる均平作業
- 畑での畝立て，畝崩し作業その他

(2)作業機調整器のツマミが 水平 以外の場合

- プラウ作業，広幅畝立て，その他

◆「手動」では次のような作業に効果があります。

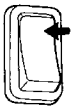
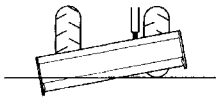
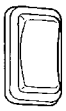
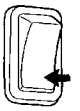
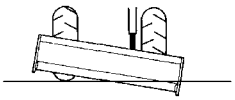
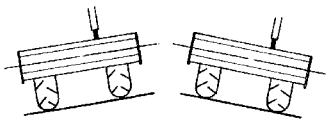
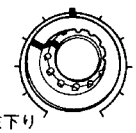
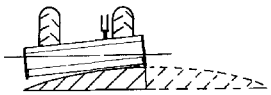
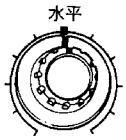
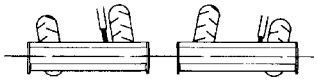
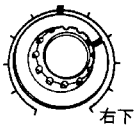
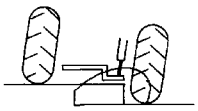
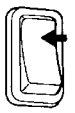
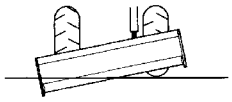
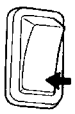
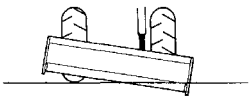
- メロンなどの高畝作り，その他
- 作業機の着脱

安全ポイント

- 道路走行時には必ず「手動」にして走行してください。
  又，落下調整グリップを締込んで作業機の落下を防止してください。

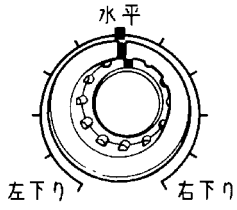
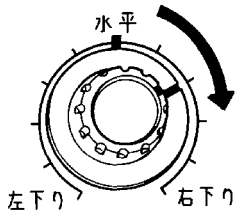
→納入品安全説明書12ページ参照

■スイッチの操作と作業機の動き

切換えスイッチ	手動スイッチ	油圧コントロールレバー(リミットスイッチ)	作業機調整器	作業機の動き
手動	 上…ON 下…OFF	——	——	上げ 
手動	 上…OFF 下…OFF	——	——	停止　右上り，右下り，いずれかの位置でそのまま停止
手動	 上…OFF 下…ON	——	——	下げ 
自動	上…OFF 下…OFF	最上昇位置(リミットスイッチON)	——	本機と平行 
自動	上…OFF 下…OFF	作業位置(リミットスイッチOFF)	 左下り	左下り(右上り)  〔例〕広幅畝立てなど
自動	上…OFF 下…OFF	作業位置(リミットスイッチOFF)	 水平	水平  〔例〕ロータリ耕など
自動	上…OFF 下…OFF	作業位置(リミットスイッチOFF)	 右下り	右下り  〔例〕プラウ耕など
自動	 上…ON 下…OFF	——	——	上げ  〔注〕自動でシリンダが下げ方向に動いている途中では，上げになりません
自動	 上…OFF 下…ON	——	——	下げ  〔注〕自動でシリンダが上げ方向に動いている途中では，下げになりません

F-3185，F-3186，F-3187改，F-3188改，F-3189改，F-3190改，F-3191，F-3205

■作業のしかた

作　　業	切換えスイッチ	作業機調整器	内　　容
ロータリ耕うん （均平耕うん 畝くずし 代かきなど）	自　動	水平位置  	★これで自動水平制御になります。 耕うん深さの調節は，標準仕様機と同様にロータリの耕深調整ハンドルで行なってください。
プラウ耕うん （広幅畝立て）	自　動	 	★作業機調整器にて，作業機の姿勢を御希望の姿勢にセットしてください。 これで本機の傾きが変わっても，作業機の姿勢を一定に保つことができます。
ロータリ耕うん （特に傾斜地）	手　動	——	——

F-3185, F-3187

※その他の作業機も同様に，「自動」と「手動」を切換えて使用してください。

注意

(1)「手動」で作業機を傾動させるとき，作業機を上端に上げると，ジョイント騒音が高くなる場合がありますので注意してください。

(2)チェックチェーンを張りすぎますと，モンロー作動時に３点リンクに無理な力が加わりますので，チェックチェーンは手で軽く締める程度にしてください。

(3)モンローを「自動」で使用する場合は，エンジン回転速度を約1500回転／分以上にして使用してください。これよりも低い場合には，作業機が上がらないことがあります。
又，モンローが不要（フロントローダ作業など）の場合には，切換えスイッチを「手動」にして作業してください。

■車体と作業機を平行にする方法

標準仕様機と同様の作業をする場合は，次の方法で車体と作業機を平行にします。

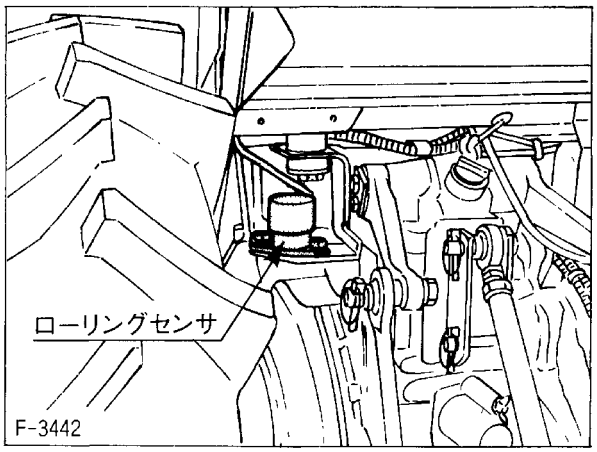
❶切換えスイッチを「自動」にして，コントロールレバーで作業機を上端まで上げます。

❷作業機が上端で停止してから，「手動」に切換えます。これで車体と作業機は自動的に平行になります。

■ローリングセンサの取扱い注意

注意

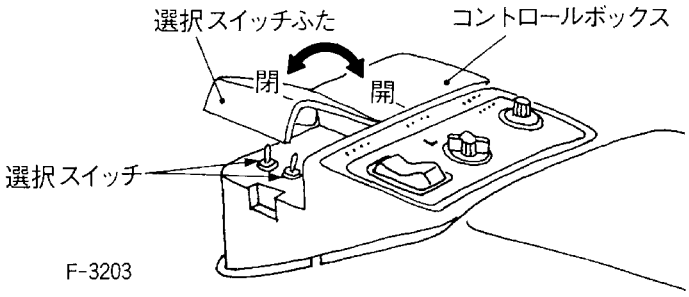
● ローリングセンサは，車体の傾きを感知する電子部品です。
たたいたりするなどの衝撃を与えると機能が低下しますので，取扱いには注意してください。

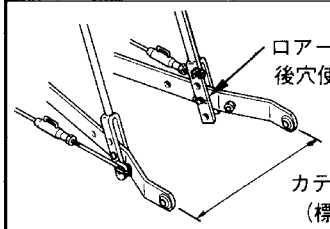
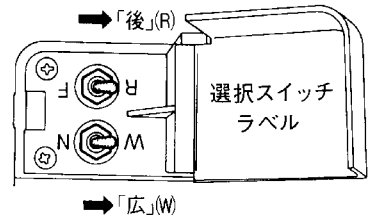
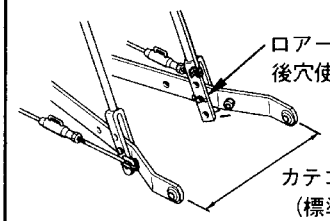
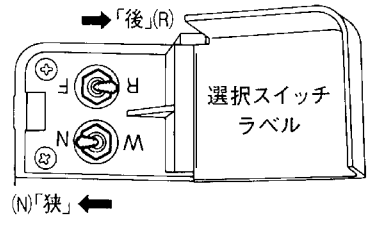
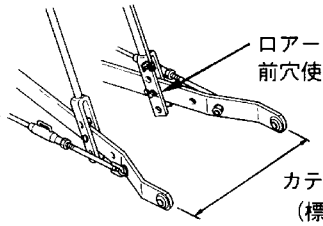
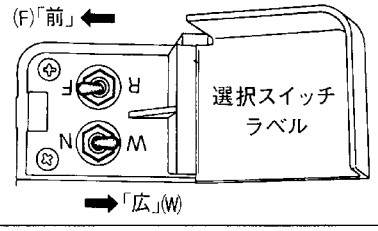
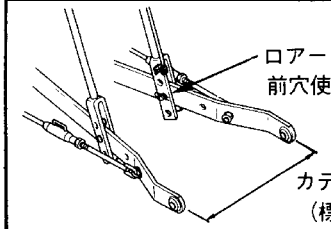
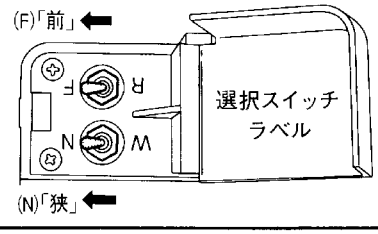


F-3442

■3点リンクと選択スイッチ

(1)作業機によって3点リンクの取付けが決まりますが，そのときコントロールボックス前部左のふたを開け，選択スイッチの位置を下表のようにセットしてください。



3点リンクの取付け状態	選択スイッチの位置	作業機例(参考)
		クイックヒッチ付 ロータリ
		クイックヒッチなし ロータリ
		プラウ(取付け幅広い)
		ドライブハロー プラウ(取付け幅狭い)

F-3191，F-3192，F-3193，F-3194

選択スイッチラベル

注意

(1)スイッチですので軽い操作力で作動します。
無理な力を加えないでください。

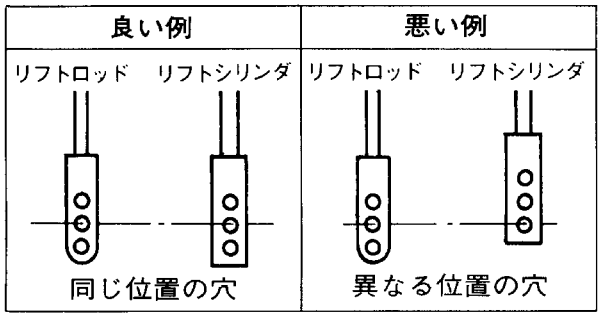
(2)選択スイッチをセットしたら必ずふたをしてください。

(3)3点リンクの取付けを変え，選択スイッチをセットした後で，水平精度が悪い場合は作業機調整器で調節してください。

(4)コントロールボックスの中を開けたり，上記以外のスイッチ・ネジなどをさわったりすることは絶対に避けてください。誤動作や故障の原因になります。

(5)18・20・22・24仕様のロアーリンクには，リフトロッド(リフトシリンダ)との接合穴が3コありますが，最後部の穴は播種機などの作業機を使用するときの接合穴です。コントロールボックスの選択スイッチ〔前(F)，後(R)〕は，“後(R)”にして使用してください。

(2)リフトロッドとリフトシリンダ先端部の取付け穴は，左右対称になるようにしてください。



■作業機の取扱い

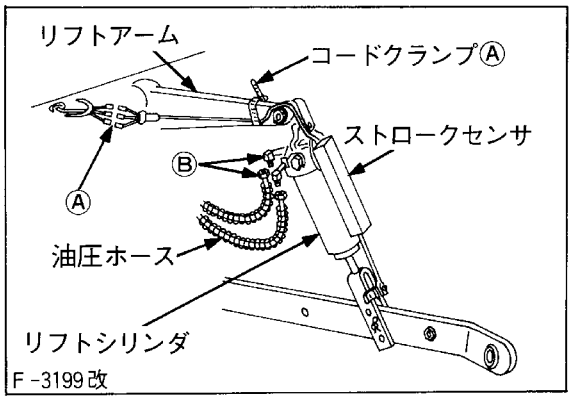
◆作業機の装着について

リフトシリンダを伸縮しますと，トラクタと作業機が接触する場合がありますので，手動スイッチで接触しないことを確認してから使用してください。

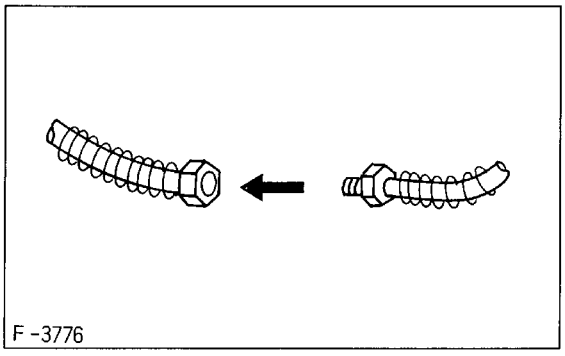
◆リフトシリンダを取外す場合

❶コードクランプを外して，ストロークセンサの配線をギボシ部で外してください。(Ⓐ)

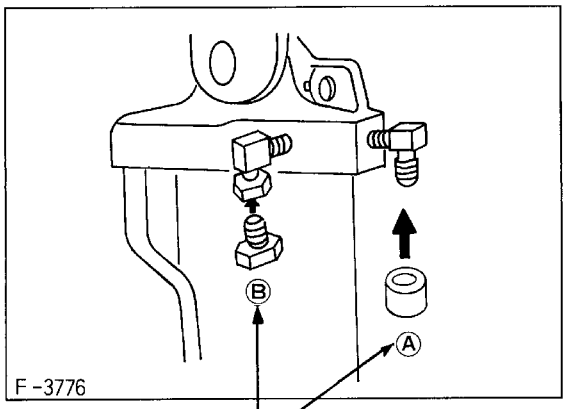
❷油圧ホース2本をリフトシリンダの接手部で外してください。(Ⓑ)



❸外したホースは，ホースどおしを互いに接続してください。



❹リフトシリンダの接手に，キャップ及びプラグ(オプション)を用いてカバーをしてください。



	品　番	品　名
Ⓐ	99093—9801—1	キャップ
Ⓑ	99093—9802—1	プラグ

●キャップ及びプラグは別途購入品です。

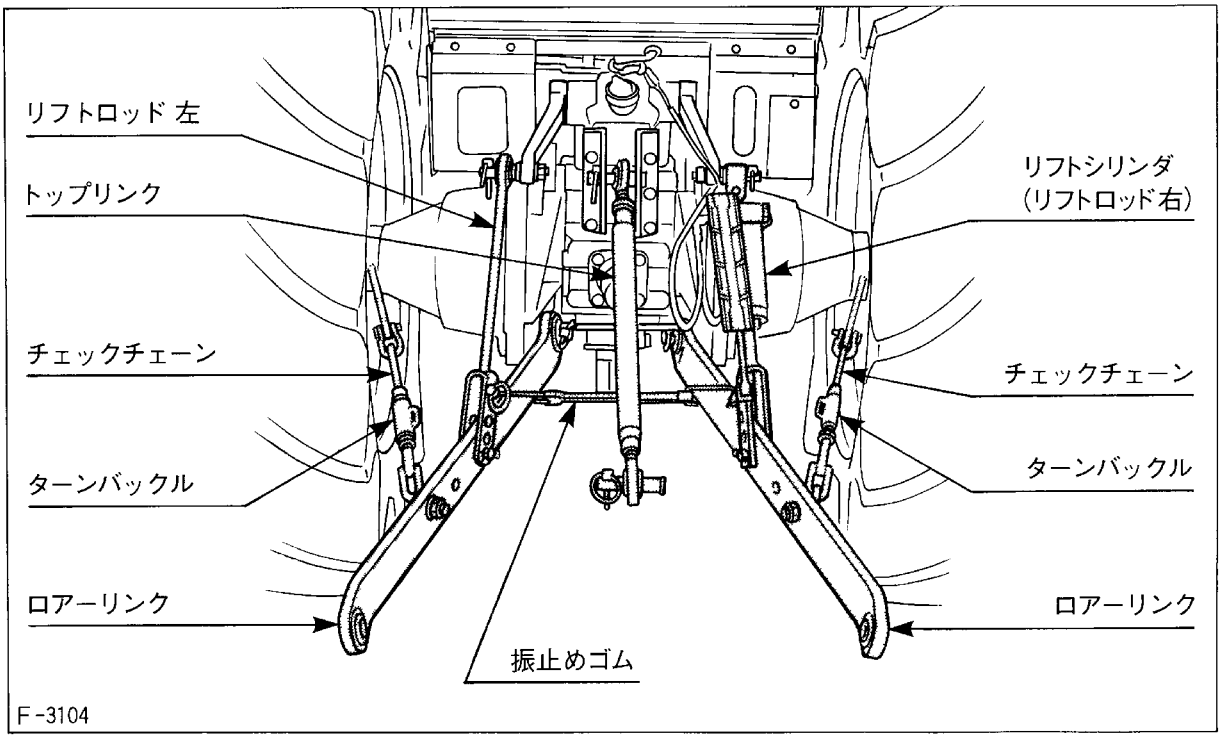
品　番	品　名	備　考
99093—9800—1	キャップアッシ	キャップ及びプラグを含む

❺ホースどおし接続した油圧ホースは，コードクランプでリフトアームに止めてください。

注意

●ストロークセンサは破損しないよう特に注意して取扱ってください。
投げたり，ぶつけたり，水の中につけたり絶対にしないでください。

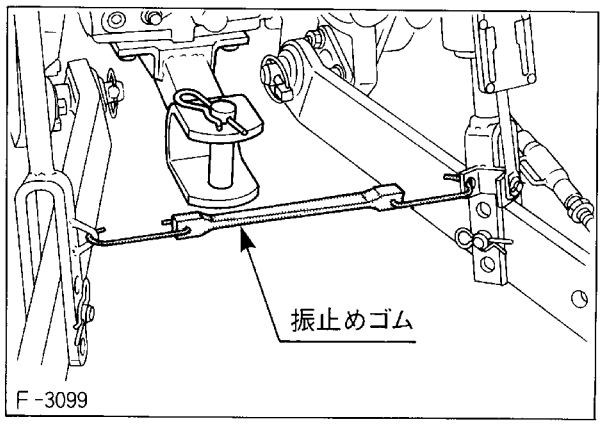
三点リンク装置の取扱い(一般作業機用)



(1)3点リンクは，ＪＩＳ１形です。
(2)18・20・22仕様を御購入の方は，トップリンクアッシを別途購入してください。(47ページ参照)
(3)後輪輪距を広げてください。(19ページ輪距の調整参照)

■作業機を取付けないときの注意

作業機を取付けないときは，ロアーリンクが後輪に当らないように，左右振れ止めをしておいてください。



■トップリンクの調整

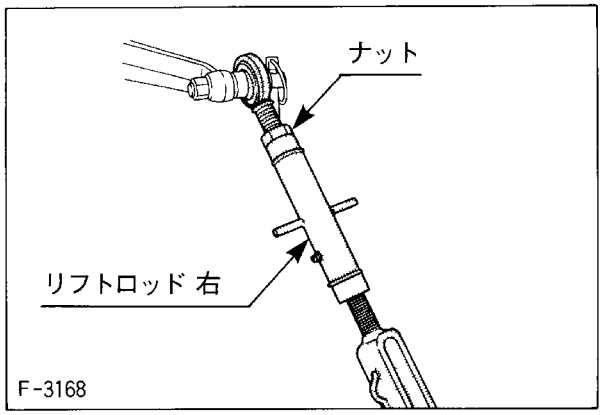
(1)伸縮させて，作業機の傾きを調整してください。
(2)トップリンク取付け位置は，作業機の種類によって違います。

■リフトロッドの調整

◆18・20・22仕様

(1)リフトロッド右を操作して，作業機の水平を合わせてください。

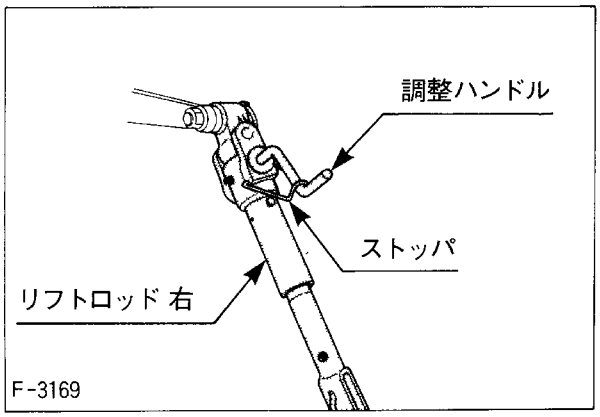
(2)調整後は，リフトロッド右をナットで固定してください。



◆24・26・28仕様

(1)右側の調整ハンドルで，作業機の水平を合わせてください。

(2)調整後は，ハンドルをストッパで固定してください。



■ロアーリンク取付け穴の選択

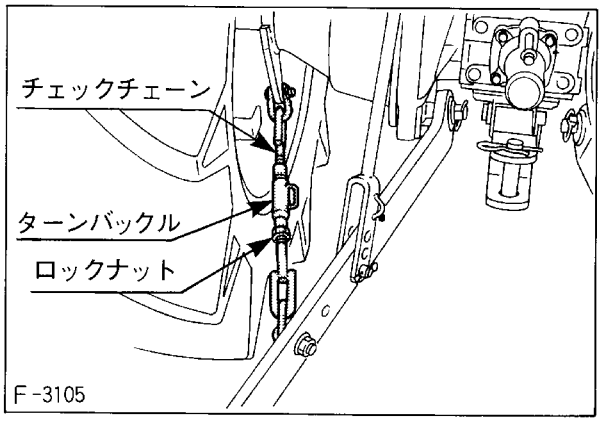
一般作業機を使うときは，ロアーリンクの前穴を使ってください。

なお，後穴は特殊3点リンクロータリ用です。

■チェックチェーンの調整

ターンバックルを回して，作業機の横振れを制限してください。

作　業　機	チェーンの張り具合
プラウ，ハロー， サブソイラ， ディガー，	ゆるめる （作業機が横方向に 5～6cm動く程度）
ロータリ，モアー， ヘイレーキ，テッダ， リッジャ，カルチベータ，	軽く締める



■輪距の調整

一般作業機用の三点リンク装置を利用する場合は，下記の輪距に変更して，作業してください。

(27･28ページ参照)

	後輪輪距
18・20・22仕様	広い方の輪距
24　仕　様	112cm以上
26　仕　様	115cm以上
28　仕　様	120cm以上

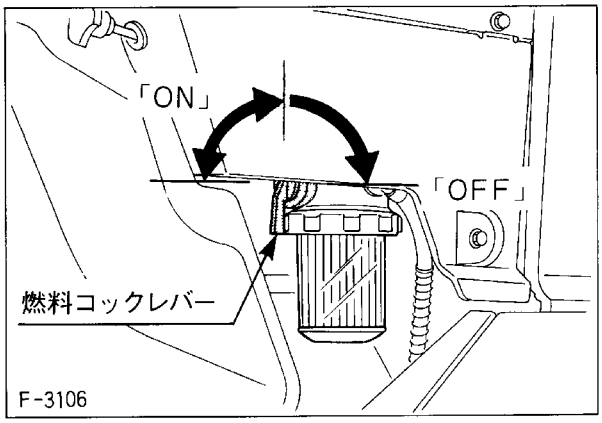
なお，**24・26・28の2輪仕様**は，前輪の輪距も後輪輪距に合わせてください。

上手な運転のしかた

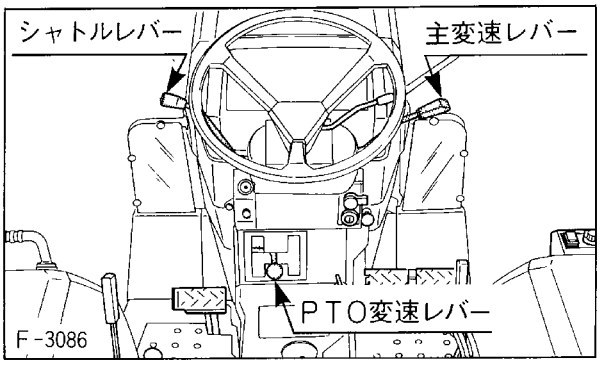
エンジンの始動

■始動のしかた

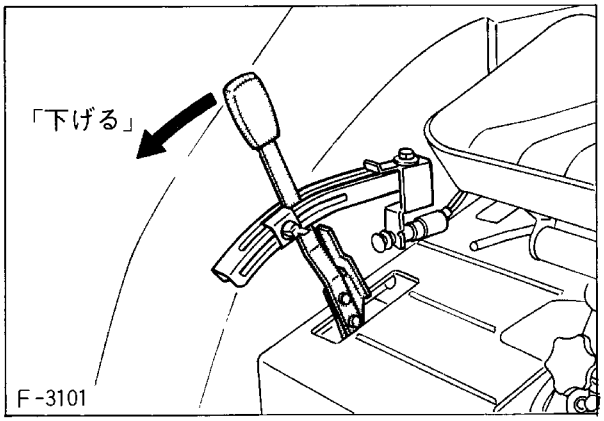
❶燃料コックを「ON」にします。



❷主変速レバー，シャトルレバー及びＰＴＯ変速レバーを「中立」にします。

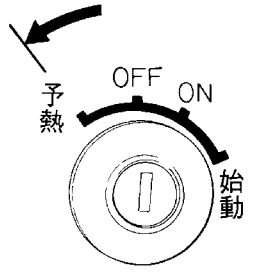


❸コントロールレバーを「前方に倒し」作業機を下げます。



❹メインスイッチにキーを差込みます。

●エンジンが－５℃以下に冷えきっているときは，キーを「予熱」位置に回し，約30秒間予熱します。

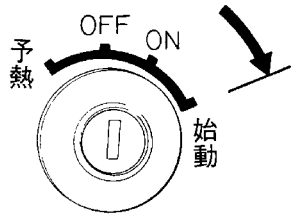


❺クラッチペダルを「踏込み」ます。

注意

●クラッチペダルを踏込まないと，安全スイッチが作動してエンジンは始動しません。

❻アクセルペダルを一度一杯に踏込んでから，元に戻し，キーを「始動」位置に回します。



注意

(1)このトラクタには，暖機を早くするため，冷機時のみアイドリング回転数を増加させる装置が組込まれていますが，始動前にアクセルペダルを一度踏込んでおかないと作動しないことがあります。必ず始動前にアクセルペダルを一度一杯に踏込んでください。

(2)セルモータは，大電流を消費しますので，10秒以上の連続使用は避けてください。10秒以内で始動しなかった場合は，いったんスイッチを切って，30秒以上休止してから同じ操作をくり返してください。

❼エンジンが始動したら，キーから手をはなしてください。自動的に「ＯＮ」にもどります。

注意

●エンジン回転中は，キーを始動位置にしないでください。セルモータの故障の原因になります。

❽クラッチペダルからゆっくり足を離し，そのまま５分程度暖機運転しましょう。

注意

(1)アクセルレバーがアイドリング状態であれば，冷時始動後３～５分程でアイドリング回転が急減します。これはアイドリング回転数を増加させる装置の作動が完了したためで，正常な状態です。

(2)寒冷時の始動直後約１分程度，青白煙を排出することがありますが，異常ではありません。又，それ以上に青白煙を排出し続ける場合でもいったん負荷をかけて暖機し，マフラを充分に加熱すれば，ノズルのつまりなどの故障でない限り，青白煙は消えます。冷機時，アイドリング運転の繰返し，及び長時間にわたるアイドリング運転は青白煙排出の原因となりますので，極力避けてください。

安全ポイント

●トンネル内やビニールハウス内などで運転する場合は，換気を充分に行なってください。排気ガスは，人体に有害です。

▶もし怠ると……

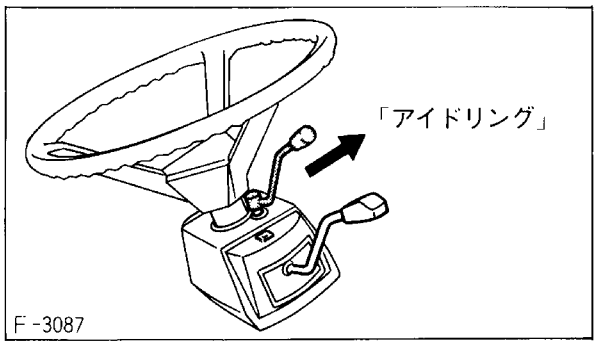
排気ガス臭のため，気分が悪くなったり，目が痛くなったりすることがあります。

エンジンの停止

■停止のしかた

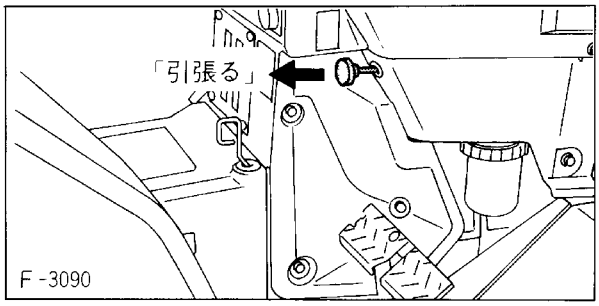
◆18・20仕様

❶アクセルレバーをいっぱい前へ「押し」てアイドリング状態にします。



❷エンジンストップロッドをいっぱい「引張る」と，エンジンは止まります。

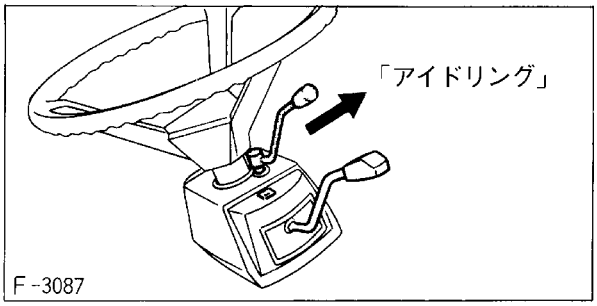
（ストップロッドは手で押さないと元に戻りません。戻し忘れるとエンジンが始動しない構造になっています。）



❸キーを「OFF」にし，必ずキーは「抜き」ましょう。

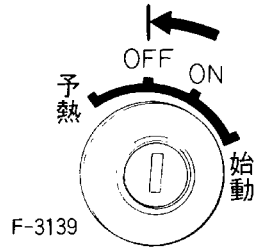
◆22・24・26・28仕様

❶アクセルレバーをいっぱい前へ「押し」てアイドリング状態にします。



❷メインスイッチのキーを「**OFF**」の位置にすると，エンジンは止まります。

万一停止しないときは，エンジンストップロッドをいっぱい引張ると止まります。



❸エンジンが停止して4～8秒後，カチッと音がしますが，これは停止ソレノイドが戻る音です。

❹必ずキーは「**抜き**」ましょう。

ならし運転(最初の約60時間)

この期間中は，特に次のことを厳守してください。

(1)急なスタート，急ブレーキは慎んでください。

(2)必要以上のスピードや負荷をかけないようにしましょう。

(3)運転は，エンジンが充分暖まってから行なうようにしましょう。

(4)悪路や傾斜地では，速度を落としゆっくりと走行しましょう。

暖機運転

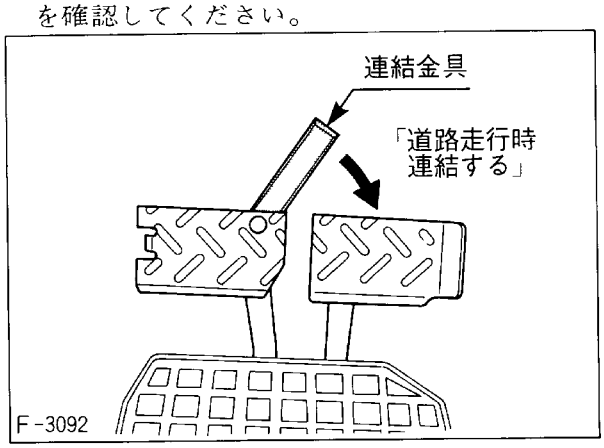
始動後，約5分間は負荷をかけずに暖機運転をしてください。オイルを各メタルに充分ゆきわたらせるためで，始動してからすぐ負荷をかけると，運転部分の焼付きや破損など故障の原因になりますので御注意ください。

注意

●**暖機運転中は駐車ブレーキを必ず使用しましょう。**

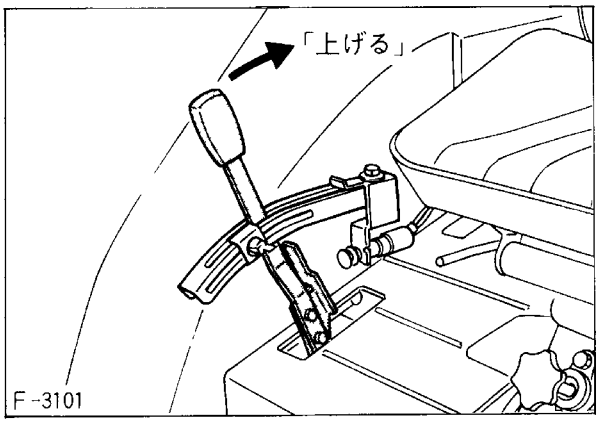
発進・走行

❶ブレーキペダルが左右「**連結**」されていることを確認してください。



❷エンジン回転をアイドリングから「**中速**」回転にします。

❸コントロールレバーを「**後方に引き**」作業機を上げます。



❹クラッチペダルをいっぱいまで「**踏込み**」ます。

❺主変速レバー・マルチレンジを希望する位置に「**入れ**」ます。

❻シャトルレバーを前進又は後進に「**入れ**」ます。

❼クラッチペダルをゆっくり離せば，トラクタが動き始めます。

注意

(1)走行中に変速することはできません。必ずクラッチペダルを踏込んでトラクタを停止させてから，変速を行ってください。

(2)走行中は，クラッチペダルの上に足を乗せないようにしましょう。
足を乗せるとクラッチがすべっている状態で摩耗が早くなります。

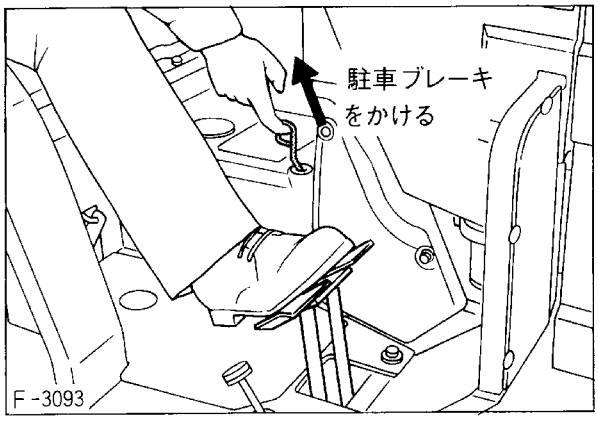
(3)クラッチペダルの操作は，切るときは早く，つなぐときはゆっくり操作してください。

安全ポイント

●トラクタを動かす前には，前後左右に注意してください。
▶もし怠ると……
傷害事故を引起こすことがあります。

停車

❶アクセルレバーを前方に押して，エンジン回転をアイドリング状態にします。
❷クラッチ及びブレーキペダルを踏込みます。
❸完全に停止してから，シャトルレバー及び主変速レバーを「中立」にします。
❹作業機を取付けている場合は，コントロールレバーをゆっくり「前方に倒し」作業機を下げます。
❺駐車ブレーキを確実に「ロック」してください。



❻【18・20仕様】 エンジンストップロッドでエンジンを停止します。
【22·24·26·28仕様】 メインスイッチキーを「OFF」にして，エンジンを停止します。

注意

(1)トラクタを坂道の途中で止めておく場合は，タイヤに必ず車止めをしておきましょう。
(2)変速を前進に入れてクラッチがつながった状態で坂道などで後進させると，エンジンが逆転することがありますので，この様な使い方は避けてください。
(3)トラクタを停止するときは，草やワラの上に止めないでください。マフラ排気口に草やワラが触れると，火災の恐れがあります。
(4)作業を終えてシートをトラクタにかけるときには，マフラ，エンジンが冷えてからにしてください。
(5)停車時，空吹かしをしたり，高回転にしたりすると排気管の熱や排気ガスにより，ワラなどに着火する恐れがあります。

旋回

旋回するときは，できるだけエンジン回転を落とし，ゆっくりと旋回してください。

安全ポイント

●高速で回ると，横転する危険があります。デフロックペダルの解除を確認して，必ずスピードを落としてゆっくりと回ってください。
▶もし怠ると……
傷害事故を引起こすことがあります。

坂道での運転

(1)坂道状況に応じた安全なスピードで，エンジンにできるだけ負担をかけないように走行しましょう。
(2)登り坂ではノッキングさせないように早めに遅い変速位置にしましょう。
(3)下り坂ではエンジンブレーキを活用しましょう。
車速を下げるほどエンジンブレーキはよくききます。

安全ポイント

→納入品安全説明書8及び14ページ参照
(1)ブレーキペダルの連結及びデフロックの解除を確認してください。
(2)坂道では主変速を中立にしたり，クラッチを切ったりしないようにしましょう。
(3)下り坂では，エンジンブレーキを活用し，クラッチペダルは踏込まないようにしましょう。
▶もし怠ると……
傷害事故を引起こすことがあります。

ほ場への出入り時の注意

(1)ブレーキペダルの左右の連結を確認してください。

(2)耕作地への出入りは，高低差が大きいと危険です。アユミ板などを利用してください。

(3)耕作地への出入りは，斜めに登り降りせず，直角に行なってください。

(4)登り始めは，作業機を下げて進むと，前輪が浮き上がりません。
トラクタの前・後輪があぜに上がると同時に作業機を上げます。
常に前・後輪のバランスを考えながら操作するようにしてください。

(5)4WDは，あぜを上がるとき，4輪駆動の特色を生かして，バックで上がると格段に上がる能力が増します。

安全ポイント

→納入品安全説明書8ページ参照

トラックへの積込み積降ろし

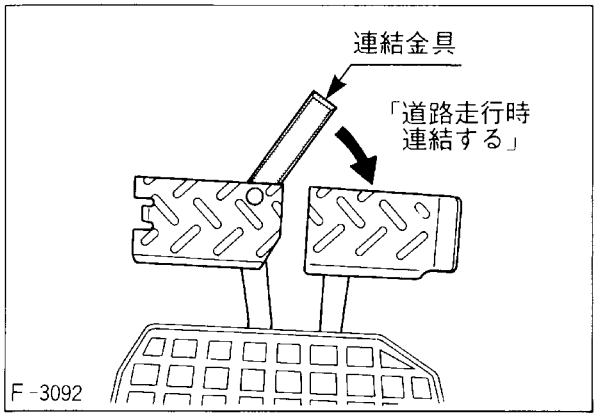
トラックへの積込みは，バックで(マルチレンジは1・2速)行なってください。
万一，途中でエンストした場合は，すぐブレーキペダルを踏込み，エンジンストップロッドを引いてその後徐々にブレーキをゆるめ，いったん道路まで降ろし，あらためてエンジンを始動してから行なってください。

公道走行中の注意

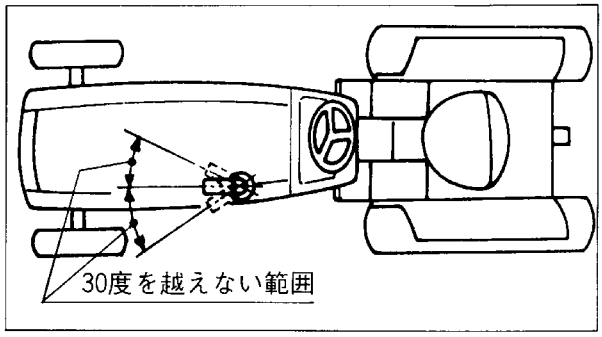
(1)公道走行中進路方向を変えるときは，方向指示器で進路方向を他の自動車に知らせます。

(2)夜間走行中，対向車とすれちがうときは，ライティングスイッチを下向き照射にし，対向車の妨害にならないように注意しましょう。

(3)左右のブレーキペダルは，必ず「連結」しておいてください。



(4)マフラパイプの開口部(排気ガスの排出方向)の向きは，進行方向(30度を越えない範囲)に取付けてください。



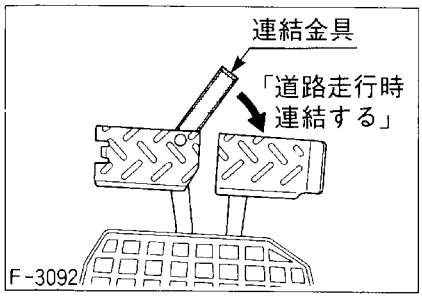
(5)ロータリなど作業機を装着して公道を走行すると，「道路運送車両法」に違反することもあるので注意しましょう。

安全ポイント

(1)道路を走行するときは，必ず左右のブレーキペダルを連結してください。

▶もし怠ると……

ブレーキが片ぎきになり，車体が急旋回して，転倒・転落・衝突などの傷害事故を引起こすことがあります。



(2)道路を走行するときは，関係法規を守り安全運転を心がけましょう。

▶もし怠ると……

交通事故を引起こすことがあります。

(3)運転者のほかは乗せないようにしましょう。

→納入品安全説明書4ページ参照

▶もし怠ると……

傷害事故を引起こすことがあります。

(4)溝のある農道や両側が傾斜している農道を通るときは，特に路肩に注意しましょう。

→納入品安全説明書6ページ参照

▶もし怠ると……

転落による傷害事故を引起こすことがあります。

(5)ロータリなど作業機を装着して道路を走行すると，トラクタの前部が軽くなって，ハンドルの切れが悪くなり危険です。

→納入品安全説明書6ページ参照

パワーステアリングの取扱い上の注意【パワーステアリング仕様】

(1)パワーステアリングは，エンジン運転中だけ作動します。

ただし，エンジン回転が低速のときは多少ハンドルが重くなります。

又，エンジン停止時は普通の標準ステアリングと同様に作動します。

なお，エンジン停止時は，ハンドルの遊びが大きくなりますが，機能上問題はありません。

(2)ドッキングローダなどの前部装着作業機を使用し，トラクタを止めたままハンドルを操作すると，途中重くなることがあります。このときは，低速でトラクタを移動させながらハンドルを操作してください。

(ドッキングローダ使用時は，前輪タイヤ空気圧の調圧(29ページ参照)，トラクタ後部にウエイト又はロータリの取付け，前部ウエイト・前輪ウエイトの取外しを行なって，前後バランスを良くして安全に作業をしてください。)

(3)ハンドルをいっぱい切ると，安全弁が働いて信号音(リリーフ音)が出ます。この音が鳴ったまま使用しないでください。(短い時間ではかまいません。)

又，ハンドルのフル回転状態での連続使用は，できるだけ避けてください。

(4)不必要なハンドルのスエ切り(走行しないでハンドルを切る)は，タイヤ及びリムなどの損耗を早めるので避けてください。

(5)冬期は暖機運転を充分行なってから使用してください。

(6)配管などの修理は，ゴミの進入防止のためしないでください。

(7)ハンドル操作は大変軽くなりますので，道路走行は慎重に行なってください。

輪距の調整

■前輪

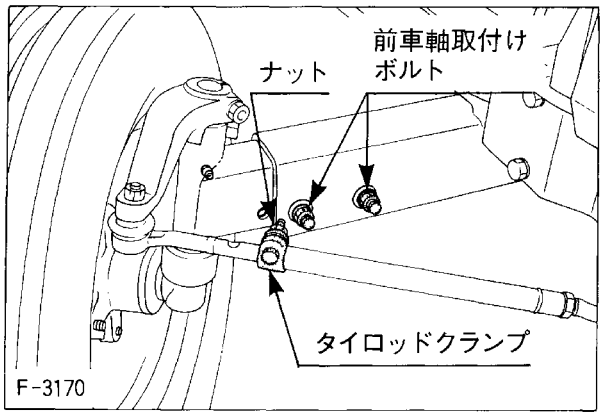
◆18·20·22仕様及び24·26·28の4WD仕様

前輪の輪距は変更できません。

◆24·26·28二輪仕様

❶ジャッキで前部を持上げ，前輪を浮かす。

❷前車軸取付けボルト及びタイロッドクランプボルトをはずす。

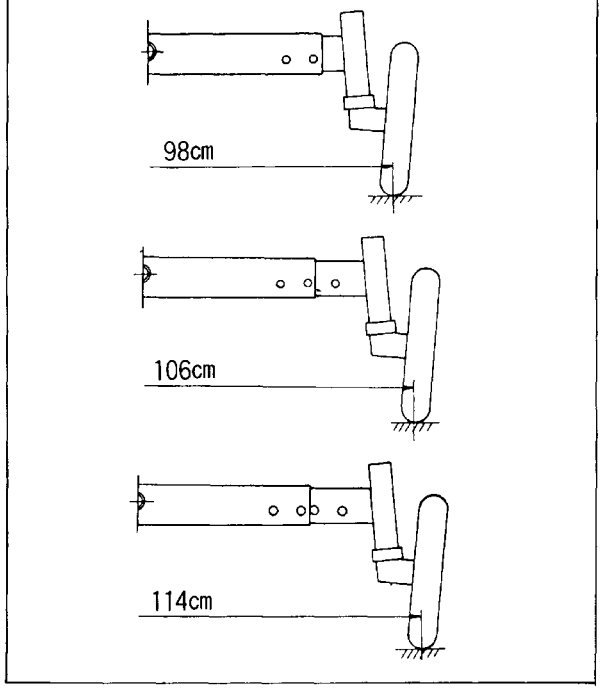


❸前車軸左·右を移動させて，希望する位置にし，ボルトを締付ける。(ナットを前車軸側にする)

❹変更した後は，必ずトーインの調整を行なってください。

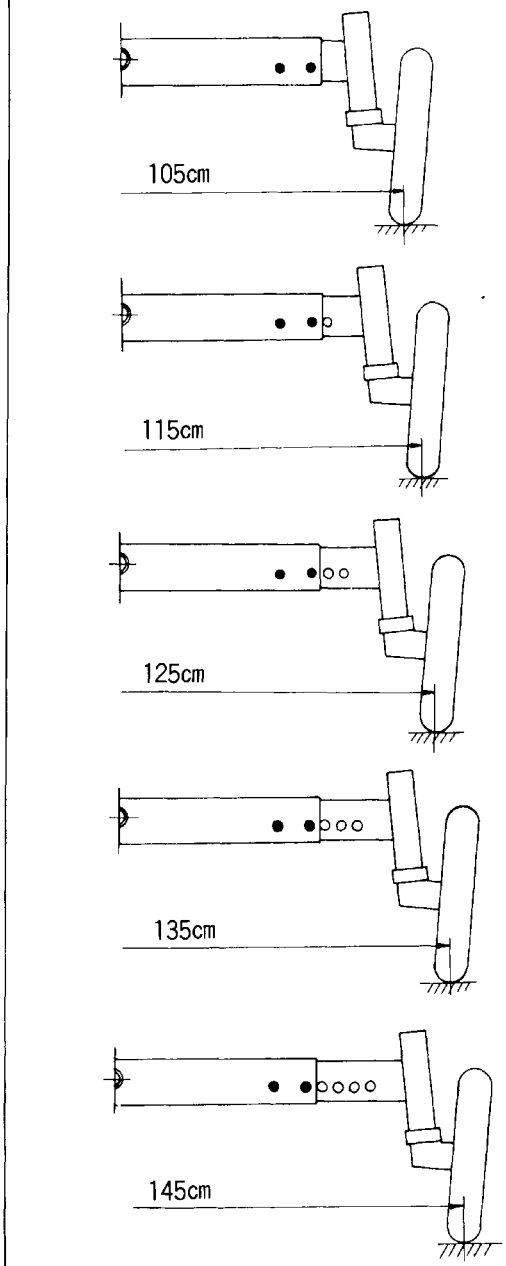
●24仕様

(前輪の輪距は3段階に調節できます。)



●26・28仕様

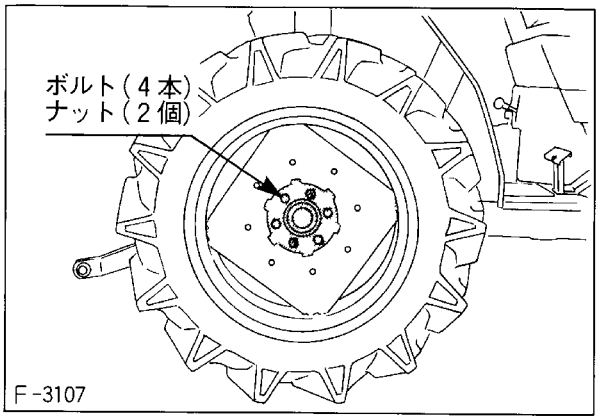
(前輪の輪距は5段階に調節できます。)



■後輪

❶ジャッキで左右の後輪を浮かす。

❷ボルト・ナットをゆるめてタイヤをはずし，左右入換える。



注意

(1)タイヤは，側面の矢印が前進時の回転方向に合うように取付けてください。

(2)ストレークは，最小輪距のときだけ取付けられます。

(3)後輪ウエイトは，すべての輪距で取付けられます。

安全ポイント

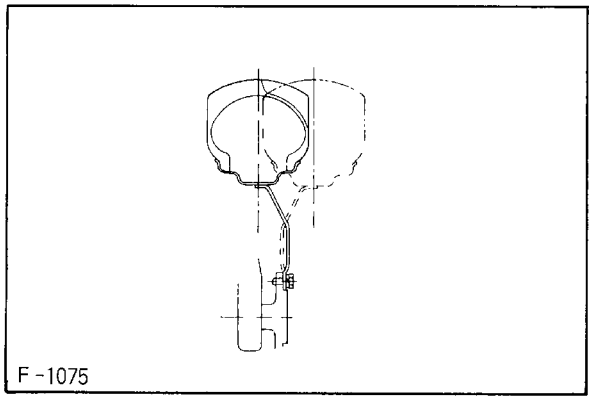
●けん引作業・傾斜地での作業などの場合は，輪距を広くして使用してください。最小輪距では，左右のバランスが不安定になります。

▶もし怠ると……

転倒による傷害事故を起こすことがあります。

◆18・20・22仕様

後輪の輪距は2段階に調節できます。



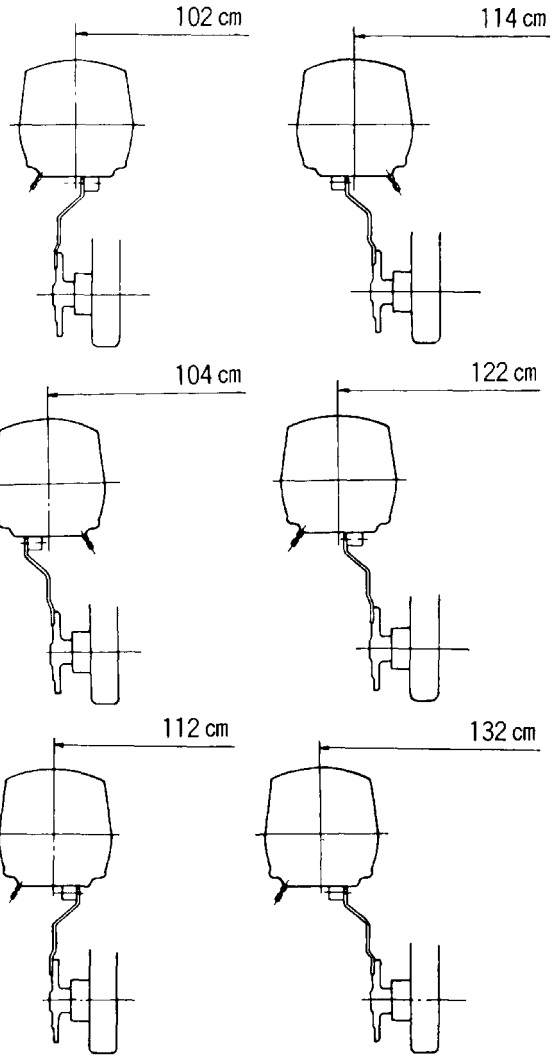
◆24・26・28仕様

後輪の輪距は6段階に調節できます。

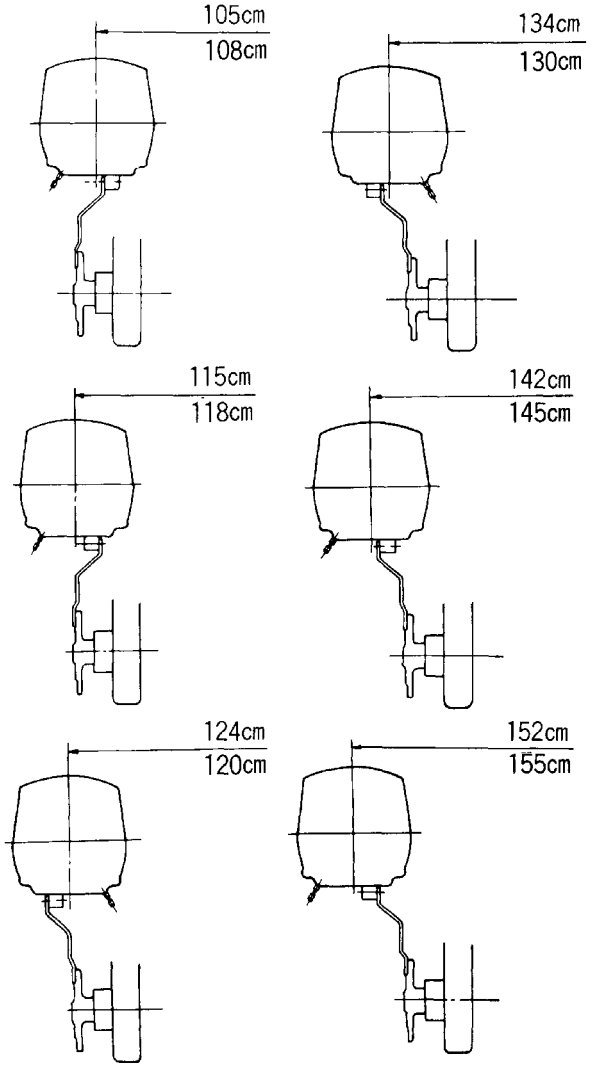
注意

●24・26・28仕様はディスクの組替えも合わせて行なってください。

●24仕様



●26・28仕様



作業前の点検について(仕業点検)

点検箇所

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。仕業点検は毎日欠かさず行なってください。
※印は，次に作業要領が説明してあります。

安全ポイント

●点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

■点検は次の順序で実施してください。

(1)前日の異常箇所
(2)トラクタの回りを歩いて
- ●ランプ類の点灯及び汚れ，損傷
- ●ナンバプレートの汚れ，損傷
- ●タイヤの空気圧，き裂，損傷，摩耗…※1
- ●タイヤなどの足回りのボルトやナットのゆるみ
- ●反射器の汚れ，損傷
- ●ミッションオイルの量及び汚れ……※2
- ●燃料フィルタの水抜き
- ●ＰＴＯ軸カバーの取付け

(3)ボンネットを開けて
- ●エンジンオイルの量及び汚れ……※3
- ●冷却水の量，ラジエータキャップのしまり……※4
- ●エアークリーナの詰まり……※5
- ●ファンベルトの張り具合，損傷……※6
- ●バッテリ,配線,マフラ部の清掃……※11

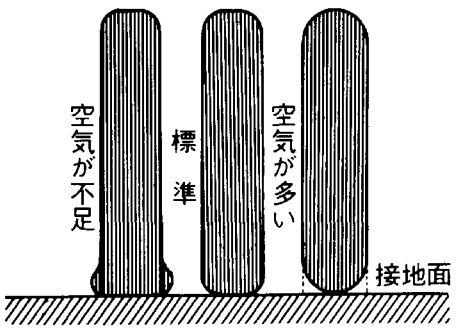
(4)運転席に座ってエンジンを始動して
- ●燃料計の作動
- ●燃料は充分か，燃料キャップの締付
- ●イージーチェッカーの点滅具合
- ●ヘッドランプの作動
- ●トラクタメータの作動
- ●ウインカランプの点滅
- ●ホーンの作動
- ●バックミラーの写影
- ●ブレーキペダルの遊び……※7
- ●ハンドルの遊び・ガタ……※8
- ●燃料こし器の水，沈澱物
- ●コントロールレバーによる油圧昇降及び作業機取付ピンの脱落
- ●冷却水，オイル漏れ点検
- ●排気ガスの色，異常音……※9

(5)エンジンを始動して，徐行しながら
- ●水温計の作動
- ●クラッチペダルの遊び……※10
- ●ブレーキの効き，片効き
- ●ハンドルの重さ，振れ，取られ
- ●駐車ブレーキの作動

点検のしかた

1 タイヤの空気圧

前輪･後輪の空気圧が適正であるかを調べます。
外観から判断する目安はつぎのとおりです。



◆標準空気圧

	空気圧(kg/cm²)	
	二輪仕様	4WD
前輪	2.4	1.6
後輪	1.0	

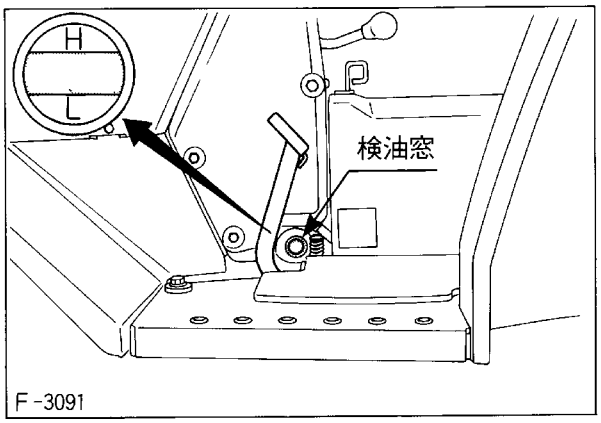
●フロントローダなど前輪に荷重がかかる場合，前輪空気圧は次のように調圧してください。

		空気圧(kg/cm²)	
		二輪仕様	4WD
前輪	18・20・22仕様	3.2	2.0
	24・26・28仕様	2.6	

2 ミッションオイルの量

❶検油窓の「HとLの間」にオイルがあるかを調べます。

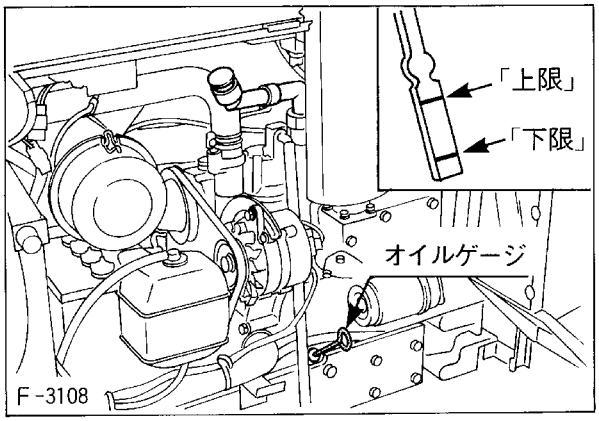
❷L以下の場合は補給が必要ですが，H以上には入れないでください。(給油は35ページ)



3 エンジンオイルの量

❶オイルゲージを抜いて先端をきれいにふき，差込んでから再び抜き「下限と上限の間」にオイルがあるかを調べます。

❷下限以下の場合は補給が必要ですが，上限以上には入れないでください。(給油は35ページ)



注意

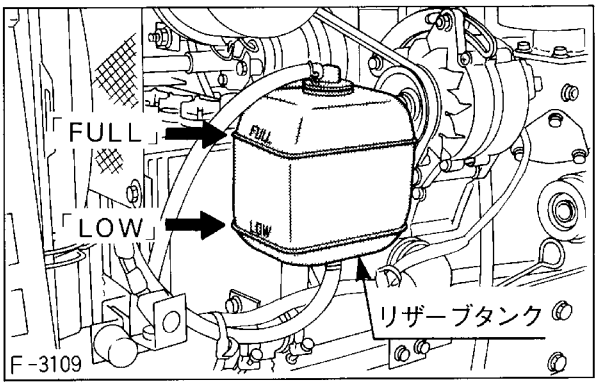
(1)点検するときは，本機を水平な場所に置いて行なってください。傾いていると正確な量を示さないことがあります。

(2)オイル量はエンジン始動前か，エンジンを止めてから約３分以上たってから点検してください。そうでないと，オイルがまだエンジン各部に残っており正確なオイル量は測れません。

4 冷却水の量

ラジエータには，リザーブタンクが付いており，ラジエータ内の冷却水が少なくなると，リザーブタンクから自動的に補給される構造になっています。

冷却水の量はリザーブタンク内の量を点検してください。「FULLからLOWの範囲」であれば正常です。(給水は38ページ)



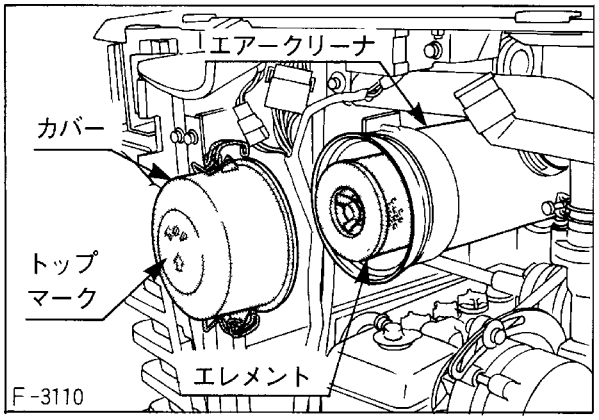
注意

●ラジエータ本体のキャップは，冷却水点検及び交換するとき以外開けないでください。

5 エアークリーナのホコリの詰まり

エアークリーナは，吸入空気中に含まれているゴミを取る装置で，吸入空気中に砂塵などが含まれているとシリンダライナやピストンリングの摩耗を早め，出力不足になります。

(1)カバー内に「ホコリ」がたまっていないか確認してください。



(2)エアークリーナエレメントに「ゴミ」が付着していないか確認してください。(清掃は39ページ)

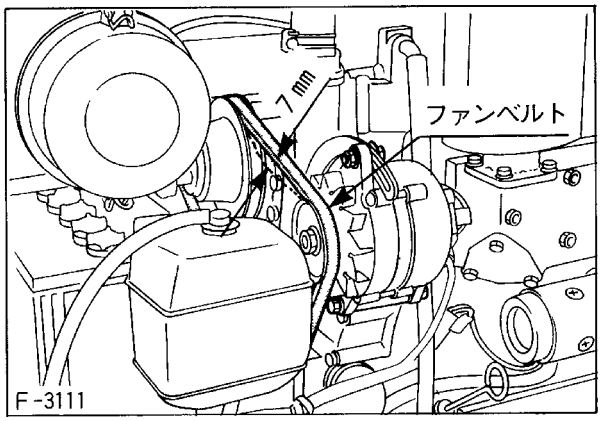
注意

- エアークリーナカバーの取付けは，カバー裏面の TOP ⇧ が，上向くように取付けてください。組付けを誤ると，カバー内にチリやホコリがたまらず，エレメントに直接付着して，エレメントの寿命を著しく短くします。

6 ファンベルトの張り具合

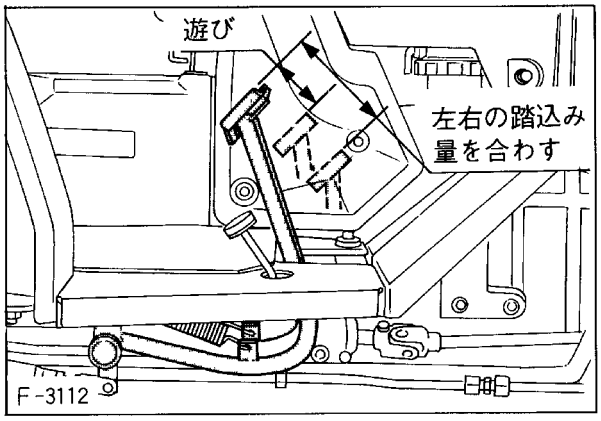
ベルトの調整が悪いと，オーバヒートや充電不足の原因になります。
ベルトの中央部を指先で押えて，たわみ量が「約7mm」程度あるか確認してください。また，き裂やはがれがないかを調べます。

（調整は42ページ）



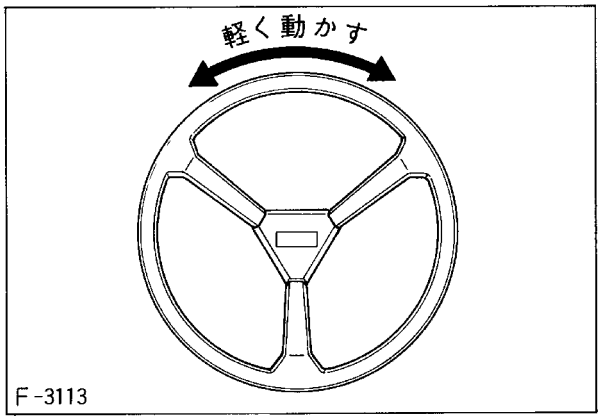
7 ブレーキペダルの遊び

ブレーキの調整が悪いと，人身事故にもつながります。常に作動状態に注意してください。
ペダルを踏んで遊び量を「20～30mm」及び左右ブレーキの踏込み量が「不均一」になっていないかを調べます。(調整は42ページ)



8 ハンドルの遊び

ハンドルの調整が悪いと，ハンドルが重くなったり，直進性が悪くなったりします。
ハンドルを軽く左右に動かしたときの遊び量が「20～50mm」あるか調べます。(調整は42ページ)

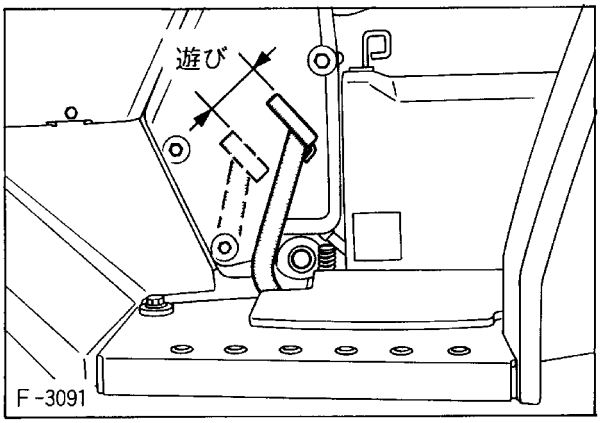


9 排気ガスの色

無　色……正常
黒　色……燃料が濃すぎるための不完全燃焼です。
青白色……冷機時アイドリング運転では，青白く見えることがあります。

10 クラッチペダルの遊び

遊びが適正でないと，クラッチ切れ不良，伝動不良を起し，損傷につながります。
クラッチペダルの遊び量が「20～30mm」あるかを確認してください。(調整は42ページ)



11 配線及びエンジン回りの清掃

バッテリ，配線及びマフラやエンジン周辺部にワラクズ，ゴミや燃料の付着などがあると，火災の原因となり危険です。毎日作業前に点検しきれいに取除いてください。

トラクタの簡単な手入れと処置

安全ポイント

●給油及び点検整備するときは，❶トラクタを平たんな広い場所に置き，❷エンジンを止め，❸駐車ブレーキをかけ，❹安全を確認してから行なってください。

▶もし怠ると……傷害事故を引起すことがあります。

定期点検箇所一覧表

専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは，購入店・農協または当社内燃機器支店に御相談ください。

次の定期点検箇所に従って，定期点検を実施しましょう。

No.	点検項目		アワーメータ表示時間(下記時間目ごとに交換)										購入日から		参照ページ
			35	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	1年	2年	
1	ミッションオイルの交換			◎					○							35
2	エンジンオイルの交換	年間使用時間が100時間以上の場合	◎				○				○					35
		年間使用時間が100時間以内の場合	◎	2年ごと											○	
3	ステアリングギヤーボックスオイルの油量【標準ステアリング仕様】			○					○							35
4	ステアリングギヤーケースオイルの油量								○							36
5	前部デフギヤーケースのオイル交換【4WD】			◎					○							36
6	エンジンオイルフィルタカートリッジの交換										○					37
7	油圧オイルフィルタの交換			◎				○				○				37
8	油圧オイルフィルタの洗浄【28仕様】			◎				○				○				37
9	燃料こし器エレメントの交換										○					37
10	冷却水の交換														○	38
11	ラジエータ内部の洗浄												○			39
12	エアークリーナエレメントの清掃				○		○		○		○		○			39
13	エアークリーナエレメントの交換													○ 6回清掃毎		39
14	油圧・燃料パイプ取付けねじのゆるみ点検			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			40
15	ラジエータホース締付バンドのゆるみ点検					○			○			○				40
16	燃料パイプの交換														○	40
17	ラジエータホースの交換														○	40
18	油圧パイプ接手の交換														○	40
19	バッテリ液点検			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			40
20	車体各部のボルト，ナットのゆるみ，ピン等の脱落			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			—

No.	点　検　項　目	アワーメータ表示時間(下記時間目ごとに交換)										購入日から		参照ページ
		35	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	1年	2年	
21	燃料タンクの清掃											○			—
22	グリースの注入		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			41
23	前輪ハブのグリース注入【2輪仕様】							○							41
24	ファンベルトの調整		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			42
25	クラッチハウジングの水抜き		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			43
26	電気配線の損傷及び接続部のゆるみ												○		44

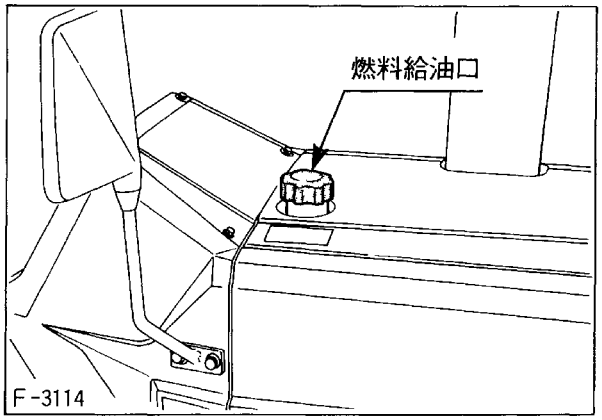
◎印はならし運転時の35時間，50時間使用後に必ず行なってください。

給油(水)一覧表

No.	給油(水)項目	容量 (ℓ)						使用オイル
		18仕様	20仕様	22仕様	24仕様	26仕様	28仕様	
1	燃　料	29						クボタディーゼル重油 又はディーゼル軽油
2	冷却水	5				7		清水又はクボタ不凍液
3	エンジンオイル	5.7 (オイルゲージ上限全量で)				8.5		クボタ純オイル(ディーゼルエンジン用) D30又はD10W30(59ページ参照) ターボ付エンジンはD30スーパーCD, 又はD10W30スーパーCD
4	ミッションオイル	26		27		28	29	クボタ純オイルM80B 又はクボタ純オイルUDT(油圧駆動用)
5	ステアリングギヤーボックスオイル【標準ステアリング仕様】	0.2						クボタ純オイルM80B　(59ページ参照)
6	ステアリングギヤーケースオイル	0.1						
7	前車軸ケース【4WD】	5.0						
8	油圧コントロールレバー軸	注油						クボタ純オイルM80B 又はクボタ純オイルUDT(油圧駆動用) (59ページ参照)
9	停止ソレノイド部	——		注油				
10	グリースの注入 ・前車軸右・左【2輪仕様】 ・クラッチペダル ・ブレーキペダル ・ペダル軸受 ・リフトロッド右	少　量						シャーシグリース　(60ページ参照)
11	前輪ハブ【2輪仕様】	少　量						ベアリンググリース　(60ページ参照)

燃料

燃料には,「クボタディーゼル重油又はディーゼル軽油」を使用してください。



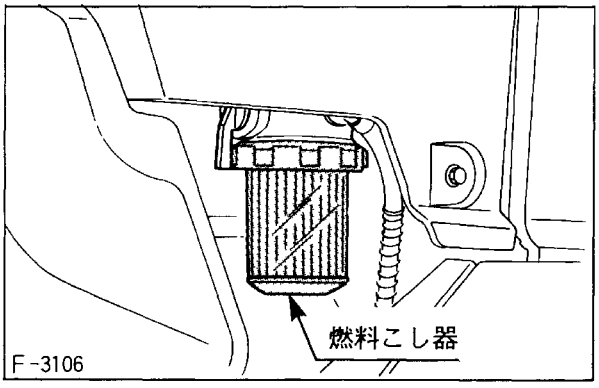
注意

(1)燃料中にゴミや砂が混入していると，燃料噴射ポンプが作動不良になりますので，注意してください。

(2)燃料キャップが締まっているか確認してください。

■燃料こし器

燃料中に含まれる水・ゴミがこし器内に沈澱します。水・ゴミがたまったらコックを閉じ，こし器をはずし，水・ゴミを取除いてください。このときは，必ず空気抜きをする必要があります。



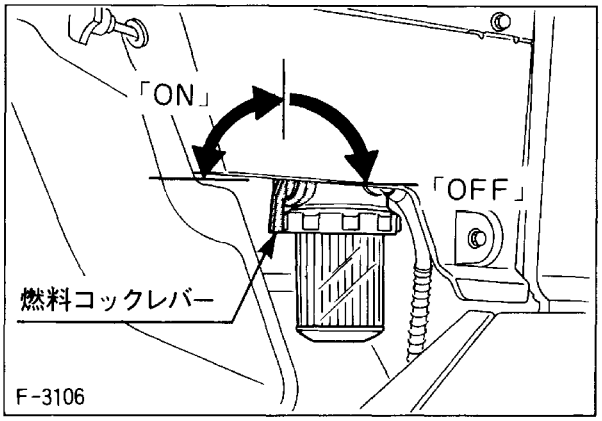
ディーゼル軽油には下表の種類があります。地域・季節に見合ったものを使用してください。

種　類	ディーゼル軽油の流動点(℃)
特1号	＋5以下
1　号	－5以下
2　号	－10以下
3　号	－20以下
特3号	－30以下

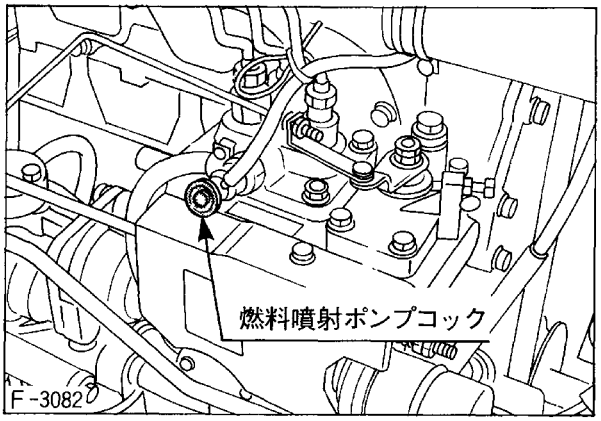
流動点付近以下の温度になると燃料の流動性が悪くなり，始動性が困難になります。

空気抜き

❶燃料フィルタのコックを「ON」にする。



❷燃料噴射ポンプの上のコックを開く。



❸タンクに燃料を満たす。

❹エンジンを始動し，約1分間運転後停止する。

❺燃料噴射ポンプのコックを閉じる。

注意

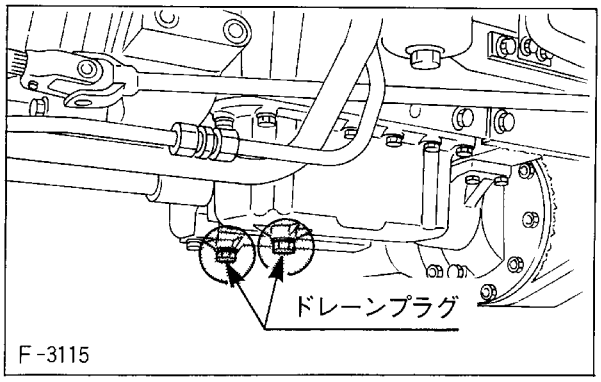
●空気抜きするときのほかは必ず噴射ポンプのコックは閉じておいてください。エンストの原因になります。

各部への給油と交換

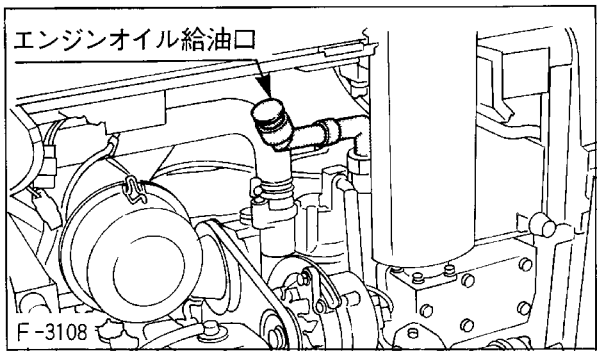
使用するエンジンオイル，ミッションオイル，ギヤーオイルは，必ず「クボタ純オイル」を使用してください。(59ページ参照)

■エンジンオイルの交換

❶2つのドレーンプラグをはずしてオイルを出します。このときオイルが暖まっている方が出やすくなります。ただしヤケドに注意してください。

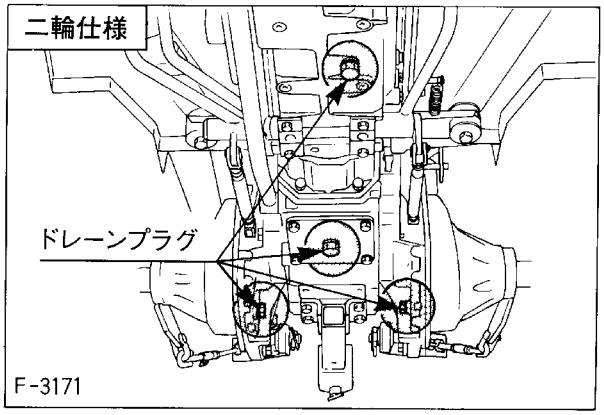


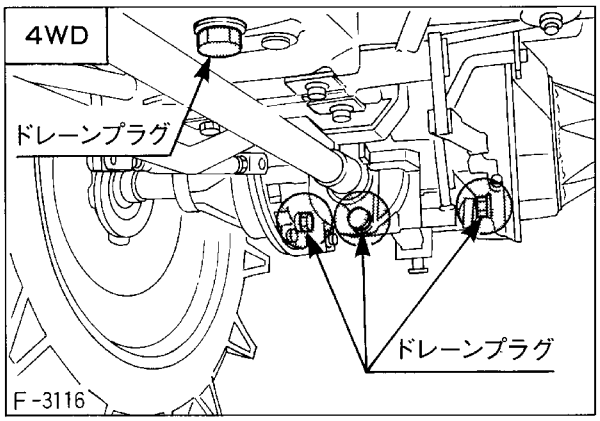
❷エンジンオイルを給油口から，規定量まで入れてください。このときオイルをこぼさない様に注意してください。オイルゲージを外しておくと入れやすくなります。



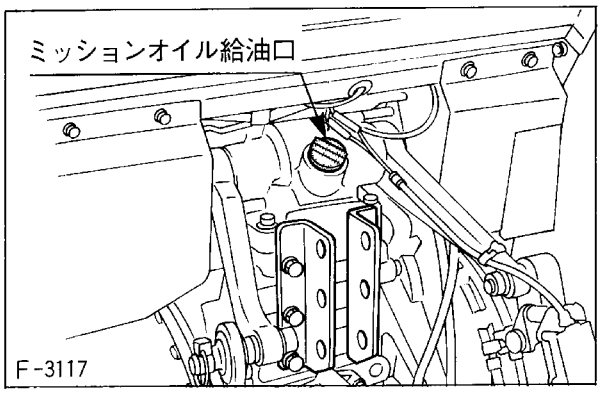
■ミッションオイルの交換

❶ドレーンプラグをはずしてオイルを出します。





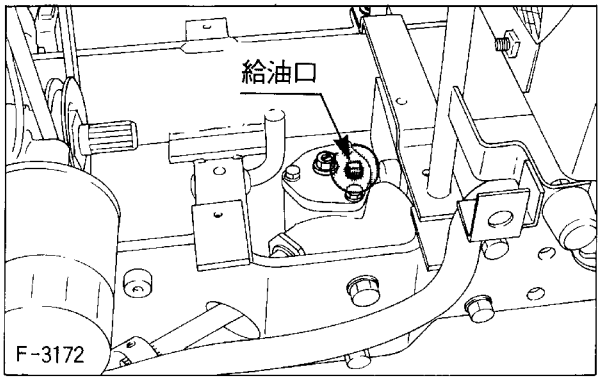
❷ミッションオイルを給油口から，規定量まで入れてください。



■ステアリングギヤーボックスのオイル量【標準ステアリング仕様】

◆オイルの点検

給油口をはずし給油口の下まであるかを調べます。



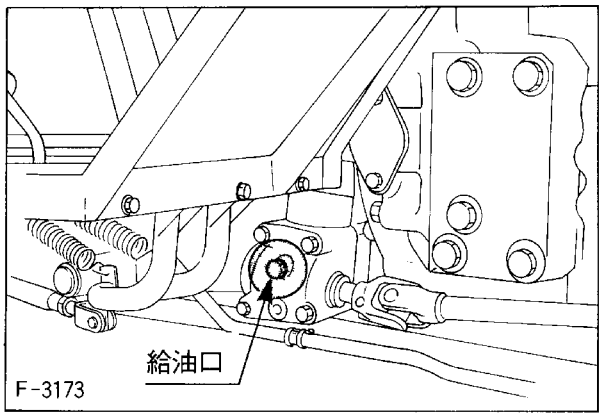
◆オイルの補給

不足している場合は，給油口の下までミッションオイルの補給が必要です。

■ステアリングギヤーケースのオイル量

◆オイルの点検

給油口をはずし給油口の下まであるかを調べます。

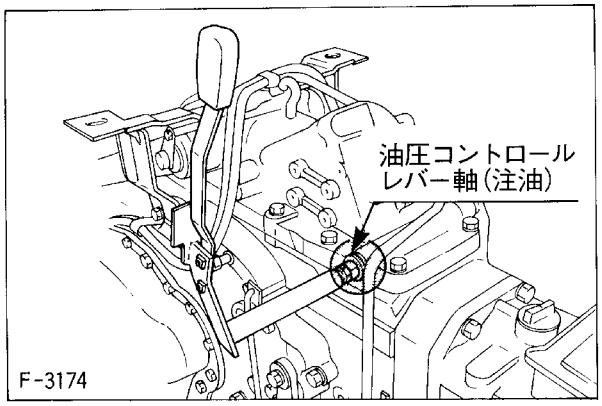


◆オイルの補給

不足している場合は，給油口の下までミッションオイルの補給が必要です。

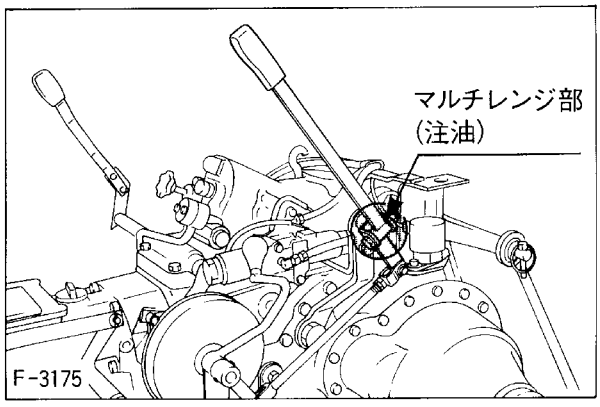
■油圧コントロールレバー軸への注油

ギヤーオイルを注油してください。



■マルチレンジ部への注油

ギヤーオイルを注油してください。

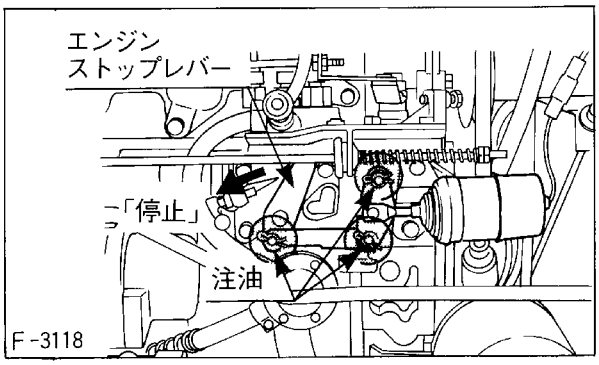


■停止ソレノイドリンクへの注油 【22・24・26・28仕様】

ソレノイドリンクの注油及び清掃は，1年に1回使用前及び長期格納時に行なってください。

(1)注油は，安全カバー右及びソレノイドカバーを外して行なってください。

(2)注油後，アクセルレバーをアイドリングの位置にして，エンジンストップレバーが手で軽く動くことを確認し，更にエンジンを始動してメインスイッチ「OFF」でエンジンが停止するか確認してください。



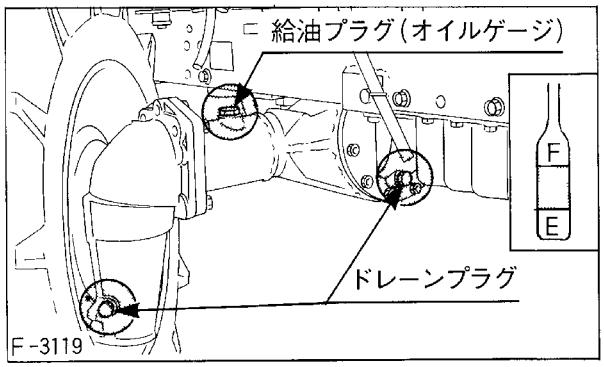
注意

●この部分は，メインスイッチによるエンジン停止を行なう機構ですので，水田などに入って泥などが浸入したときは，適宜清掃を行なってください。

■前部デフギヤーケースのオイル量【4WD】

◆オイルの点検

給油プラグを抜き，オイルゲージのEとFの間までオイルがあるかを調べます。オイル面が下がっている場合は，補給が必要です。



◆オイルの交換

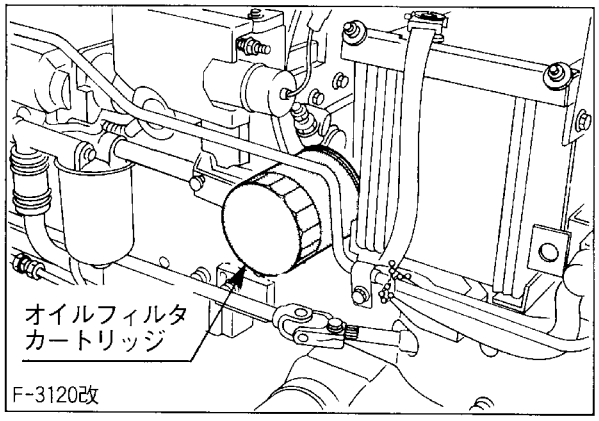
❶ドレーンプラグをはずしてオイルを出します。

❷ギヤーオイルM90又はM80Bを給油口から，規定量まで入れてください。

各フィルタの交換及び洗浄

■エンジンオイルフィルタカートリッジの交換

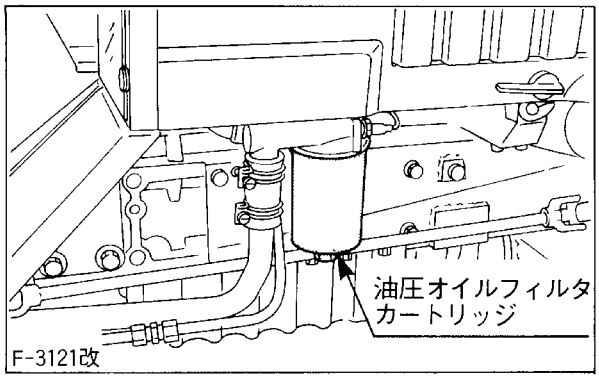
❶付属のフィルタレンチで取外します。



❷新しいカートリッジのOリングにオイルを薄く塗付してから，手で確実に締付けます。
❸エンジンオイルを規定量まで補給します。
❹約5分間運転し，オイルランプの作動に異常がないか確認してからエンジンを止めます。
❺再びオイルゲージで油面を確認し，不足していれば補給する必要があります。

■油圧オイルフィルタカートリッジの交換

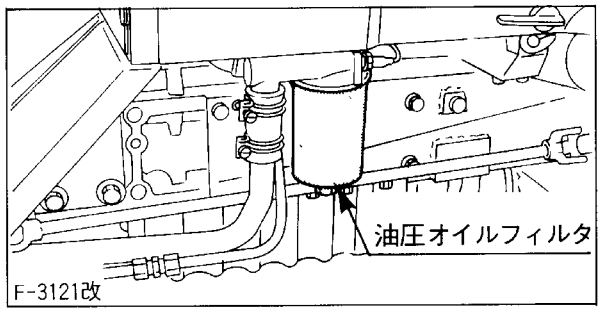
❶付属のスパナで取りはずします。
約1回転ゆるめて，1分間程置くと，中のオイルが抜けて取外しやすくなります。



❷新しいカートリッジのOリングにオイルを薄く塗付してから，手で確実に締付けます。
❸約2分間運転し，作業機の昇降に異常がないか確認してからエンジンを止めます。

■油圧オイルフィルタの洗浄【28仕様】

❶付属のスパナで取外します。
約1回転ゆるめて，1分間程置くと，中のオイルが抜けて取外しやすくなります。



❷ケース内のエレメント及びマグネットを取出し，軽油で洗浄します。
❸取付け時，パッキン面にオイルを薄く塗布してください。
❹ケースをねじ込み，シール面にパッキンが接触してから，手で確実に締付けます。
❺約2分間運転し，作業機の昇降に異常がないか確認してから，エンジンを止めます。

注意

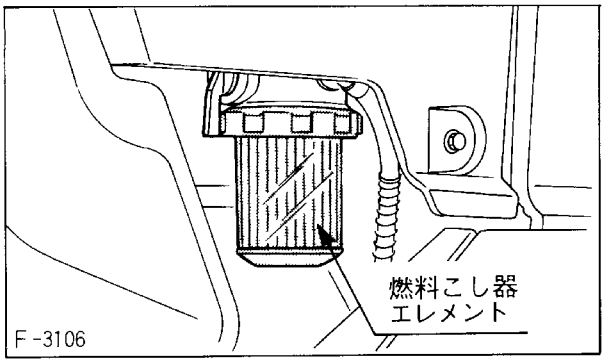
- エレメントを洗浄するときは，金網が損傷しないように注意してください。

■燃料こし器エレメントの交換

❶燃料こし器のコックを閉じてください。
❷カップ上部のリテーナリングを戻してカップをはずし，内部を軽油で洗浄します。
❸新しいフィルタエレメントと交換します。

注意

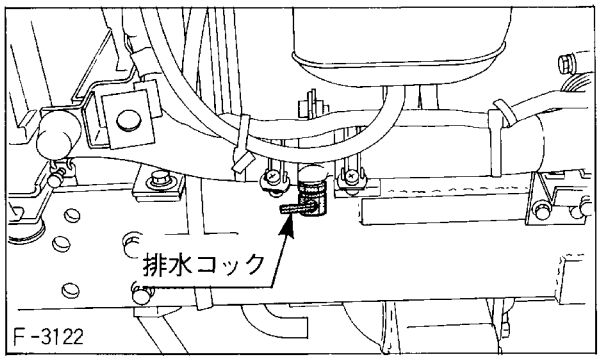
(1)組付けるときは，チリやホコリが付着しないように注意しましょう。
(2)エレメントを交換したのちは，必ず空気抜きを行ないましょう。

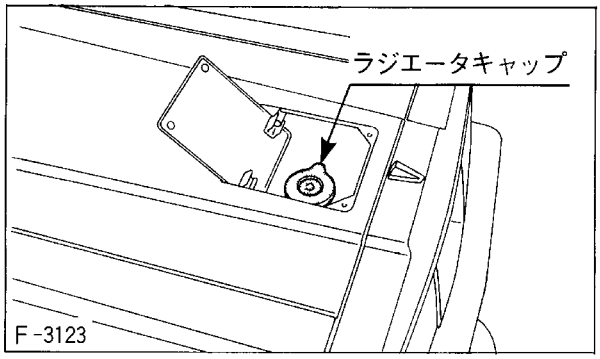


冷却水の交換

■交換のしかた

❶前車軸フレーム右側の排水コックとラジエータキャップを開き，冷却水を全部出します。
リザーブタンクの排水は，ラジエータキャップのオーバフローパイプをはずし排水します。





❷水道の水でラジエータ内を洗浄し，排水コックを締めてください。

❸ラジエータ及びリザーブタンクに冷却水を注入し，キャップを確実に締めてください。

■冷却水の補給

通常は補給の必要はありませんがリザーブタンクの冷却水がLOW以下の場合は,LOWとFULLのレベルの間まで補給が必要です。
FULL以上は入れないでください。

安全ポイント

●ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出することがありますので，停止後充分冷えてからにしてください。
▶もし怠ると……
熱湯によりヤケドすることがあります。

■ラジエータ保浄剤No.11

（不凍液を入れない場合）

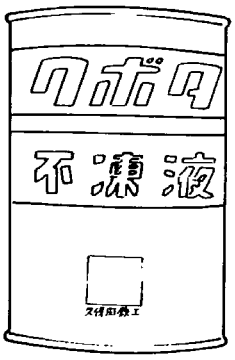
(1)冷却水の水アカ発生を防止します。
水アカがたまると，冷却効果が著しく低下します。

(2)保浄剤の効果は3カ月間持続しますから3カ月に1回，冷却水を交換するようにしましょう。

■不凍液の使い方

不凍液は水の凍結温度を下げる効果をもっており，冷却水凍結によるシリンダやラジエータの損傷を防ぎます。
冬期気温が0℃以下になるようなときは，必ずパーマネントタイプ（PT形）の不凍液を清水と混合し，ラジエータ及びリザーブタンクに補給してください。（工場出荷時は，不凍液ロングライフクーラントが入っています。）

注意



(1)不凍液の混合比は，メーカや気温によっても多少異なりますので，メーカの取扱説明書に従ってください。

(2)不凍液を使用する場合は，ラジエータ保浄剤を投入しないでください。
不凍液には防錆剤が入っておりますので，保浄剤を混入するとスラッジが生成することがあり，エンジン部品に悪影響を与えます。

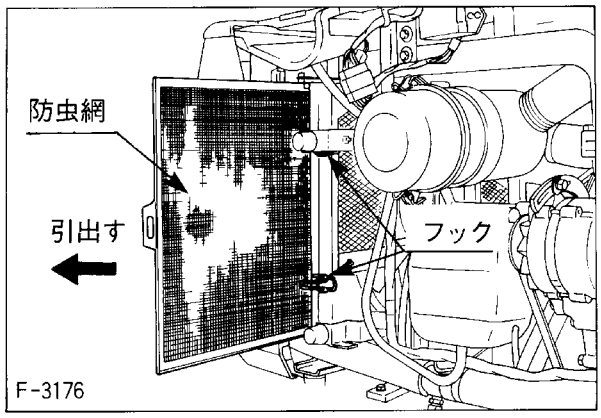
(3)クボタ不凍液の有効使用期間は，2年間です。

■防虫網の清掃

水田や夜間作業に使用すると，防虫網に草の実やこん虫が付着し詰まることがありますので，こんなときは防虫網を清掃してください。
フックを外し，防虫網を引出してそうじします。

注意

●エンジンは必ず停止した状態で行なってください。



■ラジエータコアーの清掃

フィンとチューブの間にまでゴミが入った場合は，水道水(圧力水)で流してください。

注意

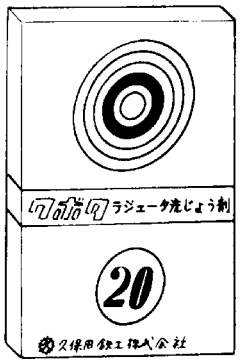
●ヘラやドライバなど固いもので清掃してはいけません。特殊フィンを傷めラジエータの機能をなくす原因になります。

■ラジエータの洗浄

洗浄には，クボタラジエータ洗浄剤No.20を使用すれば，水アカなどきれいに洗浄できます。

●500時間使用ごと
●不凍液を混入するとき
●不凍液混入から水だけに変えるとき

などに使用してください。



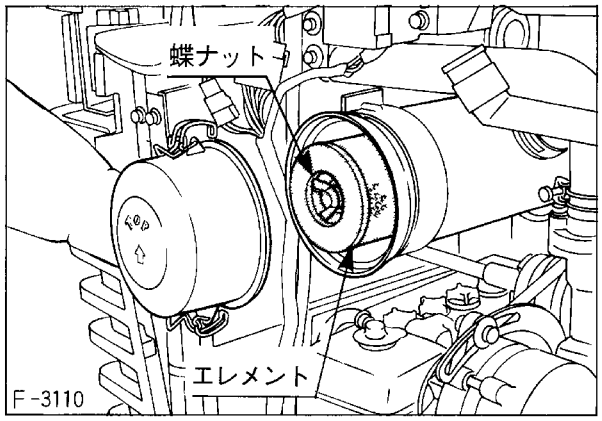
■ラジエータから水漏れした場合

(1)少しの水漏れの場合は，クボタラジエータセメントNo.40を使用すれば，止まります。
(2)水漏れが激しい場合は，お買いあげいただいた購入店・農協に御相談ください。

エアークリーナエレメントの交換

■エレメントのはずし方

❶エアークリーナカバーをはずし，蝶ナットをはずします。
❷エアークリーナを少し持ち上げ，エレメントを取りだします。



■エレメントの清掃

エレメントの清掃は，エレメントの内側から空気を吹付けるか，または軽く手で振ってゴミを取除いてください。

■エレメントの交換

エレメントの交換は1年間使用後，または6回掃除毎に交換が必要です。

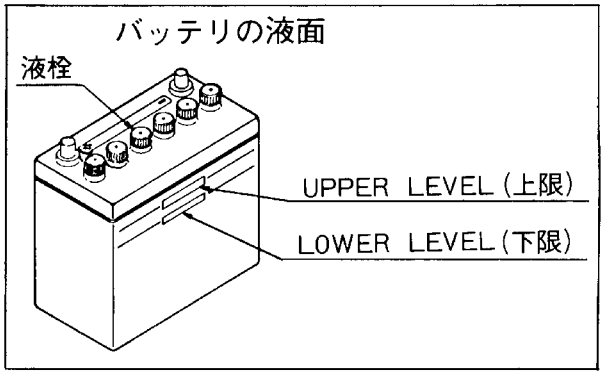
注意

(1)乾式エレメントを使用していますので，オイルを使用してはいけません。
(2)エレメントは，清掃・交換以外は不必要にさわらないでください。

バッテリ液の点検と交換

バッテリの中の電解液は使っているうちに蒸発して減ります。

(1)液面が「UPPER LEVELとLOWER LEVELの間」にあればよく，少ないときはUPPER LEVELまで蒸留水の補給が必要です。



注意

(1)バッテリ液が不足するとバッテリをいため，多いと液がこぼれて車体の金属部を腐蝕させます。

(2)バッテリの充電は必ず本体から取外して行なってください。電装品の損傷の他に配線などをいためることがあります。なお急速充電はできるだけ避けてください。

(3)バッテリにコードを接続するときは，⊕と⊖をまちがわないようにしてください。まちがうとバッテリと電気系統が故障します。

(4)バッテリからコードをはずすときは⊖側，取付けるときは⊕側から行なってください。逆にすると，工具が当った場合にショートします。

(5)充電は，バッテリの⊕を充電器の⊕に，バッテリの⊖を充電器の⊖にそれぞれ接続して，普通の充電法で行なってください。
コードの接続をまちがわないように注意してください。

(6)バッテリの寿命がなくなり，新品のバッテリと交換する場合には必ず取扱説明書の指定した容量のバッテリを使用してください。

(7)バッテリを外し，再度取付けるときにはバッテリの⊕，⊖のコードを元どおりに配線し，まわりに接触しないように締付けてください。

安全ポイント

(1)バッテリ液を身体や服に付けないようにしてください。付着したときは，すぐに水で洗い流してください。
▶もし怠ると……
希硫酸によって，ヤケドすることがあります。

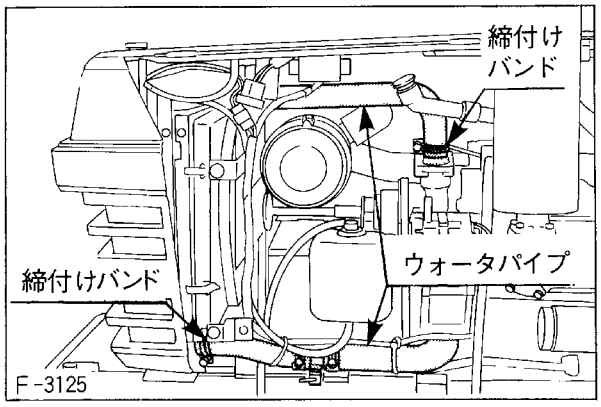
(2)バッテリの点検及び取外し時には，エンジンを停止し，メインスイッチを「OFF」にしてください。

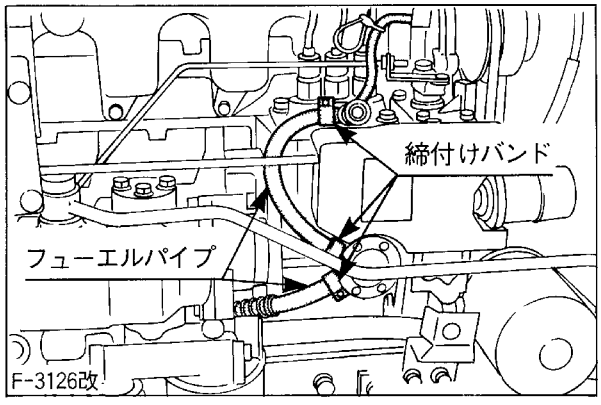
パイプ類の点検

燃料パイプやラジエータホースなどのゴム製品は，使わなくても老化する消耗品です。締付バンドと共に2年ごとまたは傷んだときには新品と交換する必要があります。

(1)パイプ類や締付バンドがゆるんだり，傷んでいないか常に注意してください。

(2)燃料パイプを交換する場合は，必ず空気抜きをする必要があります。





注意

● 交換時にパイプや噴射ポンプなどにゴミが入らないように注意してください。ゴミが入ると，噴射ポンプの作動不良の原因になります。

安全ポイント

● 燃料パイプ，ウォータパイプの傷みや締付けバンドのゆるみは，必ず点検しましょう。

▶もし怠ると……

燃料もれによる火災や傷害事故，熱湯もれによるヤケドなどの事故を引起します。

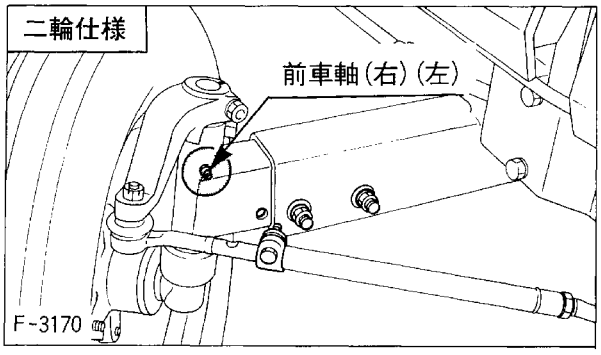
グリースの注入

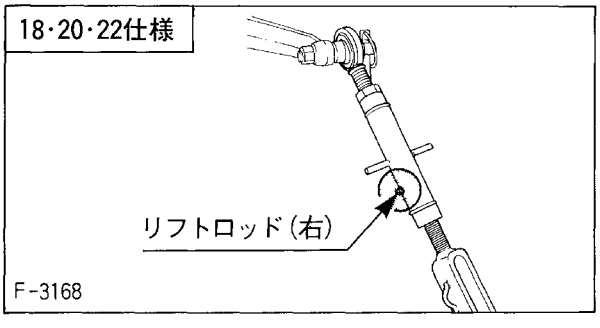
通常のグリースアップは，定期点検箇所一覧表に従って行なってください。ただし，代かき作業などで泥水の中に入ったときは1日の作業が終ったあと必ずグリースアップをしておきましょう。

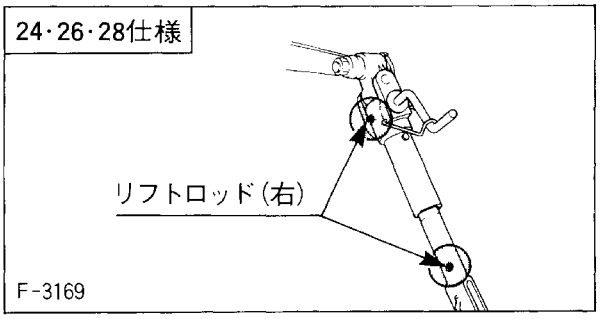
グリースは，「クボタ推奨グリース」を使用してください。(60ページ参照)

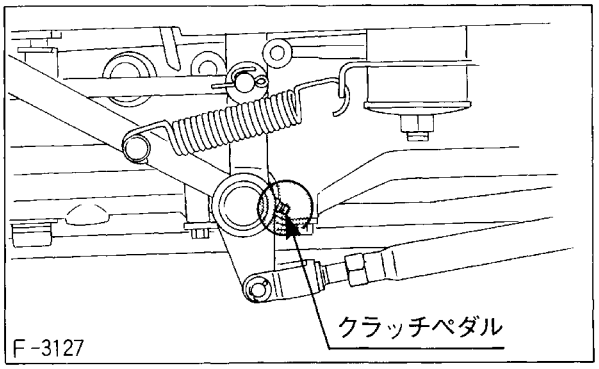
■各部へのグリース注入

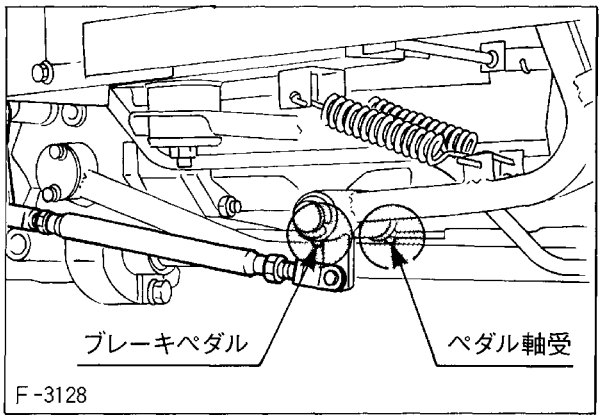
シャーシグリースを少量注入します。





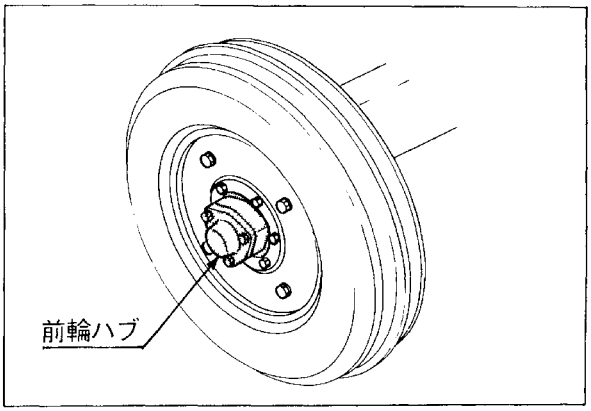






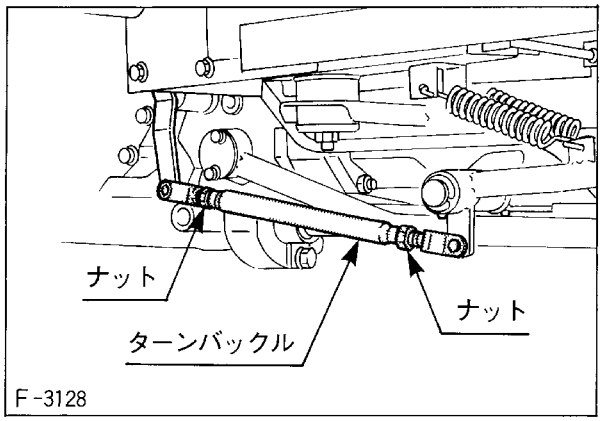
■前輪ハブ【二輪仕様】

ベアリンググリースを少量注入します。



ブレーキの調整

ナットをゆるめターンバックルを回して，ペダルの遊びを調整します。調整後はナット左右各2個を確実に締付けておいてください。
ブレーキペダルを踏込んだとき，駐車ブレーキロックが確実に作動するかを確認してください。

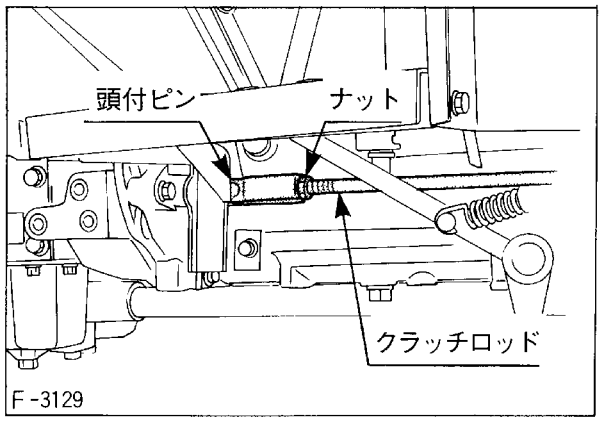


安全ポイント

●調整時必ず左右のペダルの踏込み量を合わせてください。合っていないとブレーキが片ぎきになります。
▶もし怠ると……
傷害事故を引起こすことがあります。

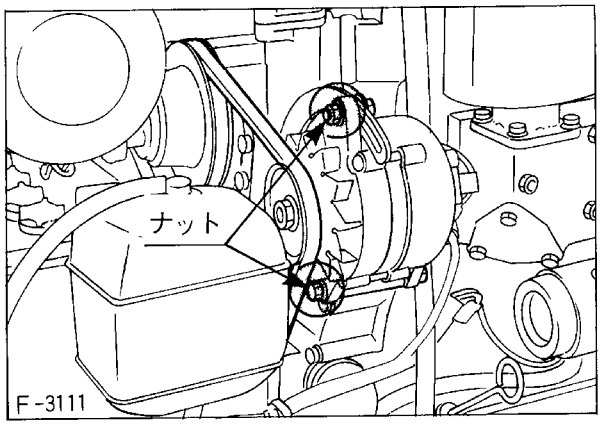
クラッチの調整

ナットをゆるめ頭付ピンをはずしてクラッチロッドで，ペダルの遊びを調整します。
調整後はナットを確実に締付け，更に割ピンは確実に折り曲げておいてください。



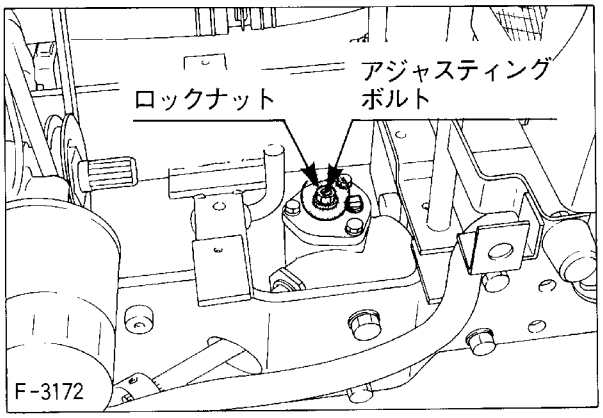
ファンベルトの調整

ダイナモを取付けているナット2個とボルト1個をゆるめて，ダイナモを動かして調整します。調整後はナット・ボルトを確実に締付けておいてください。



ステアリングハンドルの調整

袋ナットを取りはずしてロックナットをゆるめ，ドライバでアジャスティングボルトを回して調整します。
調整後は，ナット及び袋ナットを確実に締付けておいてください。

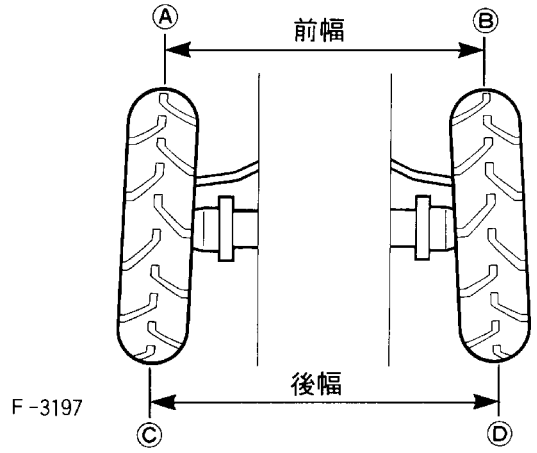


トーインの点検調整

トーインの調整が悪いと，ハンドルを取られたり，異常に振れることがあります。

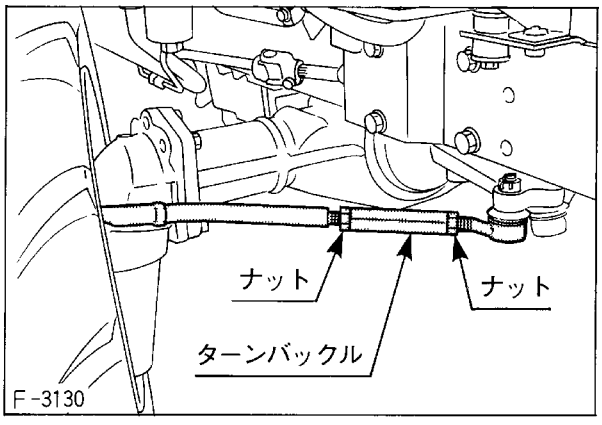
■トーインの点検

前輪の前幅（AB）と後幅（CD）を測り，（CD）－（AB）＝2～8㎜になっているかを調べます。



■トーインの調整

ナットをゆるめ，（CD）－（AB）＝2～8㎜になるように調整します。
調整後はナットを確実に締付けておいてください。



注意

- トレッドを調整したときはその都度トーイン調整をしてください。【2輪仕様】

前車軸支持部ガタの点検調整

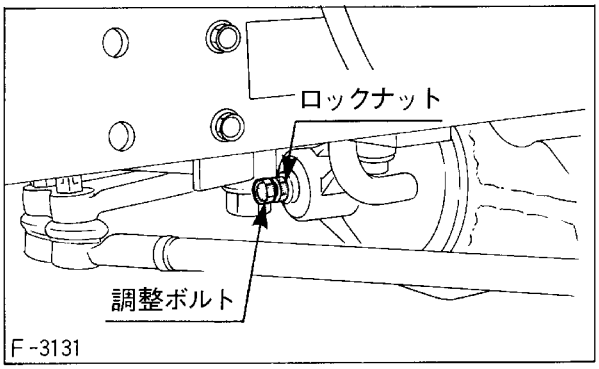
前車軸支持部の調整が悪いと，前輪が著しく振れたり，ハンドルに振動が伝わってきます。

■支持部ガタの点検

前後方向のガタを点検し，ガタがあれば調整する。

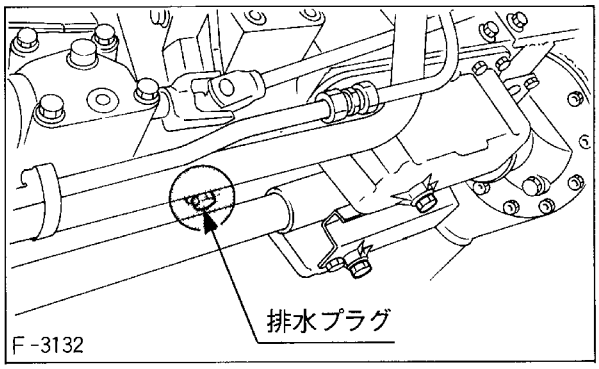
■支持部ガタの調整

ロックナットをゆるめ，調整ボルトを締込み，ガタを調整する。



クラッチハウジングの水抜き

代かき作業・洗車・雨降りなどで，クラッチハウジングに多量の水がかかった場合，又は50時間使用ごとに，クラッチハウジング底の排水プラグを外して，水の浸入がないことを確認してください。
もし水が入っていれば，完全に抜いて，内部をよく乾燥してください。



電気配線の点検，ヒューズ，ランプの交換

配線のターミナル(端子)部のゆるみは接続不良になり，また配線が損傷していると電気部品の性能を損なうだけでなくショート(短絡)，漏電または焼損など思わぬ事故になることがあります。傷んだ配線は早めに交換・修理してください。

注意

(1)ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金や銀紙などで代用せず，購入店か農協で点検，修理してください。

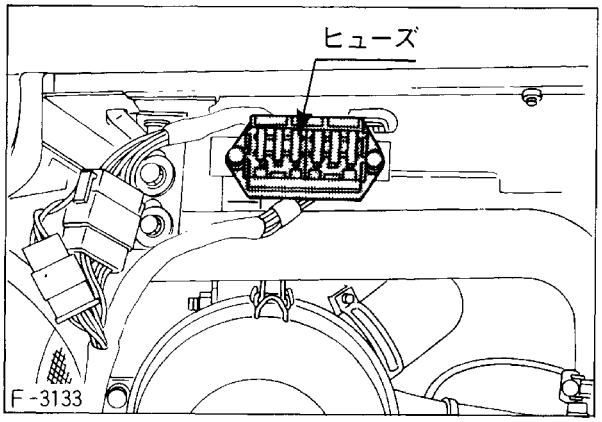
(2)トラクタにラジオなどを取付けるときの電源取出しは，購入店・農協又は当社内燃機器支店に御相談ください。

■ヒューズの交換

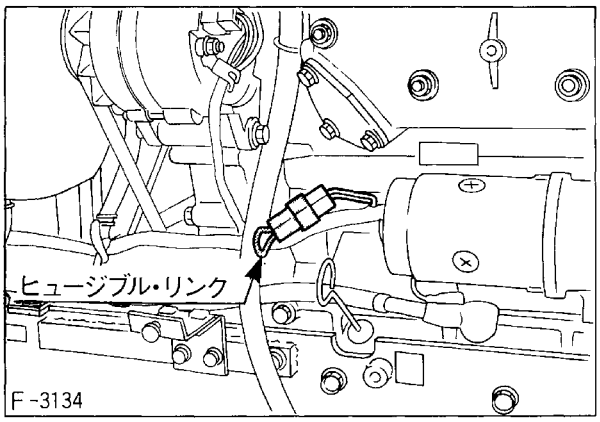
❶ヒューズボックスのふたをはずす。

❷ヒューズをはずす。

❸切れたものと同容量のヒューズと交換する。



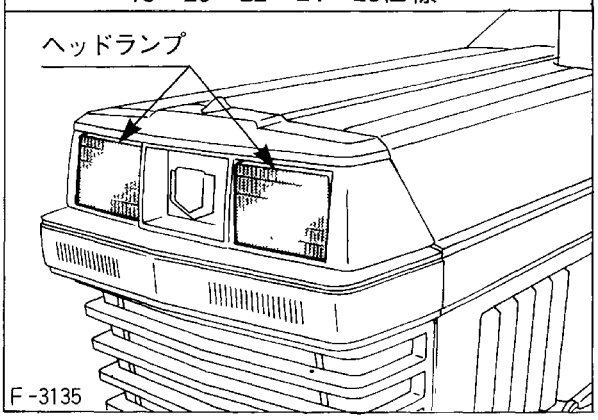
■ヒュージブル・リンクの交換



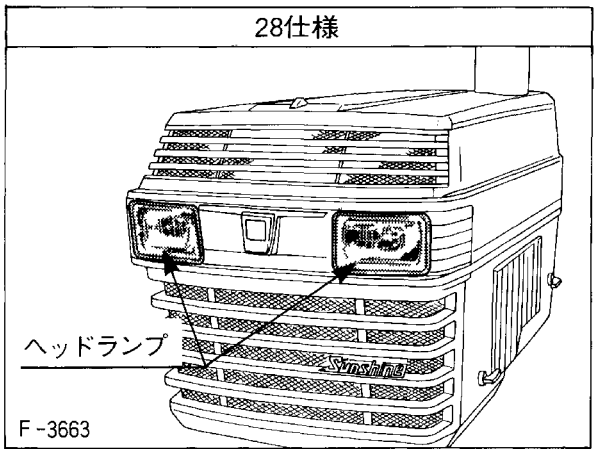
ヒュージブル・リンクは，配線を保護するためのものです。もし切れた場合は，必ず切れた原因を調べ，決して代用品を使用せず，純正部品を使用してください。

■ランプ類の交換

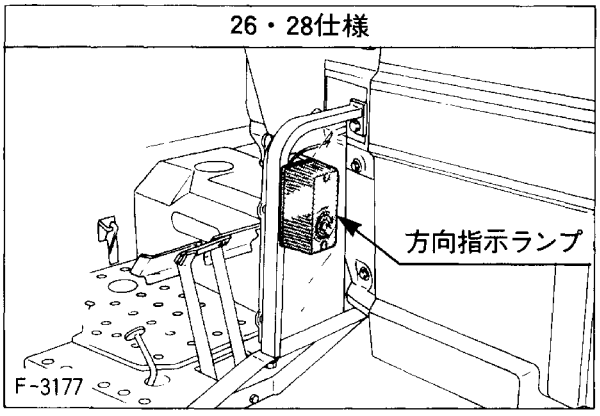
18・20・22・24・26仕様

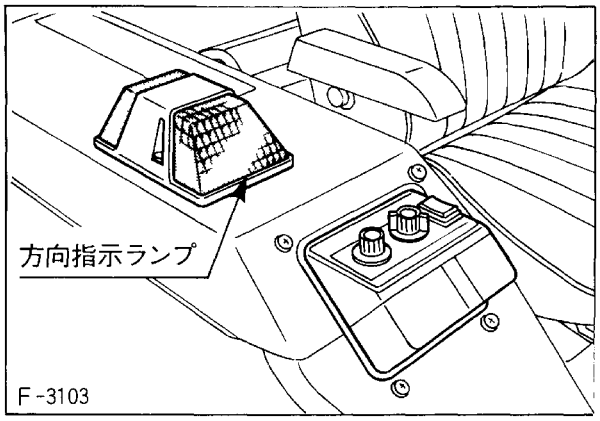


28仕様



26・28仕様





長期格納時の手入れ

トラクタを長い間使用しない場合は，次の要領で整備してから格納しましょう。

(1)不具合箇所は整備してください。

(2)エンジンオイルを交換し，2000回転/分以上で10～15分間の防錆運転をし，各部にオイルをゆきわたらせてください。
その後も１～２カ月ごとに同様に防錆運転をしてください。

(3)定期点検箇所一覧表の項目を確認するようにしてください。

(4)車体のさびやすい部分には，グリースかオイルを塗っておいてください。

(5)燃料コックをOFFにしておいてください。

(6)冷却水は抜いておいてください。

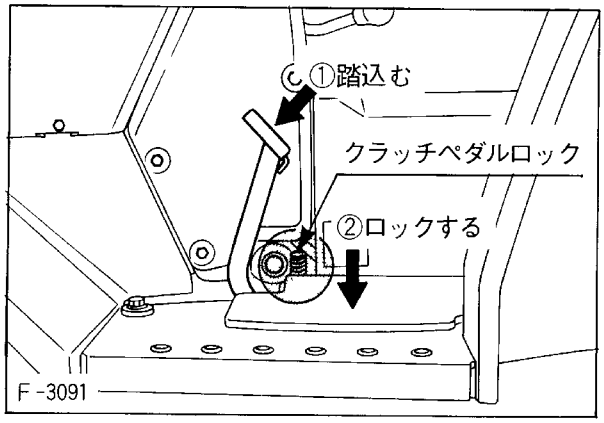
(7)**クラッチペダルは，クラッチを踏込んだ状態で「クラッチペダルロック」を掛けてください。**
クラッチ板のさび付きを防止します。

◆クラッチ「切」保持の方法

❶クラッチペダルをいっぱい踏込んでから，ロックボタンを手で押下げます。

❷押下げたまま，クラッチペダルから足を離します。
これでクラッチは，「切」の状態で保持されます。

❸使用するときは，クラッチペダルをいっぱい踏込めば，ロックが外れ，「切」保持の状態が解除されます。



(8)クラッチハウジング底の排水プラグを外して，水が浸入していないことを確認してください。

(9)タイヤの空気圧は，標準より少し多めにしてください。

(10)バッテリを本機から取外し風通しの良い冷暗所に保管してください。また本機に取付けたまま保管するときは必ずアース側(⊖側)を外してください。

(11)ウエイトは取りはずし，作業機は，はずすか地面に降ろした状態にしてください。

(12)後輪の前後に車止めをしておいてください。

(13)格納中バッテリは，１カ月に一回充電器で完全充電するようにしましょう。

(14)マフラ先端にカバーをかぶせ，マフラからの雨水の浸入を防いでください。

(15)格納場所は，雨のかからない乾燥した場所を選定し，シートをかけるようにしましょう。

安全ポイント

●シートをかける場合は，マフラやエンジン自体の冷却状態を確認してからにしてください。
▶もし怠ると……
火災を起こす原因になります。

注意

●**長期格納時，洗車するときはエンジンを止めてから行なってください。もしエンジンをかけて行なうときはエアークリーナの吸入口から水が入らないよう注意してください。もし水が入ると故障の原因となります。**

エンジンの不調と処置

もしエンジンの調子が悪い場合があれば，次の表により診断し，適切な処置をしてください。

現　　象	原　　因	処　　置
始動困難な場合	(1)燃料が流れない。	(1)燃料タンクを点検し，沈澱している不純物や水分を除く。 (2)燃料フィルタを点検し，汚れていれば交換する。
	(2)燃料送油系統に，空気や水が混入している。	(1)パイプ及び締付バンドを点検し，損傷があれば新品と交換または補修しておく。 (2)空気抜きをする。(34ページ参照)
	(3)寒冷時にオイル粘度が高く，エンジン自体の回転が重い。	(1)ラジエータに熱湯をそそぐ。 (2)気温によってオイルの使い分けをする。 (冬期はD10W30を使用)
	(4)バッテリがあがり気味で，回転力が弱くなって圧縮を越す勢いがない。	(1)バッテリを充電する。
出力不足の場合	(1)燃料不足	(1)燃料を補給する。 (2)エンジンの空気抜きコックが開いていないか調べる。
	(2)エアークリーナの目詰まり。	(1)エレメントを清掃する。
突然停止した場合	(1)燃料不足。	(1)燃料を補給する。 (2)エンジンの空気抜きコックが開いていないか調べる。
排気色が異状に黒い場合	(1)燃料が悪い。 (2)エンジンオイルの入り過ぎ。	(1)良質の燃料に交換する。 (2)正規のオイル量にする。
水温計の指針がレッドゾーンを示すとき	(1)冷却水が100℃以上になったため。	(1)冷却水の量(不足)及び水もれの点検 (2)ファンベルトの張り(ゆるみ)の点検 (3)ラジエータの防虫網にゴミの詰まりがないか点検する。
始動時青白煙が消えない。	(1)前の作業が長時間にわたるアイドリング運転で終っている場合，又は冷機時アイドリング運転の繰返しであった場合，マフラ内部に湿りが残っている。 (2)ノズル不良 (3)燃料不良	(1)負荷をかけてマフラを充分に加熱する。冷機時アイドリング運転の繰返し，及び，長時間にわたるアイドリング運転は極力避ける。 (2)ノズルを点検する。 (3)良質の燃料に交換する。

☆わからない場合は，お買いあげいただいた購入店・農協に御相談ください。

付表

アタッチメント一覧表

分類	品番	品名	適用機種	用途・仕様	併用アタッチメント
補助車輪	997422-1001	ストレーク取付台アッシ	L₁－18	●片側にストレーク5枚取付け用 ●8.3－24用	P18, P25, P30, P38の何れかを5組／台
	997522-1001	ストレーク取付台アッシ	L₁－20	●片側にストレーク5枚取付け用 ●9.5－22用	P18, P25, P30, P38の何れかを5組／台
	997622-1001	ストレーク取付台アッシ	L₁－22	●片側にストレーク6枚取付け用 ●9.5－24用	P18, P25, P30, P38の何れかを6組／台
	997722-1001	ストレーク取付台アッシ	L₁－24	●片側にストレーク7枚取付け用 ●11.2－24用	P18, P25, P30, P38の何れかを7組／台
	997222-1001	ストレーク取付台アッシ	L₁－26	●片側にストレーク7枚取付け用	P18, P25, P30, P38の何れかを7組／台
	997222-1003	ストレーク取付台アッシ	L₁－28	●片側にストレーク7枚取付け用	P18, P25, P30, P38の何れかを7組／台
	997462-5001	P18反転ストレークアッシ	L₁－18 L₁－20 L₁－22 L₁－24 L₁－26 L₁－28	シュー幅 18cm ピン式 構成はR，L各1個	上記の水田車輪取付台アッシ
	995762-6901	P25反転ストレークアッシ		シュー幅 25cm プレート式 構成はR，L各1個	
	995162-7901	P30反転ストレークアッシ		シュー幅 30cm プレート式 構成はR，L各1個	
	995162-8901	P38反転ストレークアッシ		シュー幅 38cm プレート式 構成はR，L各1個	
3点リンク	31341-7110-2	トップリンクアッシ	L₁－18 L₁－20 L₁－22 L₁－24	一般作業機用	
	31351-7110-2		L₁－26 L₁－28		
	992512-5001	リンクドローバ	L₁－18 L₁－20	JIS 1形	3点リンクアッシ

分類	品　番	品　名	適用機種	用途・仕様	併用アタッチメント
ウエイト	992211-2001	前部ウエイトアッシ	L₁－18 L₁－20 L₁－22 L₁－24 L₁－26 L₁－28	28kg 前車軸フレームの前部に取付け	
	995111-3001	前輪ウエイトアッシ	L₁－18 (4WD用はなし)	7.5kg×4個 4.00－12用	
	997211-3001		L₁－20 L₁－22 L₁－24 L₁－26 L₁－28 (4WD用はなし)	11kg×4個 4.00－15用 5.00－15用	
	992611-5001	後輪ウエイトアッシ	L₁－18 L₁－20 L₁－22	28kg×6個	
	992611-5111	後輪ウエイト		28kg 992611-5001 に必要に応じて追加 全12個まで (タイヤ1.0kg/cm²)	
	997711-5001	後輪ウエイトアッシ	L₁－24	28kg×6個	
	997711-5111	後輪ウエイト		28kg 997711-5001 に必要に応じて追加 全12個まで (タイヤ1.0kg/cm²)	01173-51680……3コ (ボルト) 04512-50160……3コ (バネ座金) 02174-50160……3コ (ナット)
	992811-5002	後輪ウエイトアッシ	L₁－26 L₁－28	27.5kg×6個	
	992811-5112	後輪ウエイト		992811-5001に必要に応じて追加	
その他	990338-5001	強力日よけアッシ	L₁－18 L₁－20	L₁－R18, L₁－R20には専用の強力日よけ有り。	
	990538-5001		L₁－22 L₁－24	L₁－R22, L₁－R24には専用の強力日よけ有り。	
	990638-5001		L₁－26	L₁－R26には専用の強力日よけ有り。	
	990738-5001		L₁－28	L₁－R28には専用の強力日よけ有り。	
	997719-1002	作業灯アッシ	L₁－18 L₁－20 L₁－22	02シリーズ用 (品番997719-1001)はL₁シリーズには取付けません。	
	995719-4001	洗車ポンプ	L₁－24 L₁－26 L₁－28	ＰＴＯ軸に取付け	

インプルメント一覧表

	品番	品名		適用形式 18	20	22	24	26	28	メーカ
	70302-00000	RL1203ロータリ　(サイド)		○	○	○	○	○	○	
	70304-00000	RL1403ロータリ　(サイド)		○	○					
	70305-00000	RL1503ロータリ　(サイド)			○	○	○			
	70306-00000	RL1603ロータリ　(サイド)				○	○	○	○	
	70314-00000	RL1403Xロータリ(サイド，正逆転)		○	○					
	70315-00000	RL1503Xロータリ(サイド，正逆転)				○	○			
	70316-00000	RL1603Xロータリ(サイド，正逆転)						○	○	
	70322-00000	RB1503ロータリ　(センタ)		○	○	○	○			
※	70325-00000	R1503ロータリ　(センタ)		○	○	○	○			
※	70326-00000	R1603ロータリ　(センタ)				○	○	○	○	
	70335-00000	R1503Xロータリ　(センタ，正逆転)		○	○	○				
	70336-00000	R1603Xロータリ　(センタ，正逆転)					○	○	○	
	70836-00000	U18-3RF補助ユニット		○	○					
	70837-00000	U22-3RF補助ユニット				○	○			
	70838-00000	U26-3RF補助ユニット						○		
	70846-00000	U28-3RF補助ユニット							○	
	75831-08010	TLH24ADグレイタスローダ		○	○	○	○			
	75722-08070	TLH24AD用先端アタッチメント	LBH242ADバケット(容量0.13㎥)	○	○	○	○			
	75921-08070		LCBH242AD爪付きバケット(容量0.13㎥)	○	○	○	○			
	75931-08060		LWBH242AD広幅バケット(容量0.13㎥)	○	○	○	○			
	75926-08170		LWCBH242AD広幅爪付きバケット(容量0.13㎥)	○	○	○	○			
	75792-08070		LMH242ADマニアフォーク(タイン本数6本)	○	○	○	○			
	75798-08090		LWMH242AD広幅マニアフォーク(タイン本数6本)	○	○	○	○			
	75752-08070		LHH242ADヘイフォーク(タイン本数7本)	○	○	○	○			
	75941-08070		LGH242ADグレーダ(排土量0.26㎥)	○	○	○	○			
	75970-08060		LPFH242ADパレットフォーク(フォーク長さ705mm)	○	○	○	○			
	75986-08070		LFH242ADローディングフック(吊り下げ能力300kg)	○	○	○	○			
	75985-08070		LBHB242ADビートバケット(容量0.23㎥)	○	○	○	○			
	75936-08080		LWKBH242AD軽質広幅バケット(容量0.17㎥)	○	○	○	○			
	75832-08010	TLH26ADグレイタスローダ						○	○	
	75723-08040	TLH26AD用先端アタッチメント	LBH262ADバケット(容量0.16㎥)					○	○	
	75922-08040		LCBH262AD爪付きバケット(容量0.16㎥)					○	○	
	75932-08040		LWBH262AD広幅バケット(容量0.16㎥)					○	○	
	75926-08180		LWCBH262AD広幅爪付きバケット(容量0.16㎥)					○	○	
	75793-08040		LMH262ADマニアフォーク(タイン本数6本)					○	○	
	75798-08100		LWMH262AD広幅マニアフォーク(タイン本数8本)					○	○	
	75753-08040		LHH262ADヘイフォーク(タイン本数7本)					○	○	
	75942-08040		LGH262ADグレーダ(排土量0.35㎥)					○	○	
	75970-08070		LPFH262ADパレットフォーク(フォーク長さ805mm)					○	○	
	75986-08080		LFH262ADローディングフック(吊り下げ能力350kg)					○	○	
	75985-08080		LBHB262ADビートバケット(容量0.34㎥)					○	○	
	75936-08090		LWKBH262AD軽質広幅バケット(容量0.17㎥)					○	○	
	71991-1111	TV-25トップリンクバイブロ		○	○	○	○	○		
	71991-5111	T-110サブソイラ		○	○	○	○	○		
	71997-1111	TV252トップリンクバイブロ		○	○	○	○	○	○	
	71974-00000	AT300明渠溝掘機		○	○	○	○	○		
	71976-00000	AT450明渠溝掘機		○	○	○	○	○	○	
	78271-29010	SK502溝掘機		○	○	○	○	○	○	

クボタ

※のセンタロータリには200延長爪軸アッシ(99022-56001)，300延長爪軸アッシ(99032-56001)がアタッチメントであります。

品番	品名	適用形式						メーカ
		18	20	22	24	26	28	
78270-29010	SK502S溝掘機	○	○	○	○	○		クボタ
76012-61010	RSP63リヤーモーア				○	○	○	
71150-00000	DM1350ディスクモーア(手動式)				○	○	○	
71151-00000	H1350油圧シリンダキット				○	○	○	
71152-00000	DM1350Hデイスクモーア(油圧式)				○	○	○	
71153-00000	CA1350コンディショナキット					○	○	
71154-00000	DMC1350モーアコンディショナ					○	○	
71161-00000	DM1200ディスクモーア			○	○	○	○	
76113-52010	DM1100フォーレージハーベスタ				○	○	○	
76310-50030	707Tベーラ					○	○	
76273-60010	SK301ロータリスワーサ	○	○	○	○	○	○	
73301-10080	451Vボルカニックスプラウ	○	○	○	○			高北
74740-10310	LS120Hライムソーワ	○	○	○	○			
74740-10350	LS150Hライムソーワ	○	○	○	○	○	○	
74710-10030	BC160プロードキャスタ	○	○	○	○			
74941-10110	S-90バキュームカー	○	○	○	○	○	○	
74910-10080	DL-50マニアスプレッダ	○	○	○	○	○		
74910-10090	DL-80マニアスプレッダ	○	○	○	○	○	○	
74910-10130	DH-100M1マニアスプレッダ	○	○	○	○	○	○	
75311-10100	DH-100Eフォーレージワゴン	○	○	○	○	○	○	
76230-10050	HM1600ヘーメーカ	○	○	○	○			
76130-10220	FH-850フォーレージハーベスタ	○	○	○	○			
73401-10050	461Vボルカニックスプラウ		○	○	○	○	○	
74986-10010	SI-101スラリーインジェクタ		○	○	○	○		
74740-10390	LS-150ライムソーワ		○	○	○	○	○	
74711-10050	BC-210ブロードキャスタ		○	○	○			
74942-10110	S-130バキュームカー		○	○	○	○	○	
74910-10100	DH-100マニアスプレッダ		○	○	○	○	○	
74910-10140	DH-150M1マニアスプレッダ		○	○	○	○	○	
75311-10110	DH-150Eフォーレージワゴン		○	○	○	○	○	
76020-10050	TH-45ヘーモーア		○	○	○			
76212-10050	RT-250ロータリテッダ		○	○	○	○	○	
73211-10020	452Vボルカニックスプラウ					○	○	
73409-10010	SP-400砕土プラウ					○	○	
74522-10010	PR-180鎮圧ローラ					○	○	
74502-10010	CP-200カルチパッカ					○	○	
74833-10040	RS2100コーンシーダ					○		
74833-10060	JS2100ジェットシーダ					○		
74742-10010	LS210ライムソーワ					○	○	
74943-10120	S-170バキュームカー					○	○	
76042-10010	TDM1200ディスクモーア					○		
76230-10060	HM1800ヘーメーカ					○		
76212-10010	HM138ロータリテッダ					○		
76254-10010	HM144フィンガーレーキ					○		
76130-10160	FH103フォーレージハーベスタ					○		
72106-10050	437S双用2連スキ	○	○	○	○			
72106-10040	437V双用2連スキ	○	○	○	○			
72106-10060	443S双用3連スキ					○	○	
73106-10050	443V双用3連スキ					○	○	
73304-10010	OS451Vオフセットプラウ	○	○	○	○			
73404-10010	OS461Vオフセットプラウ					○	○	
74740-10390	LS-150ライムソーワ	○						
74741-10310	LS-180ライムソーワ		○	○	○	○	○	
74743-10310	LS-240ライムソーワ					○	○	
74711-10050	BC-210ブロードキャスタ	○	○	○	○			
74712-10050	BC-260ブロードキャスタ					○	○	
74910-10100	DH-100マニアスプレッダ	○	○					
74910-10120	DH-150マニアスプレッダ			○	○	○	○	

品番	品名	適用形式						メーカ
		18	20	22	24	26	28	
76130-10200	FH-850Wフォーレージハーベスタ	○	○	○	○			高北
76130-10210	FH-850DWフォーレージハーベスタ	○	○	○	○			
76130-10160	FH-103フォーレージハーベスタ					○	○	
76020-10050	TH45ヘーモーア	○	○	○	○			
76021-10010	TH50ヘーモーア					○	○	
78312-10020	SB161スノーブロワ				○	○	○	
74531-10010	KR180K型ローラ					○	○	
76312-10010	BL135ヘーベーラ				○	○	○	
75426-10060	PW160ロードワゴン					○	○	
74872-26010	HS-6CP土壌消毒機	○						多木
78120-15150	D-65A掘取機	○	○	○	○	○		松山
78120-15100	B-65掘取機	○	○					
78120-15110	B-80掘取機	○	○	○	○	○		
78120-15120	B-95掘取機	○	○	○	○	○	○	
78120-15170	B-105掘取機	○	○	○	○	○		
76060-15120	NFZ-1501Bフレールモア	○	○	○	○	○	○	
73801-15100	S-27A振動サブソイラ	○	○	○	○	○		
73076-15040	TR-155F自動反転双用スキ	○	○	○	○	○		
73201-15140	TF-301HCX1Gパンソイルプラウ	○	○					
78120-15250	D-653掘取機		○	○	○	○		
73304-15010	B-TF351X1Gパンソイルプラウ		○	○	○	○		
73301-15030	TF-351CX1Gパンソイルプラウ		○	○	○	○		
73211-15050	TF-301CX2Gパンソイルプラウ		○	○				
73801-15050	S-26振動サブソイラ			○	○	○	○	
73076-15030	TR-255F自動反転双用スキ			○	○	○	○	
73311-15040	TF-351CX2Gパンソイルプラウ			○	○	○	○	
78120-15260	D-653S掘取機					○		
78281-15170	OM650A溝掘機					○		
73404-15010	B-TF401CX1Gパンソイルプラウ					○	○	
73401-15080	TF-401CX1Gパンソイルプラウ					○	○	
74011-15640	CX-1400ニプロロータリ	○	○	○				
74011-15650	CX-1500ニプロロータリ	○	○	○	○	○		
74011-15660	CX-1600ニプロロータリ		○	○	○	○		
74011-15670	CX-1800ニプロロータリ					○	○	
74011-15680	SX-1500ニプロロータリ		○	○	○	○		
74011-15690	SX-1600ニプロロータリ			○	○	○		
74011-15700	SX-1700ニプロロータリ					○		
74011-15900	PG-1500ニプロ深耕ロータリ					○	○	
74050-15830	HG-1601Bニプロドライブハロー	○	○					
74050-15840	HG-1801Bニプロドライブハロー	○	○					
74050-15850	HG-2001Bニプロドライブハロー	○	○	○				
74050-15860	HA-1800ニプロドライブハロー	○	○	○	○	○		
74050-15870	HA-1800Bニプロドライブハロー	○	○	○	○	○		
74050-15880	HA-2000ニプロドライブハロー	○	○	○	○	○		
74050-15890	HA-2000Bニプロドライブハロー	○	○	○	○	○		
74050-15900	HA-2200ニプロドライブハロー		○	○	○	○		
74050-15910	HA-2200Bニプロドライブハロー		○	○	○	○		
74050-15920	HA-2400ニプロドライブハロー			○	○	○		
74050-15930	HA-2400Bニプロドライブハロー			○	○	○	○	
74740-15130	FT-1401ニプロライムソーワ	○	○					
74740-15140	FT-1601ニプロライムソーワ	○	○	○	○	○		
74710-15070	MP-175ニプロブロードキャスタ	○	○	○	○	○		
74712-15080	MP-275ニプロブロードキャスタ		○	○	○	○	○	
78281-15090	OM310ニプロ溝掘機	○	○	○	○	○		
74011-15230	CU-1600ニプロアッパロータ			○	○	○	○	
74741-15100	FT-1801ニプロライムソーワ				○	○	○	
74031-15120	RK-302Uニプロロータリカルチ			○	○	○		
74011-15000	PZ-1200ニプロ深耕ロータリ	○	○	○				

品番	品名	適用形式						メーカ
		18	20	22	24	26	28	
74011-15430	PZ-1400ニプロ深耕ロータリ		○	○	○	○		松山
74011-15710	SX-1800ニプロロータリ					○	○	
73801-02050	PA-1サブソイラ	○	○	○	○	○	○	スガノ
73304-02010	OYS12-14×1オフセットスリックプラウ	○	○					
73404-02020	OYS14-16×1オフセットスリックプラウ			○	○	○	○	
73314-02010	OYS12-14×2オフセットスリックプラウ			○	○	○		
73801-02060	VP-1バイブロサブソイラ	○	○	○	○	○	○	
73301-02030	YS12-14×1スリックプラウ	○	○					
73401-02030	YS14-16×1スリックプラウ			○	○	○	○	
74050-18420	S-182ABSパディーハロー	○	○	○				小橋
74050-18470	S-202ABSパディーハロー	○	○	○				
74050-18480	S-222ABSパディーハロー	○	○	○	○	○		
74050-18440	S-242ABSパディーハロー	○	○	○	○	○	○	
74050-18510	S-162ABSパディーハロー	○	○					
74010-18260	GT-101深耕ロータ	○	○	○				
78282-18010	RT-40溝掘機	○	○	○	○	○	○	
78122-18010	FS-100つる切りチョッパ	○	○	○	○			
76060-18030	FM-110フレールモア	○	○	○				
76060-18010	FM-150フレールモア	○	○	○	○	○	○	
74010-18270	GT-121深耕ロータ		○	○	○	○		
74010-18550	M-151AFロータ			○	○	○	○	
74010-18120	M-151ASロータ			○	○	○	○	
74010-18210	M-152CAロータ			○	○	○	○	
74050-18310	P-241ABSパディーハロー			○	○	○		
74010-18560	M-161AFロータ				○	○	○	
74010-18596	M-161ASロータ				○	○	○	
74010-18240	M-162CAロータ				○	○	○	
74050-18490	P-261ABSパディーハロー				○	○	○	
74032-18190	KM-201中耕ロータ				○	○	○	
74010-18280	GS-151深耕ロータ				○	○	○	
74010-18930	MB-171AFロータ					○	○	
74010-18950	MB-171ASロータ					○	○	
74010-18940	MB-181AFロータ					○	○	
74010-18960	MB-181ASロータ					○	○	
74050-18450	P-201ABSパディーハロー		○	○	○	○		
74010-18480	M-152C(L_1専用ユニット付)ロータ			○	○	○	○	
74010-18490	M-162C(L_1専用ユニット付)ロータ				○	○	○	
74710-06060	GH-151ブロードキャスタ	○	○	○	○	○	○	佐々木
74713-06010	GH-301ブロードキャスタ		○	○	○	○	○	
74712-06080	GS-261ブロードキャスタ		○	○	○	○	○	
74710-06070	GF-152ブロードキャスタ	○	○	○	○	○	○	
74712-06090	GF-262ブロードキャスタ		○	○	○	○	○	
74740-06030	ML-150ライムソワー	○	○	○	○	○	○	
74741-06040	ML-180ライムソワー		○	○	○	○	○	
74910-06080	SM-51Aマニアスプレッダ	○	○	○	○	○	○	
74910-06090	TS-100Hマニアスプレッダ		○	○	○	○	○	
74050-06240	SA-185パワーハロー	○	○					
74050-06270	SA-185Tパワーハロー	○	○					
74050-06250	SA-205パワーハロー	○	○	○	○			
74050-06280	SA-205Tパワーハロー	○	○	○	○			
74050-06360	SA-225パワーハロー		○	○	○	○		
74050-06330	SA-225Tパワーハロー		○	○	○	○		
74050-06260	SA-245パワーハロー			○	○	○	○	
74050-06290	SA-245Tパワーハロー			○	○	○	○	
74050-06300	SG-225パワーハロー		○	○	○	○		
74050-06330	SG-225Tパワーハロー		○	○	○	○		
74050-06310	SG-245パワーハロー			○	○	○	○	

品番	品名	適用形式						メーカ
		18	20	22	24	26	28	
74050-06340	SG-245Tパワーハロー			○	○	○	○	佐々木
74050-06320	SG-285パワーハロー					○	○	
74050-06350	SG-285Tパワーハロー					○	○	
78241-06010	TE-771トレンチャ	○	○	○	○	○	○	
78242-06010	TW-771トレンチャ					○	○	
78240-06100	TH-700トレンチャ	○	○	○	○			
78240-06070	TH-771トレンチャ					○	○	
78243-06010	TD-772トレンチャ	○	○	○	○			
78244-06030	TD-773Cトレンチャ	○	○	○	○			
78244-06040	TD-773Dトレンチャ	○	○	○	○			
74102-06010	SD1616ディスクハロー	○	○	○	○	○		
78310-06020	SC-1(B)トラクタ作業台	○	○	○	○	○	○	
76060-06030	RC-161Aロータリモアー	○	○	○	○	○	○	
76043-06020	ADX-130Sディスクモアー		○	○	○	○		
76230-06030	AN-170ヘーメーカ	○	○	○	○			
76230-06040	AN-200ヘーメーカ					○	○	
76230-06010	AH-201ヘーメーカ					○	○	
76212-06030	AT-260ジャイロメーカ					○		
76313-06010	AB-113ヘーベーラ					○	○	
74642-04010	┌TB-3三兼機用ツールカバー	○	○	○				鋤柄
74642-04020	└ BC三兼機用カルチベータ	○	○	○				
74642-04010	┌TB-3三兼機用ツールバー	○	○	○				
74642-04050	└ BD三兼機用掘取機	○	○	○				
74642-04010	┌TB-3三兼機用ツールバー	○	○	○				
74642-04030	├ BB三兼機用リッジャビーム	○	○	○				
74642-04060	└ BR-2B三兼機用リッジャ	○	○	○				
74642-04010	┌TB-3三兼機用ツールバー	○	○	○				
74642-04030	├ BB三兼機用リッジャビーム	○	○	○				
74642-04040	└ BR-3B三兼機用リッジャ	○	○	○				
74601-04010	TC-M3畝カルチベータ	○	○	○				
74621-04010	TCR-M3畝リッジャ	○	○	○				
74561-04110	TL-M6リヤーグレーダ	○	○	○				
74561-04120	TL-MB6リヤーグレーダ	○	○	○	○			
78121-04020	TBD-2B2条掘取機		○	○	○	○	○	
74601-04110	TC-H3 3畝カルチベータ					○	○	
74621-04110	TCR-H 3畝リッジャ				○	○	○	
74561-04020	TL-H6リヤーグレーダ					○	○	
74563-04010	TL-H8リヤーグレーダ					○	○	
75140-12010	DK-7Aトレーラ	○	○	○	○			デリカ
75141-12010	DK-8Aトレーラ				○	○	○	
78310-12070	DS-200Bトラクタ作業台	○	○	○	○			
75210-12010	DK-7Dトレーラ	○	○	○	○	○		
75211-12010	DK-8Dトレーラ	○	○	○	○	○	○	
74740-12010	DL-140KTライムソーワ	○	○	○	○			
74740-12210	DHS-140KTライムソーワ	○	○	○	○			
74740-12080	DL-140Tライムソーワ			○	○	○	○	
74740-12130	DHS-140Tライムソーワ			○	○	○		
74740-12090	DL-1400ライムソーワ					○	○	
74740-12310	DHS-1400ライムソーワ					○		
78310-12050	DS-200トラクタ作業台	○	○	○	○	○	○	
74940-12050	DV-500Tバキュームカー	○	○	○	○	○		
74941-12020	DV-800Tバキュームカー	○	○	○	○	○		
74942-12100	DV-1200Tバキュームカー	○	○	○	○	○	○	
74910-12100	DF-500マニアスプレッダ	○	○	○	○	○		
74910-12110	DF-750マニアスプレッダ	○	○	○	○	○		
74910-12120	DF-1000マニアスプレッダ	○	○	○	○	○	○	
74910-12130	DF-1500マニアスプレッダ	○	○	○	○	○	○	
74970-12420	DV-200P 3点リンク式バキュームカー	○	○	○	○	○		

品番	品名	適用形式						メーカ
		18	20	22	24	26	28	
78245-23470	TTS-43-5Aトレンチャ	○	○	○	○	○		川辺
78245-23480	TTS-43-5Bトレンチャ	○	○	○	○			
78245-23490	TTS-43-5Cトレンチャ	○	○	○	○			
78245-23500	TRT601-1000ロータリトレンチャ					○	○	
78246-23280	TTS-430-5Aトレンチャ					○	○	
78246-23290	TTS-430-5Bトレンチャ					○	○	
78246-23270	TT-4102-F410トレンチャ					○	○	
78246-23250	TTS-430-5Cトレンチャ					○	○	
78246-23260	TT4102-R120Aトレンチャ(要前部ウエイト)					○	○	
78245-23510	TRT601-1100ロータリトレンチャ(要前部ウエイト)					○	○	
74050-16210	L201(カゴ)スーパーハロー	○	○	○				和同
74050-16220	L201V(板爪)スーパーハロー	○	○	○				
74050-16230	R201(カゴ)スーパーハロー	○	○	○				
74050-16240	R201N(爪)スーパーハロー	○	○	○				
74050-16250	R201V(板爪)スーパーハロー	○	○	○				
74050-16260	R221(カゴ)スーパーハロー		○	○	○			
74050-16270	R221N(爪)スーパーハロー		○	○	○			
74050-16280	R221V(板爪)スーパーハロー		○	○	○			
74050-16290	R241(カゴ)スーパーハロー			○	○	○	○	
74050-16300	R241N(爪)スーパーハロー			○	○	○	○	
74050-16310	R241V(板爪)スーパーハロー			○	○	○	○	
74050-16320	R261(カゴ)スーパーハロー				○	○	○	
74050-16330	R261N(爪)スーパーハロー				○	○	○	

(1) ロータリ付きの場合の標準装着ウエイト

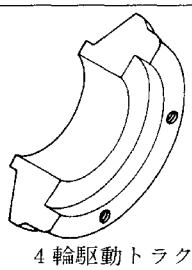
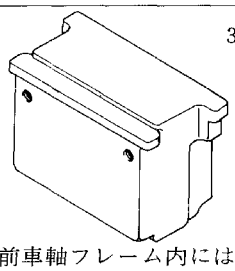
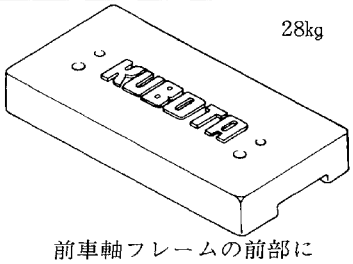
□ ロータリ付の工場出荷機

		製品名称	トラクタ / ロータリ	L_1-18		L_1-20		L_1-22		L_1-24		L_1-26		L_1-28	
				2輪仕様	4WD仕様	2輪仕様	4WD仕様	2輪仕様	4WD仕様	2輪仕様	4WD仕様	2輪仕様	4WD仕様	2輪仕様	4WD仕様
標準ロータリ	サイドドライブ		RL1203	○	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
		RF1	RL1403	○	☆	○	☆	—	—	—	—	—	—	—	—
		RF1	RL1503(V)	—	—	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆
		RF2	RL1603	—	—	—	—	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆
	センタドライブ	R1	R1503	◎	☆	○	☆	○	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆
		R2	R1503W2	◎	☆	◎	☆	○	☆	○	☆	—	—	—	—
			R1503W	—	—	—	—	○	☆	○	☆	—	—	—	—
			R1603	—	—	—	—	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆
正逆転ロータリ	サイドドライブ	RF6	RL1403X	◎	☆	◎	☆	—	—	—	—	—	—	—	—
			RL1403XS	◎	☆	◎	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆
		RF6	RL1503X	—	—	—	—	◎	☆	◎	☆	◎	☆	◎	☆
			RL1603X	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	☆	◎	☆
	センタドライブ	R6	R1503X	◎	☆	◎	☆	○	☆	○	☆	—	—	—	—
			R1603X	—	—	—	—	—	—	◎	☆	◎	☆	◎	☆

☆ー装備ウエイトなし
○ー前輪ウエイトアッシ　L_1-18(995111-3001)・L_1-20, L_1-22, L_1-24, L_1-26, L_1-28(997211-3001)
◎ー前輪ウエイトアッシ＋バンパウエイト(31341-13022)

上表は一般的な条件においてであり，土地条件(湿田・強湿田)，播種機や水田車輪などの装着インプルアタッチメントに応じて，付加ウエイトを装着してください。

(2) L_1用付加ウエイト

品名	前輪ウエイトアッシ	バンパウエイト	前部ウエイトアッシ
品番	995111-3001(L_1-18) 997211-3001(L_1-20 ～L_1-28)	31341-13022	992211-2001
備考	 L_1-18用 7.5kg ×4個 L_1-20～ L_1-28用 11kg ×4個 4輪駆動トラクタには装着できません	 30kg 前車軸フレーム内にはめ込み式	 28kg 前車軸フレームの前部に取付け

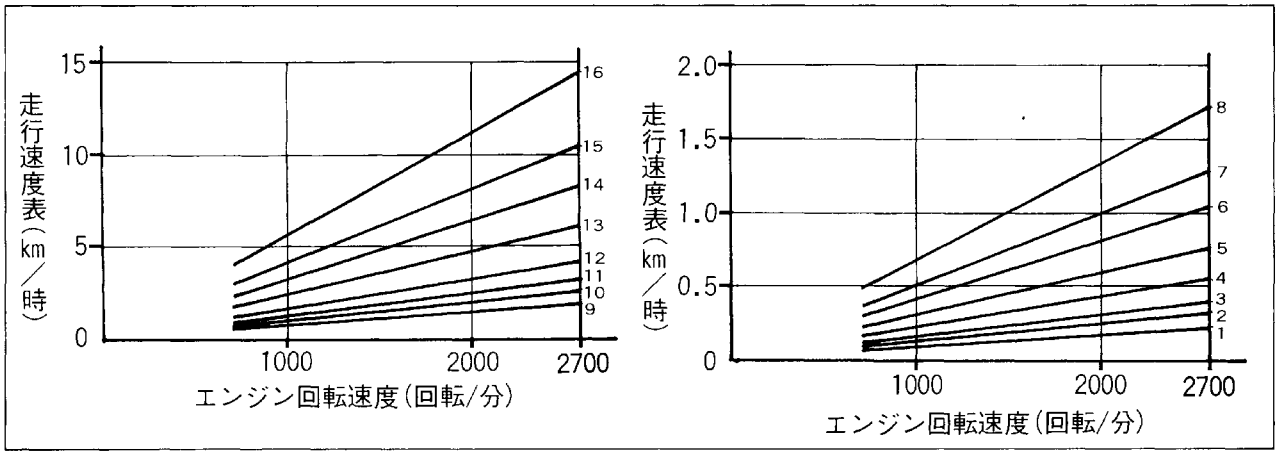
主要諸元

■トラクタの主要諸元

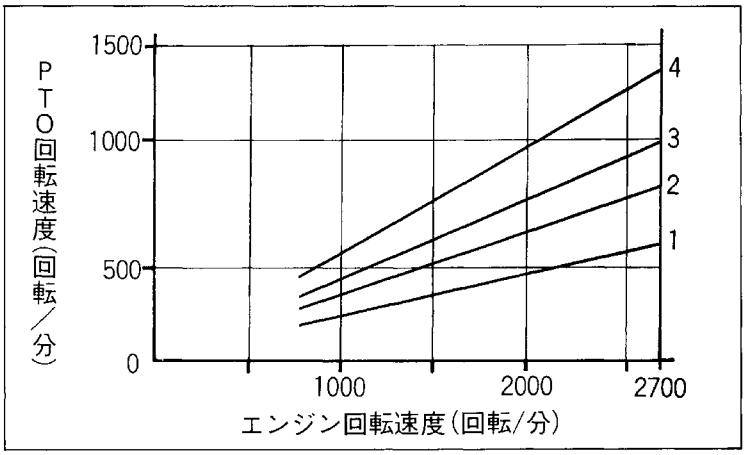
（3点リンク・モンロー付き）

型式			L1-18	L1-18D	L1-20	L1-20D	L1-22	L1-22D	L1-24	L1-24D	L1-26	L1-26D	L1-28	L1-28D
駆動方式			2輪駆動	4輪駆動	2輪駆動	4輪駆動	2輪駆動	4輪駆動	2輪駆動	4輪駆動	2輪駆動	4輪駆動	2輪駆動	4輪駆動
機体寸法	全長(mm)		2890				2940				3090		3160	
	全幅(mm)		1190		1255		1260		1320		1380		1420	
	全高(mm)		1980		1975								1980	1975
	軸距(mm)		1500				1550				1685		1735	
	輪距	前輪(mm)	880	940	960	940	960	940	980～1140（3段）	1050	1050～1450（5段）	1050	1050～1450（5段）	1050
		後輪(mm)	950, 1070		990, 1110				1020～1320（6段）		1050～1520（6段）		1080～1550（6段）	
	最低地上高(mm)		320	275	340	275	345	275	370	315	355	315	365	315
重量(kg)			890	975	930	980	955	1010	990	1070	1080	1150	1155	1190
エンジン	名称		クボタ D1302-DI		クボタ D1402-DI		クボタ D1462-DI (-L)		クボタ D1462-DI		クボタ V1512-DI (-L)		クボタ V1512-DI	
	形式		水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル								水冷4サイクル 4気筒立形ディーゼル			
	総排気量(cc)		1299		1395		1462				1499			
	出力/回転速度(PS/rpm)		18 / 2500		20 / 2500		22 / 2500		24 / 2600		26 / 2600		28 / 2700	
	使用燃料		クボタディーゼル重油又はディーゼル軽油											
	燃料タンク容量(ℓ)		29											
	始動方式		セルモータ式（グロープラグ付）											
	バッテリ		N70Z				NX120-7							
タイヤ	前輪		4.00-12 4PR	6-14 4PR	4.00-15 4PR	6-14 4PR	4.00-15 4PR	6-14 4PR	5.00-15 4PR	7-16 4PR	5.00-15 4PR	7-16 4PR	5.00-15 4PR	7-16 4PR
	後輪		8.3-24 4PR ニューバランスタイヤ		9.5-22 4PR ニューバランスタイヤ		9.5-24 4PR ニューバランスタイヤ		11.2-24 4PR ニューバランスタイヤ		12.4-24 4PR ニューバランスタイヤ		13.6-24 4PR ニューバランスタイヤ	
車体	クラッチ方式		乾式単板（シングル，ダブル）											
	制動装置		一系統左右独立(連結装置付) 湿式ディスクブレーキ(機械式)											
	かじ取り方式		ボールスクリュー式（インテグラルパワーステアリング）											
	差動方式		2ピニオンかさ歯車式(デフロック付)						4ピニオンかさ歯車式(デフロック付)					
	変速方式		コンスタントメッシュ											
変速段数(段)			前進16，後進16（シャトル）											
走行速度(km/h)		前進	0.23～14.50		0.23～14.57		0.24～14.26		0.23～14.89		0.24～14.55		0.24～14.68	
		後進	0.20～11.67		0.20～11.76		0.23～12.45		0.22～13.53		0.22～12.16		0.22～12.32	
最小旋回半径(m)（ブレーキ使用時）			2.1	2.0	2.1	2.0	2.2	2.0	2.2,	2.1	2.3	2.2	2.4	2.3
PTO	回転速度/エンジン回転速度(rpm)	シングル	556, 774, 938, 1250／2500						578, 805, 975, 1300／2600		578, 805, 1000, 1300／2600		600, 836, 1038, 1350／2700	
		ダブル	—				588, 716, 1026, 1250／2500		611, 745, 1067, 1300／2600				634, 774, 1107, 1350／2700	
	軸寸法(mm)		JIS 35											
昇降装置 作業機	制御方式		ポジションコントロール											
	装着方式		3点リンク JIS 1形											

■走行速度表



■PTO回転速度表



■走 行 速 度

マルチレンジ	主変速	L₁-18(D)		L₁-20(D)		L₁-22(D)		L₁-24(D)		L₁-26(D)		L₁-28(D)	
		前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	1	0.23	0.20	0.23	0.20	0.24	0.23	0.23	0.22	0.24	0.22	0.24	0.22
	2	0.31	0.27	0.32	0.28	0.34	0.32	0.32	0.31	0.33	0.30	0.34	0.30
	3	0.38	0.33	0.38	0.33	0.41	0.39	0.39	0.38	0.41	0.37	0.42	0.38
	4	0.51	0.44	0.51	0.44	0.54	0.51	0.52	0.51	0.53	0.48	0.54	0.49
2	1	0.75	0.65	0.76	0.66	0.74	0.70	0.77	0.75	0.76	0.68	0.77	0.69
	2	1.05	0.91	1.05	0.91	1.03	0.97	1.08	1.05	1.05	0.95	1.07	0.96
	3	1.27	1.10	1.28	1.11	1.25	1.18	1.31	1.28	1.30	1.17	1.32	1.19
	4	1.69	1.47	1.70	1.48	1.66	1.57	1.74	1.70	1.7	1.53	1.72	1.55
3	1	1.79	1.56	1.80	1.56	1.91	1.80	1.82	1.78	1.87	1.68	1.91	1.72
	2	2.49	2.16	2.51	2.18	2.66	2.51	2.54	2.48	2.6	2.34	2.66	2.40
	3	3.02	2.62	3.04	2.64	3.23	3.05	3.07	3.00	3.23	2.91	3.31	2.98
	4	4.03	3.50	4.06	3.53	4.30	4.05	4.10	4.00	4.20	3.78	4.30	3.88
4	1	5.97	5.19	6.0	5.21	5.87	5.54	6.15	6.01	6.01	5.41	6.08	5.47
	2	8.31	7.22	8.36	7.26	8.17	7.70	8.56	8.37	8.37	7.53	8.46	7.63
	3	10.07	8.75	10.13	8.80	9.9	9.34	10.37	10.14	10.39	9.35	10.52	9.48
	4	14.50	11.67	14.57	11.76	14.26	12.45	14.89	13.53	14.55	12.16	14.68	12.32

標準付属品

品　　名	数　量　／　台						備　　考
	18仕様	20仕様	22仕様	24仕様	26仕様	28仕様	
グリースガン	1	1	1	1	1	1	
ドライバー	1	1	1	1	1	1	＋，－差換え式
10－12　スパナ	1	1	1	1	1	1	
14－17　スパナ	1	1	1	1	1	1	
19－22　スパナ	1	1	1	1	1	1	
24－27　スパナ	1	1	1	1	1	1	
17－24　メガネ　レンチ	1	1	1	1	1	1	
プライヤ	1	1	1	1	1	1	
ハンマ	—	—	—	—	1	1	
ジャッキ	—	—	—	—	1	1	
ハンドル	—	—	—	—	1	1	ジャッキ用
エアーゲージ	—	—	—	—	1	1	
フィルタレンチ	1	1	1	1	1	1	
ヒュージブルリンク	1	1	1	1	1	1	
メインスイッチキーアッシ	1	1	1	1	1	1	キー２コ＋安全憲章
取扱説明書	1	1	1	1	1	1	
純正部品表	1	1	1	1	1	1	
サービスブック	1	1	1	1	1	1	
納入品安全説明書	1	1	1	1	1	1	
安全注意ポスタ	1	1	1	1	1	1	
ＰＴＯ軸カバー	1	1	1	1	1	1	
ボルト	1	1	1	1	1	1	ＰＴＯ軸カバー用
平座金	1	1	1	1	1	1	
バネ座金	1	1	1	1	1	1	

推奨オイル・グリース一覧表

必ず下表の指定オイルを使ってください。

■ エンジンオイル・ミッションオイル・ギヤーオイル

メーカ	エンジンオイル	ミッションオイル	ギヤーオイルSAE90
日本石油	クボタ純オイル（ディーゼルエンジン用）D30又はD10W30 ターボ付エンジンはD30スーパーCD又はD10W30スーパーCD	クボタ純オイルM80B 又は クボタ純オイルUDT（油圧駆動用）	クボタ純オイルM90
コスモ石油			
共同石油			
昭和シェル石油			

寒冷地用としてミッションオイルにクボタ純オイルUDTをおすすめします。

■ ブレーキオイル

メーカ	ブレーキオイル
日本石油	クボタ純正ブレーキオイルBP—32(パワーステアリング兼用)

■ パワーステアリングオイル〔タービンオイル32(＃90相当)〕

メーカ	パワーステアリングオイル
日本石油	クボタ純正ブレーキオイルBP—32(パワーステアリング兼用)，スーパーハイランド32
コスモ石油	コスモハイドロHV32
共同石油	共石ハイドラックス32
昭和シェル石油	テラスオイルC32
モービル石油	モービルハイドロリックオイル28
エッソ石油	テレッソ32
出光興産	ダフニーハイドロウリックフルイド32
三菱石油	ダイヤモンドハイドフルード32
ゼネラル石油	ゼネラルハイドフルード32
キグナス石油	ユニットオイルE32

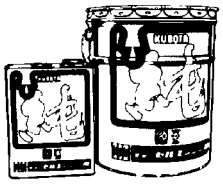
■ グリース

メーカ	グリース	
	シャーシグリース	ホイールベアリンググリース
日本石油	エピノックグリースAP No. 2	PAN WBグリース
コスモ石油	ダイナマックスEP No.2	ロードマスターNo.2
共同石油	リゾニックスグリースEP No. 2	リゾニックスグリースNo. 2
昭和シェル石油	レチナックスCD	サンライトグリースNo. 2
モービル石油	プレックス47	モービルグリースJL
エッソ石油	シャーシグリースL	リスタンWB 2
出光興産	シャーシグリース	アポロイルオートレックスA
三菱石油	シャーシグリースNo. 2	ホイールベアリングHDグリースNo. 2
ゼネラル石油	シャーシグリースNo. 2	WBグリースNo. 2
キグナス石油	シャーシグリースNo. 2	MPグリースNo. 2

オイルは クボタ純オイル をお使いください。

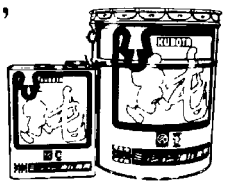
● オイルはトラクタの開発研究から生まれたクボタ純オイルをお使いください。

■ エンジンには,
クボタ純オイル
ディーゼルエンジン用
D 30, または
D 10 W30



4 ℓ　20 ℓ

■ トラクタ本体には,
クボタ純オイル
ミッション用
M80B



4 ℓ　20 ℓ

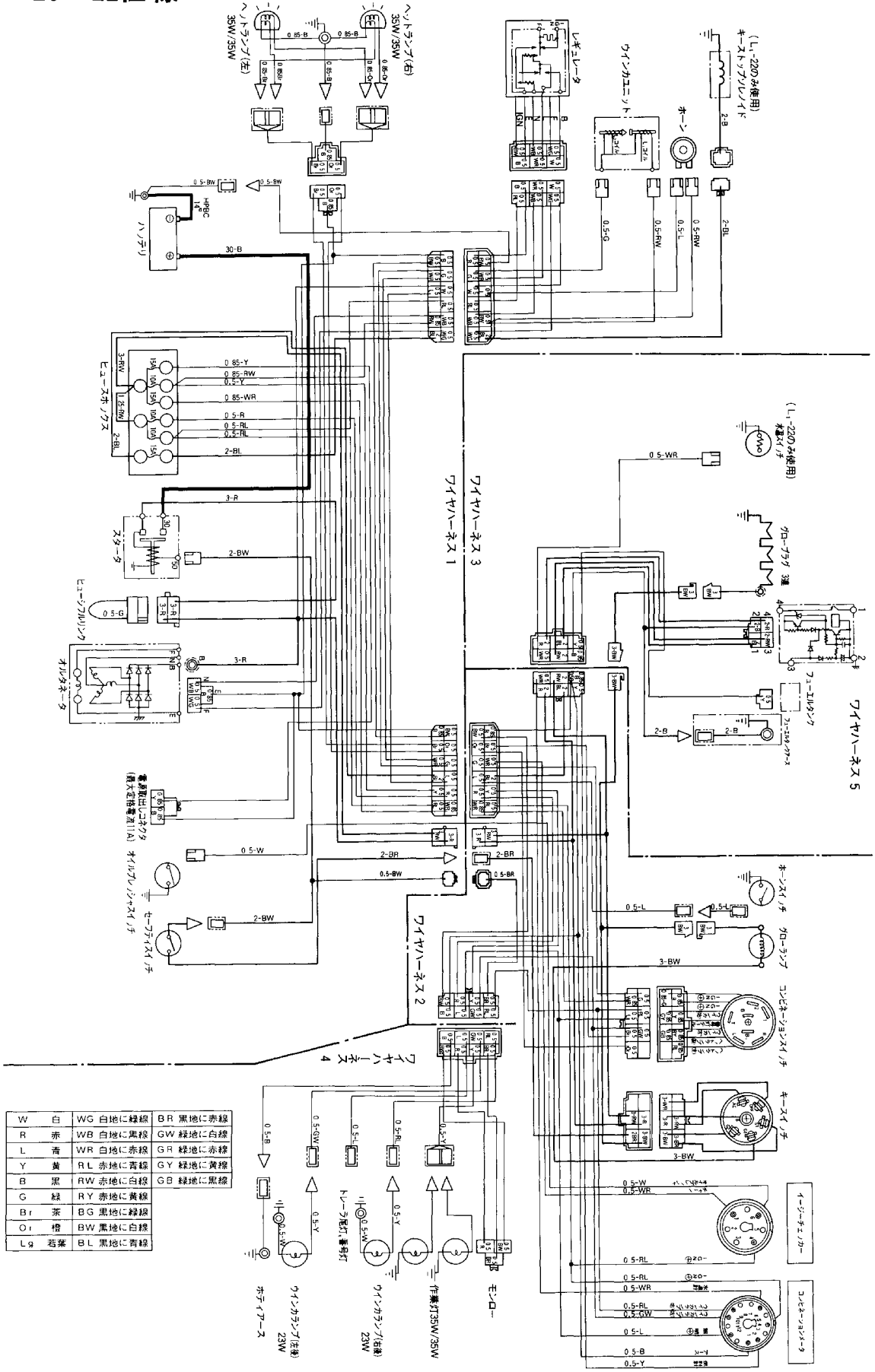
■ グリースアップには,
クボタスペアグリース

60 100 400

いずれもクボタが品質保証する最も適したオイルです。
お買い求めは, 販売店・農協又は日本石油・コスモ石油・共同石油・昭和シェル石油のスタンドに御用命ください。

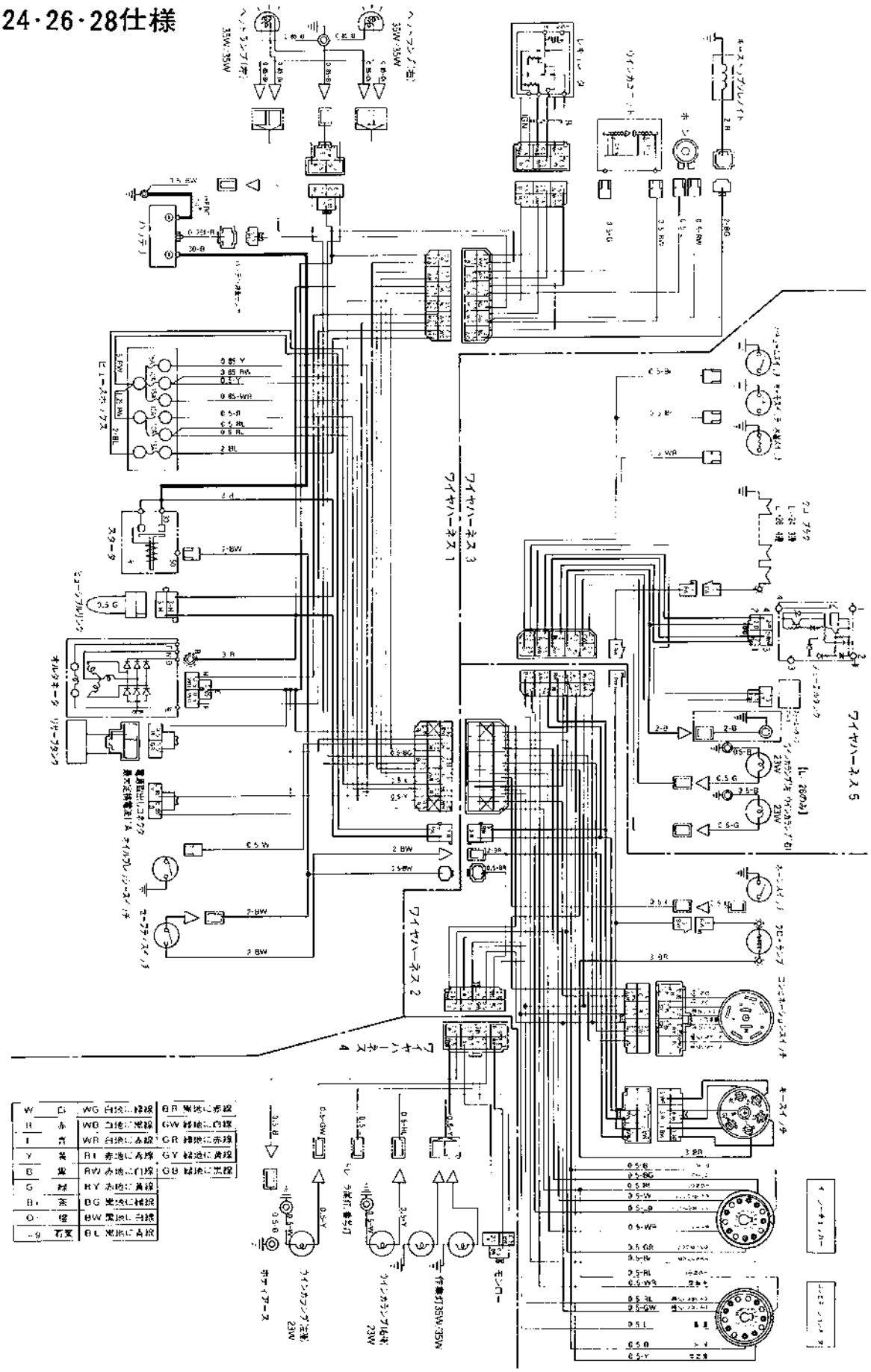
配線図

■18・20・22仕様



W	白	WG 白地に緑線	BR 黒地に赤線
R	赤	WB 白地に黒線	GW 緑地に白線
L	青	WR 白地に赤線	GR 緑地に赤線
Y	黄	RL 赤地に青線	GY 緑地に黄線
B	黒	RW 赤地に白線	GB 緑地に黒線
G	緑	RY 赤地に黄線	
Br	茶	BG 黒地に緑線	
Or	橙	BW 黒地に白線	
Lg	若葉	BL 黒地に青線	

■24・26・28仕様


ワイヤハーネス 1
ワイヤハーネス 2
ワイヤハーネス 3
ワイヤハーネス 4
ワイヤハーネス 5
ヘッドランプ(左) 35W/35W
ヘッドランプ(右) 35W/35W
ヒューズボックス
スターター
ヘッドランプリレー
ホーン
ウインカーリレー
キースイッチ
ストップランプスイッチ
コンビネーションスイッチ
ターンシグナルスイッチ
ヘッドライトスイッチ
ディマースイッチ
ホーンスイッチ
ウインカーランプ(左後) 23W
ウインカーランプ(右後) 23W
ウインカーランプ(左前) 23W
ウインカーランプ(右前) 23W
ストップ/テールランプ 23W/8W
ライセンスランプ 5W
メーター内ランプ
ニュートラルインジケータランプ
ハイビームインジケータランプ
ウインカーインジケータランプ
エンジンオイルプレッシャーインジケータランプ
充電インジケータランプ
ヘッドランプ(ハイ) 35W
ヘッドランプ(ロー) 35W
ウインカーランプ(左前) 23W
ウインカーランプ(右前) 23W
ウインカーランプ(左後) 23W
ウインカーランプ(右後) 23W
ストップ/テールランプ 23W/8W
ライセンスランプ 5W
ホーン
ウインカーリレー
ヘッドライトスイッチ
ディマースイッチ
ホーンスイッチ
ターンシグナルスイッチ
コンビネーションスイッチ
ストップランプスイッチ
キースイッチ
メーター内ランプ
ニュートラルインジケータランプ
ハイビームインジケータランプ
ウインカーインジケータランプ
エンジンオイルプレッシャーインジケータランプ
充電インジケータランプ
ヒューズボックス
スターター
ヘッドランプリレー

農用トラクター（乗用型）検査成績表

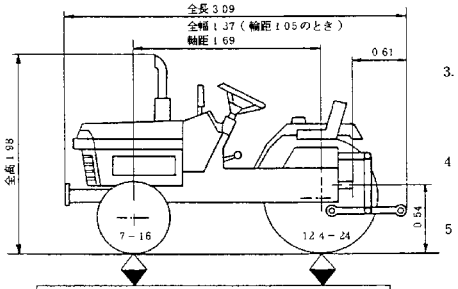
昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日
農業機械化研究所

合格番号　83030　　型式名　**クボタＬ１－26Ｄ**　　4輪駆動

依頼者名及び住所　久保田鉄工株式会社　大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号

Ⅰ　主要諸元・構造

1　機体の大きさ　　寸法（m）・重量（kg）



558	付加重量無（合計 1151）	593
558	付加重量付（合計 1316）	758

2　機　　関
種類：水冷４サイクル４気筒ディーゼル
呼称出力：26 PS
定格回転速度：2600 rpm
排気量：1 499 ℓ

3.　伝動装置
前進：16段（0.2～13.5 km／h）
後進：16段（0.2～12.2 km／h）
差動機固定装置：あり，足動式

4　主ＰＴＯ
規格：６スプライン直径 35 mm
回転速度（機関定格のとき）：611，745，1067，1300 rpm

5　作業機昇降装置
形式：油圧式
制御方式：ポジションコントロール
油圧外部取出口：あり
作業機装着装置：３点リンク１形

6　輪　　距
前輪：1.05 m（１段階）
後輪：1.05～1.52 m（６段階）

Ⅱ　検査成績

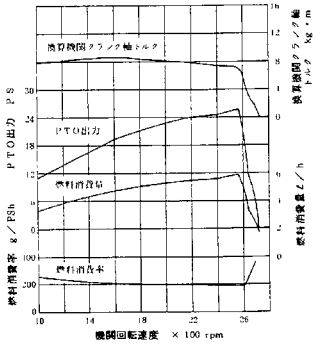


図　　ＰＴＯ性能

1　ＰＴＯ性能（最大出力時の値）

出　力	燃料消費率	PTO軸速度／速度段
25.6 PS	192 g／PSh	733 rpm／2

2.　けん引性能（コンクリート上）

最大けん引力	最大けん引出力
1180 kg（9速）	20.0 PS（14速）

3　作業機昇降装置性能

下部リンクヒッチ点揚力	フレーム上の揚力
1135 kg	895 kg

4.　騒音（運転者の耳もと）：90 dB(A)

5　静的横転倒角：38°
（輪距：前輪 1.05 m　後輪 1.05 m）

6　最小旋回半径：2.28 m（ブレーキ使用時）

7.　安全装備　可動部・高温部の防護カバー，昇降部の落下防止装置，その他の装置

Ⅲ　付　　記

本機は，高性能農業機械導入基本方針（昭和55年12月22日農林水産大臣公表）に定められたトラクターの第Ⅰ類に属するものである。

農用トラクター（乗用型）検査成績表

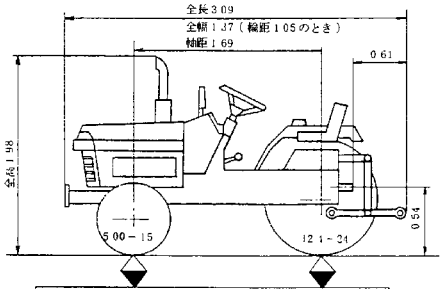
昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日
農業機械化研究所

合格番号　83029　　型式名　**クボタＬ１－26**　　2輪駆動

依頼者名及び住所　久保田鉄工株式会社　大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号

Ⅰ　主要諸元・構造

1　機体の大きさ　　寸法（m）・重量（kg）



478	付加重量無（合計 1064）	586
478	付加重量付（合計 1229）	751

2　機　　関
種類：水冷４サイクル４気筒ディーゼル
呼称出力：26 PS
定格回転速度：2600 rpm
排気量：1 499 ℓ

3.　伝動装置
前進：16段（0.2～13.5 km／h）
後進：16段（0.2～12.2 km／h）
差動機固定装置：あり，足動式

4　主ＰＴＯ
規格：６スプライン直径 35 mm
回転速度（機関定格のとき）：578，805，1000，1300 rpm

5　作業機昇降装置
形式：油圧式
制御方式：ポジションコントロール
油圧外部取出口：あり
作業機装着装置：３点リンク１形

6　輪　　距
前輪：1.05～1.45 m（５段階）
後輪：1.05～1.52 m（６段階）

Ⅱ　検査成績

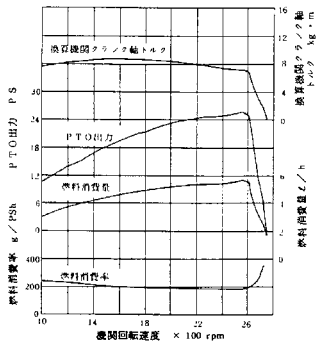


図　　ＰＴＯ性能

1　ＰＴＯ性能（最大出力時の値）

出　力	燃料消費率	PTO軸速度／速度段
25.7 PS	185 g／PSh	792 rpm／2

2　けん引性能（コンクリート上）

最大けん引力	最大けん引出力
900 kg（9速）	19.9 PS（14速）

3　作業機昇降装置性能

下部リンクヒッチ点揚力	フレーム上の揚力
1135 kg	895 kg

4　騒音（運転者の耳もと）：91 dB(A)

5　静的横転倒角：36°
（輪距：前輪 1.05 m　後輪 1.05 m）

6　最小旋回半径：2.29 m（ブレーキ使用時）

7　安全装備　可動部・高温部の防護カバー，昇降部の落下防止装置，その他の装置

Ⅲ　付　　記

本機は，高性能農業機械導入基本方針（昭和55年12月22日農林水産大臣公表）に定められたトラクターの第Ⅰ類に属するものである。

農用トラクター（乗用型）検査成績表

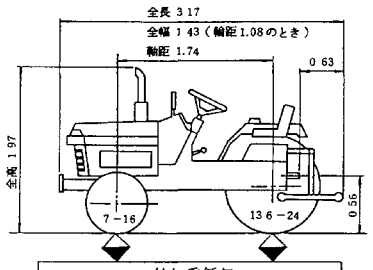
昭和60年2月6日
農業機械化研究所

合格番号　84053　　型式名　**クボタＬ１－28Ｄ**　　４輪駆動

依頼者名及び住所　　久保田鉄工株式会社　大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号

Ⅰ　主要諸元・構造

1　機体の大きさ　　寸法（m）・質量（kg）



554	付加重錘無　614 （合計 1168）
554	付加重錘付　830 （合計 1384）

2.　機　　関
種類：水冷４サイクル４気筒ディーゼル
呼称出力：21 kW｛28 PS｝
定格回転速度：2700 rpm
排気量：1.499 ℓ

3.　伝動装置
前進：16段（0.2～13.7km／h）
後進：16段（0.2～12.3km／h）
差動機固定装置：あり，足動式

4　主ＰＴＯ
規格：６スプライン直径35㎜
回転速度（機関定格のとき）：634, 1107, 774, 1350 rpm

5　作業機昇降装置
形式：油圧式
制御方式：ポジションコントロール
油圧外部取出口：あり
作業機装着装置：３点リンク１形

6　輪　　距
前輪：1.05 m　　（１段階）
後輪：1.08～1.55 m（６段階）
試験時：前輪1.05 m，後輪1.08 m

Ⅱ　検査成績

1　ＰＴＯ性能（最大出力時の値）

出　力	燃料消費率	PTO軸速度／速度段
19.8 kW｛27.0PS｝	255 g／kWh｛188 g／PSh｝	770 rpm／２

2.　けん引性能（コンクリート上）

最大けん引力	最大けん引出力
13.53 kN（９速）｛1380 kgf｝	16.1 kW（14速）｛21.9 PS｝

3　作業機昇降装置性能

下部リンクヒッチ点揚力	フレーム上の揚力
11.38 kN｛1160 kgf｝	9.02 kN｛920 kgf｝

4　騒音（運転者の耳もと）：93 dB（A）
5.　静的横転倒角：38°
6　最小旋回半径：2.40 m（ブレーキ使用時）
7　安全装備　可動部・高温部の防護カバー，昇降部の落下防止装置，その他の装置

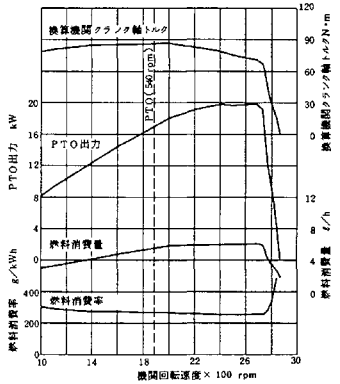


図　ＰＴＯ性能曲線

Ⅲ　付　　記

本機は，高性能農業機械導入基本方針（昭和58年12月22日農林水産大臣公表）に定められたトラクターの第１類に属するものである。

農用トラクター（乗用型）検査成績表

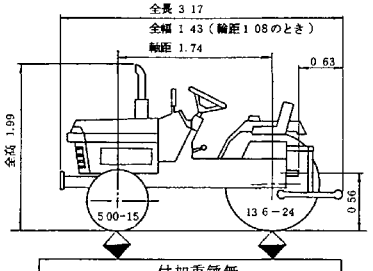
昭和60年2月6日
農業機械化研究所

合格番号　84052　　型式名　**クボタＬ１－28**　　２輪駆動

依頼者名及び住所　　久保田鉄工株式会社　大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号

Ⅰ　主要諸元・構造

1.　機体の大きさ　　寸法（m）・質量（kg）



564	付加重錘無　596 （合計 1160）
564	付加重錘付　867 （合計 1431）

2.　機　　関
種類：水冷４サイクル４気筒ディーゼル
呼称出力：21 kW｛28 PS｝
定格回転速度：2700 rpm
排気量：1.499 ℓ

3.　伝動装置
前進：16段（0.2～13.7 km／h）
後進：16段（0.2～12.3 km／h）
差動機固定装置：あり，足動式

4　主ＰＴＯ
規格：６スプライン直径35㎜
回転速度（機関定格のとき）：600, 1038, 836, 1350 rpm

5　作業機昇降装置
形式：油圧式
制御方式：ポジションコントロール
油圧外部取出口：あり
作業機装着装置：３点リンク１形

6　輪　　距
前輪：1.05～1.45 m（５段階）
後輪：1.08～1.55 m（６段階）
試験時：前輪1.05 m，後輪1.08 m

Ⅱ　検査成績

1.　ＰＴＯ性能（最大出力時の値）

出　力	燃料消費率	PTO軸速度／速度段
20.3 kW｛27.7PS｝	249 g／kWh｛183 g／PSh｝	829 rpm／２

2　けん引性能（コンクリート上）

最大けん引力	最大けん引出力
11.77 kN（９速）｛1200 kgf｝	16.5 kW（15速）｛22.5 PS｝

3.　作業機昇降装置性能

下部リンクヒッチ点揚力	フレーム上の揚力
11.38 kN｛1160 kgf｝	9.02 kN｛920 kgf｝

4　騒音（運転者の耳もと）：94 dB（A）
5　静的横転倒角：38°
6　最小旋回半径：2.46 m（ブレーキ使用時）
7　安全装備　可動部・高温部の防護カバー，昇降部の落下防止装置，その他の装置

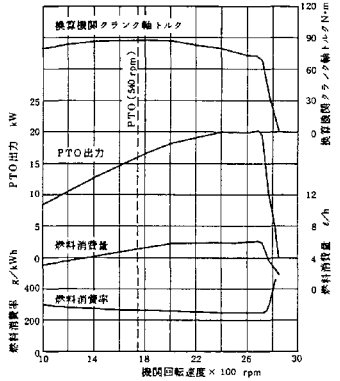


図　ＰＴＯ性能曲線

Ⅲ　付　　記

本機は，高性能農業機械導入基本方針（昭和58年12月22日農林水産大臣公表）に定められたトラクターの第１類に属するものである。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

昭和60年 2月16日
農業機械化研究所

合格番号 84067　　型　式　名　クボタ SF−26M　　安全フレーム

依頼者名及び住所　久保田鉄工株式会社
大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

製造者名及び住所　依頼者に同じ

Ⅰ 装着可能トラクター

1. 型 式 名　クボタL1−R26　クボタL1−26D　クボタL1−26

2 主要諸元（最大及び最小トラクター）

型式名	：	クボタL1−R26	クボタL1−26
種類	：	4輪駆動	2輪駆動
質量（フレーム付き） kg	：	1305	1190
軸距 mm	：	1685	1685
機関出力／回転速度 kW{PS}／rpm	：	19.1{26}／2600	19.1{26}／2600

Ⅱ 構造の概要

1. 構造及び装着方法

供試フレームは，鋼管及び鋼板を主材としたボルト締めによる組立構造の4柱式であり，取付金具を介してクランクケース部，フライホイールハウジング部とクラッチハウジング部，及び防振ゴム・取付金具とフェンダーを介してミッションケース部とブレーキケース部にボルトで装着。なお，装着可能トラクターのうち座席及びステアリングホイール等を反転移動できるものに対応するためフレーム上部を伸ばすことができる。

2 主要寸法 ※

座席基準点から屋根部材（上面）までの高さ		： 970(1115)cm
フートプレートから屋根部材（上面）までの高さ		：1385(1650)cm
座席基準点上方90cmの高さにおけるフレームの内幅		： 815(815)cm
ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のフレームの内幅		： −(−)cm
ステアリングホイールの中心からフレーム右側までの距離		： −(−)cm
ステアリングホイールの中心からフレーム左側までの距離		： −(−)cm
ステアリングホイールリムからフレームまでの最短距離		： 425(370)cm
戸口の幅	（上部）	： −(−)cm
	（中部）	： −(−)cm
	（下部）	： −(−)cm
戸口の高さ	（フートプレートから）	：1335(1615)cm
	（最高位ステップから）	： −(−)cm
	（最低位ステップから）	： −(−)cm
フレーム装着時のトラクターの全高	（フレーム上端まで）	：1995(2280)cm
	（排気管上端まで）	：1965(1965)cm
フレームの全幅		：1145(1145)cm
座席基準点上方90cmの高さにおける座席基準点からフレーム後部までの水平距離		： 265(185)cm

※ 1 クボタL1−R26，タイヤサイズ： 前輪7−16，後輪12.4−24 装着時
2 トラクターシートの銘柄型式， 難波プレス工業，N 43260
3 ( )内は座席及びステアリングホイール等を反転移動し，フレームを伸ばした状態。

3. 主要材料
主 フ レ ー ム： STKR41，SS41，SPHC
装着ブラケット： SS41，SPHC
組立・装着ボルト： S43C

4 主な装備
シートベルト（2点式）

Ⅲ 検査成績

1 強度試験

1）水平負荷試験は，フレームの後方左側，前方右側，側方右側に対して実施。所要吸収エネルギーと圧壊力の算出に用いたトラクター（フレーム付き）の質量は1305kg。

所要吸収エネルギー：後部負荷：1.83 kJ{186 kgf・m} 前部負荷：1.15 kJ{118kgf・m}
：側部負荷：2.28 kJ{233 kgf・m}
圧 壊 力：26.10 kN{2661 kgf}

2）試験後のフレームの永久変位※

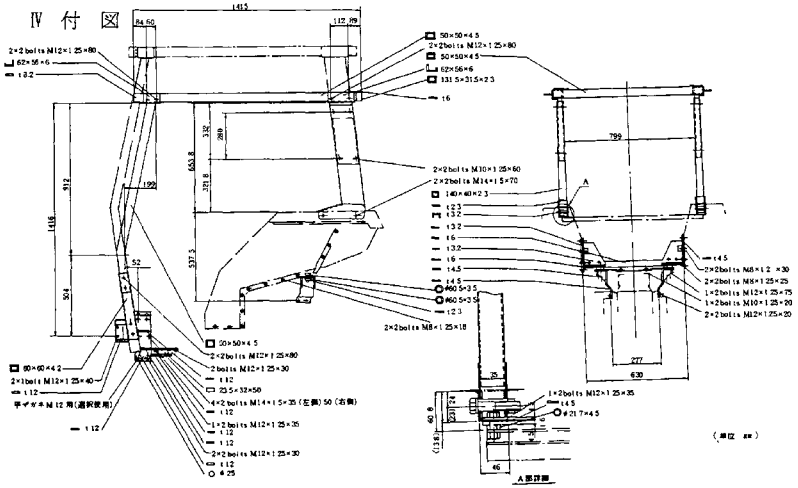
後部（前方へ）：右側−3.0(−3.0)cm / 左側 2.5(0)cm　前部（後方へ）：右側 4.0(3.0)cm / 左側−2.0(1.5)cm
側部（左前方へ）：前側 4.5(8.0)cm / 後側13.5(12.0)cm　上部（下方へ）：前部 右側 0(0)cm / 左側 1.0(1.0)cm
後部 右側 1.0(0)cm / 左側 1.5(2.0)cm

3）側部負荷試験時のフレームの最大変位と残留変位との差※：10.0(9.5)cm

2. フレーム内の騒音（7.5 km/hに近い速度段における無負荷走行時，運転者の耳もと）※
90(89)dBA〔クボタL1−R26〕 89 dBA〔クボタL1−26〕

※（ ）内は座席及びステアリングホイール等を反転移動し，フレームを伸ばした状態。

Ⅳ 付 図



Ⅴ 付 記

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

昭和四年２月○日
農業機械化研究所

合格番号　84068　　型　式　名　クボタ SF−28M　　安全フレーム

依頼者名及び住所　久保田鉄工株式会社
大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号

製造者名及び住所　依頼者に同じ

Ⅰ　装着可能トラクター

1　型 式 名　クボタＬ１－Ｒ28　クボタＬ１－28Ｄ　クボタＬ１－28

2. 主要諸元（最大及び最小トラクター）

型式名	：	クボタＬ１－Ｒ28	クボタＬ１－28
種類	：	4輪駆動	2輪駆動
質量（フレーム付き）kg	：	1350	1290
軸距 mm	：	1735	1735
機関出力／回転速度 kW{PS}／rpm	：	20.6{28}／2700	20.6{28}／2700

Ⅱ　構造の概要

1. 構造及び装着方法

供試フレームは，鋼管及び鋼板を主材としたボルト締めによる組立構造の４柱式であり，取付金具を介してクランクケース部，フライホイールハウジング部とクラッチハウジング部及び防振ゴム・取付金具とフェンダーを介してミッションケース部とブレーキケース部にボルトで装着。なお，装着可能トラクターのうち座席及びステアリングホイール等を反転移動できるものに対応するためフレーム上部を伸ばすことができる。

2. 主要寸法　※

座席基準点から屋根部材（上面）までの高さ		：94.0(110.0)cm
フートプレートから屋根部材（上面）までの高さ		：136.5(163.5)cm
座席基準点上方90cmの高さにおけるフレームの内幅		：81.5(81.5)cm
ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のフレームの内幅		：－(－)cm
ステアリングホイールの中心からフレーム右側までの距離		：－(－)cm
ステアリングホイールの中心からフレーム左側までの距離		：－(－)cm
ステアリングホイールリムからフレームまでの最短距離		：41.0(35.0)cm
戸口の幅	（上部）	：－(－)cm
	（中部）	：－(－)cm
	（下部）	：－(－)cm
戸口の高さ	（フートプレートから）	：132.0(160.0)cm
	（最高位ステップから）	：－(－)cm
	（最低位ステップから）	：－(－)cm
フレーム装着時のトラクターの全高	（フレーム上端まで）	：199.0(227.0)cm
	（排気管上端まで）	：196.5(196.5)cm
フレームの全幅		：114.0(114.0)cm
座席基準点上方90cmの高さにおける座席基準点からフレーム後部までの水平距離		：24.5(21.0)cm

※　1　クボタＬ１－Ｒ28，タイヤサイズ．　前輪7－16，後輪13.6－24　装着時
　　2　トラクターシートの銘柄型式：　難波プレス工業，N43260
　　3　（）内は座席及びステアリングホイール等を反転移動し，フレームを伸ばした状態。

3. 主要材料

主フレーム：　STKR41，SS41，SPHC
装着ブラケット：　SS41，SPHC
組立・装着ボルト：　S43C

4. 主な装備

シートベルト（２点式）

Ⅲ　検査成績

1. 強度試験

1）水平負荷試験は，フレームの後方左側，前方右側，側方右側に対して実施。所要吸収エネルギーと圧壊力の算出に用いたトラクター（フレーム付き）の質量は1350kg。

所要吸収エネルギー：後部負荷：1.89 kJ{193 kgf・m}　前部負荷：1.18 kJ{120 kgf・m}
：側部負荷：2.36 kJ{241 kgf・m}

圧壊力：27.00 kN{2753 kgf}

2）試験後のフレームの永久変位※

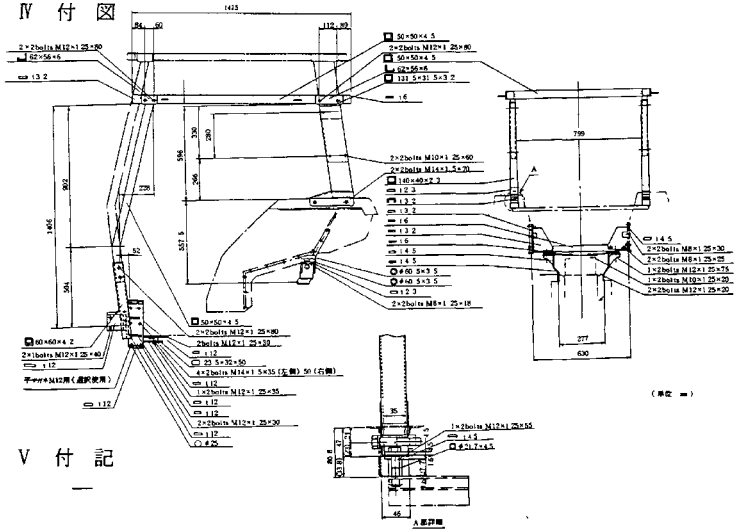
後部（前方へ）：{右側 −2.5(−2.0) cm / 左側 3.0(−1.0) cm}　前部（後方へ）：{右側 3.5(2.0) cm / 左側 −2.0(1.0) cm}

側部（左側方へ）：{前側 4.5(8.5) cm / 後側 13.0(11.5) cm}　上部（下方へ）：前部{右側 −1.0(−1.0) cm / 左側 0.5(1.5) cm}　後部{右側 0(−0.5) cm / 左側 1.0(2.0) cm}

3）側部負荷試験時のフレームの最大変位と残留変位との差※：9.5(9.0) cm

2. フレーム内の騒音（7.5 km／hに近い速度段における無負荷走行時，運転者の耳もと）※
92(90)dBA〔クボタＬ１－Ｒ28〕　92 dBA〔クボタＬ１－28〕
※（　）内は座席及びステアリングホイール等を反転移動し，フレームを伸ばした状態。

Ⅳ　付図



Ⅴ　付記

―

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年といたします。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。

株式会社クボタ

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556-91	電(06) 648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目１番３号	〒103	電(03) 3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011) 214-3111
東北支社	仙台市青葉区本町２丁目15番11号	〒980	電(022) 267-9000
中部支社	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号(大東海ビル)	〒450	電(052) 564-5111
九州支社	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号(住友生命博多ビル)	〒812	電(092) 473-2401
札幌支店	札幌市西区手稲東３北３丁目２番地２	〒063	電(011) 662-2121
仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(022) 384-5151
東京支店	浦和市西堀５丁目２番36号	〒338	電(048) 862-1121
大阪支店	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556-91	電(06) 648-2111
岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862) 79-4511
福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092) 606-3161
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722) 41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286) 61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752) 5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720) 40-1121
堺部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722) 45-8601
宇都宮部品センター	宇都宮市平出工業団地38-16	〒321	電(0286) 63-6336
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町字大曲186-37	〒061-12	電(011) 376-2335
筑波部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752) 2293
枚方部品センター	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720) 40-1797

株式会社クボタアグリ東北

秋田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188) 45-1601
仙台事業所	宮城県名取市田高字原182-１	〒981-12	電(022) 384-5151

株式会社クボタアグリ東京

東京事業所	浦和市西堀５-２-36	〒338	電(048) 862-1121
新潟事業所	新潟市上所上１-14-15	〒950	電(025) 285-1261

株式会社クボタアグリ大阪

金沢事業所	石川県松任市下柏野町956-１	〒924	電(0762) 75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町１-１	〒491	電(0586) 24-5111
大阪事業所	大阪市浪速区敷津東１-２-47	〒556-91	電(06) 648-2111

株式会社クボタアグリ中四国

米子事業所	米子市米原570	〒683	電(0859) 33-5011
岡山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862) 79-4511
高松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３	〒769-01	電(0878) 74-5091

株式会社クボタアグリ九州

福岡事業所	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092) 606-3161
熊本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１	〒861-41	電(096) 357-6181

品番　31351—1921—6